

**徳島市**  
**第9期徳島市高齢者福祉計画及び**  
**介護保険事業計画策定のための**  
**アンケート調査 結果報告書**

**概要版**

**令和5年7月**

**徳島市**

# 目次

<b>I</b>	<b>調査概要</b> .....	<b>1</b>
<b>II</b>	<b>調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査</b> .....	<b>2</b>
<b>1</b>	<b>回答者の属性</b> .....	<b>2</b>
<b>2</b>	<b>各種リスク判定結果</b> .....	<b>3</b>
	(1) 運動器の機能低下 .....	4
	(2) 転倒リスク .....	6
	(3) 閉じこもり傾向 .....	8
	(4) 低栄養状態 .....	10
	(5) 口腔機能低下 .....	12
	(6) 認知機能の低下 .....	14
	(7) うつ傾向 .....	16
	(8) IADL－手段的日常生活動作.....	19
	(9) 知的能動性 .....	21
	(10) 社会的役割 .....	23
<b>3</b>	<b>地域での活動について</b> .....	<b>25</b>
	(1) 社会参加の状況 .....	25
	(2) 地域づくりへの参加意向.....	28
<b>4</b>	<b>たすけあいについて</b> .....	<b>31</b>
	(1) たすけあいの状況について.....	31
	(2) 家族以外に頼れる人の有無について.....	32
<b>5</b>	<b>地域での支え合いの体制について</b> .....	<b>32</b>
	(1) 生活支援コーディネーターの認知度.....	32
	(2) 住民同士の支え合いによる地域づくりの現状.....	33
	(3) 地域であれば良いと思う支え合い活動について.....	34
<b>6</b>	<b>相談窓口について</b> .....	<b>35</b>
	(1) 認知症に関する相談窓口や充実すべきことについて.....	35
	(2) 介護予防等に関する相談窓口や医療機関について.....	36
<b>7</b>	<b>介護予防について</b> .....	<b>37</b>
	(1) 介護予防等に関する取り組み状況.....	37
	(2) 介護予防事業に関する活動や要望について.....	40
	(3) 介護予防事業に関する情報の入手先.....	41
<b>8</b>	<b>成年後見制度について</b> .....	<b>42</b>
	(1) 成年後見制度の利用希望.....	42
<b>9</b>	<b>終末期の療養について</b> .....	<b>44</b>
	(1) 終末期の療養場所について.....	44

10	介護予防事業で特に力を入れてほしい高齢者施策について .....	47
11	健康について .....	49
	(1) 主観的健康感 .....	49
	(2) 主観的幸福感 .....	50
12	福祉・介護予防などに関係する名称、用語について.....	51
<b>Ⅲ</b>	<b>調査結果 在宅介護実態調査 .....</b>	<b>52</b>
1	要介護者の在宅生活の状況 .....	52
	(1) 施設等の検討状況について.....	52
	(2) 介護度別サービス利用の組み合わせ.....	53
2	介護者の状況について.....	54
	(1) 主な介護者が不安を感じる介護.....	54
	(2) 介護のための離職の有無.....	55
	(3) 介護者就労状況と就労継続意識.....	56
	(4) 就労している介護者が不安を感じる介護.....	57
3	地域支援の整備.....	58
	(1) 在宅生活の継続に必要なだと感じる支援・サービス.....	58
<b>Ⅳ</b>	<b>調査結果 介護サービス事業所実態調査.....</b>	<b>59</b>
1	回収状況.....	59
2	従業員の状況について.....	59
	(1) 介護職員の就業形態 .....	59
	(2) 介護職員の資格保有状況.....	60
	(3) 離職率 .....	60
3	従業員過不足の状況 .....	61
	(1) 従業員の過不足の状況（全体で見た場合） .....	61
	(2) 従業員の過不足の状況（職種別） .....	62
	(3) 従業員が不足している理由.....	65
	(4) 従業員の採用が困難である原因.....	66
	(5) 従業員が充足しない場合や新規人材の確保のための方策.....	67
<b>Ⅴ</b>	<b>調査結果 居所変更実態調査 .....</b>	<b>68</b>
1	回収状況.....	68
2	過去1年間の居所変更の状況 .....	68
	(1) 過去1年間の施設等の入居・入所及び退去・退所の流れ.....	68
	(2) 居所別の居所を変更した要介護度の構成.....	71
	(3) 居所を変更した理由 .....	72
	(4) 居所別の医療処置を受けている人数.....	72

# I 調査概要

「第9期徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の策定に向けて、高齢者の日頃の生活や介護の状況などを把握するため、4種類のアンケート調査を実施した。

## (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査目的	介護状態になる前の高齢者について、日頃の生活の状況やサービスの利用意向などを調査するもので、今後の高齢者福祉サービスや健康づくりの方策の検討
調査期間	令和4年11月24日～12月6日
対象者	65歳以上の徳島市在住の高齢者より無作為抽出 3,200人（要介護1～5以外の方）
調査方法	郵送による配布・回収
回収状況	有効回答数 1,910件（有効回答率 61.0%）

## (2) 在宅介護実態調査

調査目的	「高齢者の在宅生活の継続」と「介護者の就労継続」に向けた介護サービスの在り方を検討
調査期間	令和4年7月1日～令和4年12月31日（聞き取り調査） 令和5年5月2日～令和5年5月19日（郵送調査）
対象者	在宅で生活をしている要支援、要介護認定を受けている方のうち、調査期間内に更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受けた方
調査数	783人
調査方法	・認定調査員が、調査対象者の認定調査の際に、本人及び主たる介護者と対面して当該調査について聞き取りを実施 ・郵送による配布・回収

## (3) 介護サービス事業所実態調査

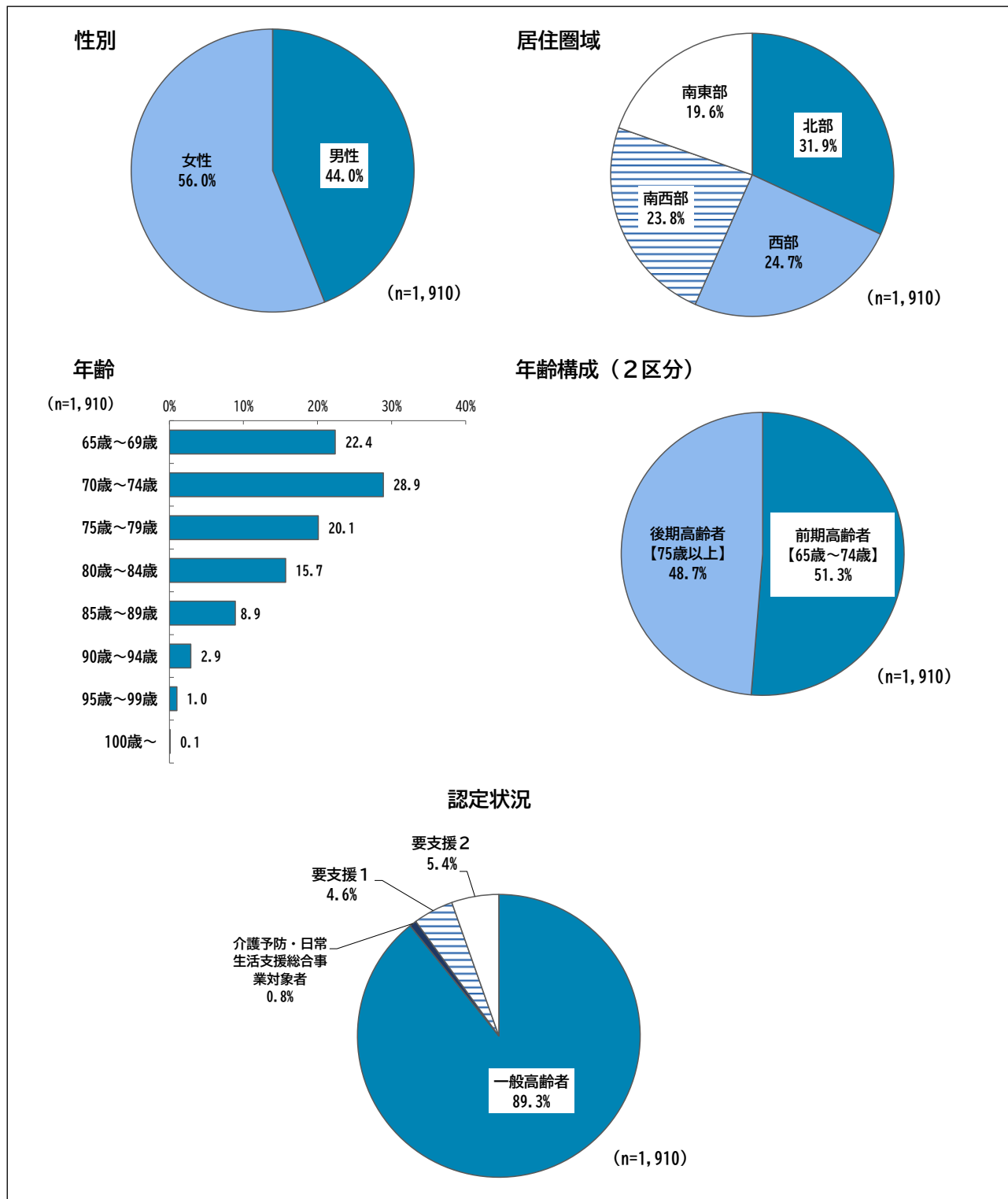
調査目的	介護人材の確保・育成、定着支援に関する取組を検討
調査期間	令和4年12月23日～令和5年1月13日
対象者	令和4年11月1日現在、徳島市内にある介護サービス事業所 572事業所
調査方法	郵送配布、FAX及びメールによる回収
回収状況	有効回答数 377件（有効回答率 65.9%）

## (4) 居所変更実態調査

調査目的	住み慣れた住まい等で暮らし続けるために必要な機能等を検討
調査期間	令和5年1月24日～令和5年2月3日
対象者	徳島市内にある施設・居住系サービス事業所 169事業所
調査方法	郵送配布、FAX及びメールによる回収
回収状況	有効回答数 121件（有効回答率 71.6%）

## Ⅱ 調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 1 回答者の属性



## 2 各種リスク判定結果

### ・リスク判定方法

	問NO.	質問項目	該当する選択肢
機能低下の 運動器	問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」
	問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3. できない」
	問2 (3)	15分位続けて歩いていますか	「3. できない」
	問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 or 「2. 1度ある」
	問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」 or 「2. やや不安である」
リスク 転倒	問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 or 「2. 1度ある」
閉じこもり 傾向	問2 (6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」 or 「2. 週1回」
状態 低栄養	問3 (1)	身長、体重	BMI < 18.5
	問3 (7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」
口腔機能 低下	問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」
	問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」
	問3 (4)	口の渇きが気になりますか	「1. はい」
機能低下の 認知	問4 (1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」
うつ 傾向	問7 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」
	問7 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」

■判定方法・・・該当する選択肢を回答した場合を1点としたときの合計点、または該当選択肢を回答した場合

- ①運動器の機能低下・・・該当：3点以上
- ②転倒リスク・・・該当：該当選択肢を回答した場合
- ③閉じこもり傾向・・・該当：該当選択肢を回答した場合
- ④低栄養状態・・・該当：2点
- ⑤口腔機能低下・・・該当：2点以上
- ⑥認知機能の低下・・・該当：該当選択肢を回答した場合
- ⑦うつ傾向・・・該当：1点以上

## (1) 運動器の機能低下

### 【全体の傾向】

運動器機能低下の該当者の割合は 22.8%となっています。

前回調査と比較すると、該当者の割合が 0.3 ポイント増加しています。

### 【属性別の傾向】

性別にみた該当者の割合は、女性（27.9%）が男性（16.2%）を 11.7 ポイント上回っています。

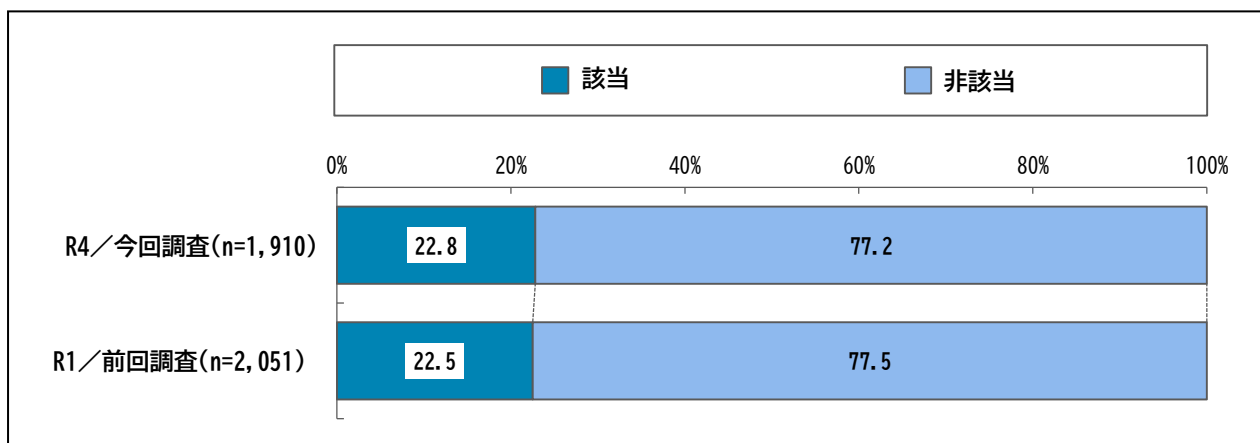
年齢構成別にみた該当者の割合は、後期高齢者（34.7%）が、前期高齢者（11.4%）を 23.3 ポイント上回っています。

認定状況別にみた該当者の割合は、一般高齢者（16.8%）と総合事業対象者（53.3%）および要支援 1・2（74.2%）とで大差がみられます。

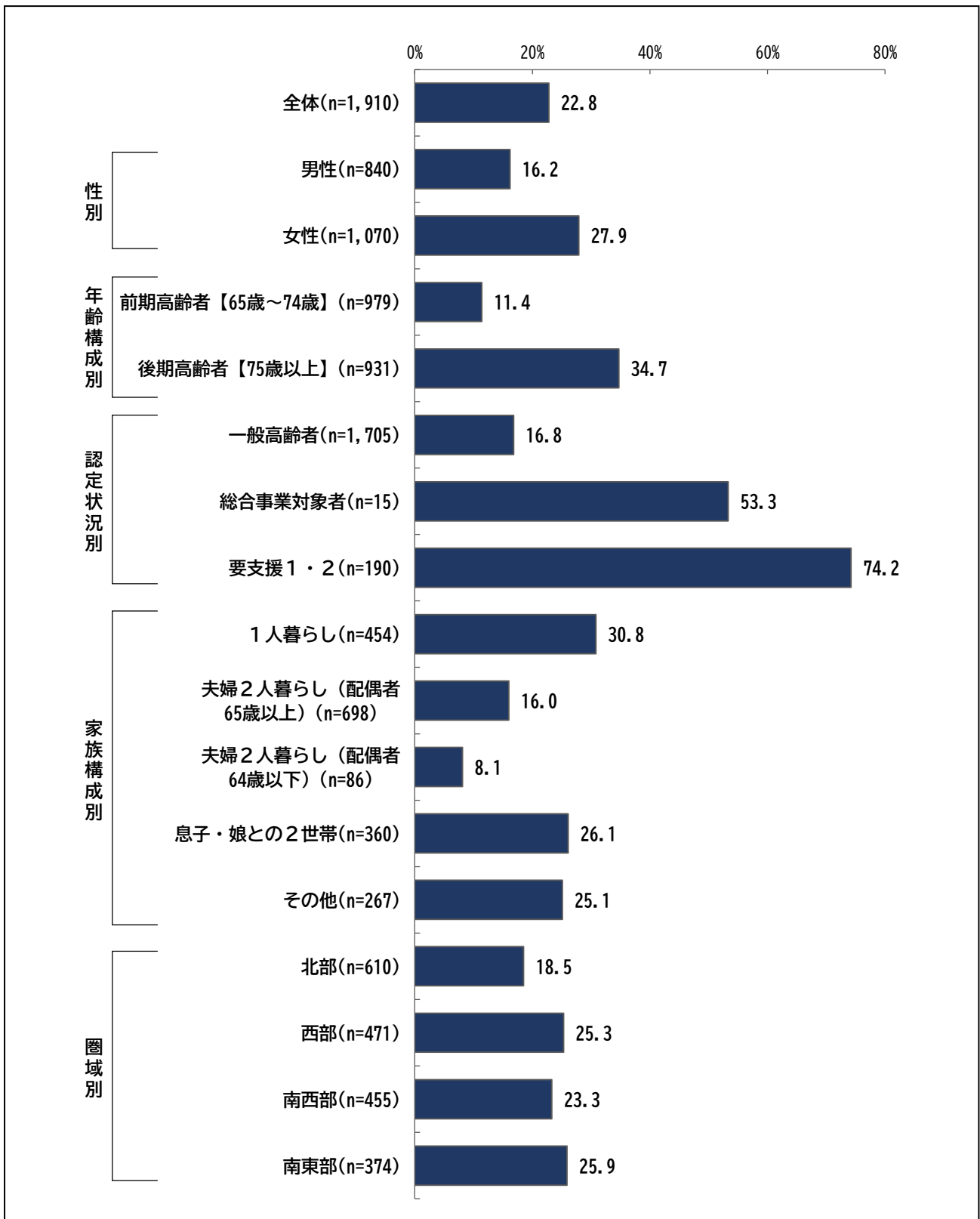
家族構成別にみた該当者の割合は、1人暮らしが 30.8%と最も高くなっています。

圏域別にみた該当者の割合は、南東部が 25.9%と最も高くなっています。

運動器の機能低下の該当者の割合（全体、前回比較）



運動器の機能低下の該当者の割合  
 (全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別、圏域別)





## (2) 転倒リスク

### 【全体の傾向】

転倒リスク該当者の割合は 37.2%となっています。

前回調査と比較すると、該当者の割合が 0.3 ポイント増加しています。

### 【属性別の傾向】

性別にみた該当者の割合は、男性（37.3%）が女性（37.2%）を 0.1 ポイント上回っています。

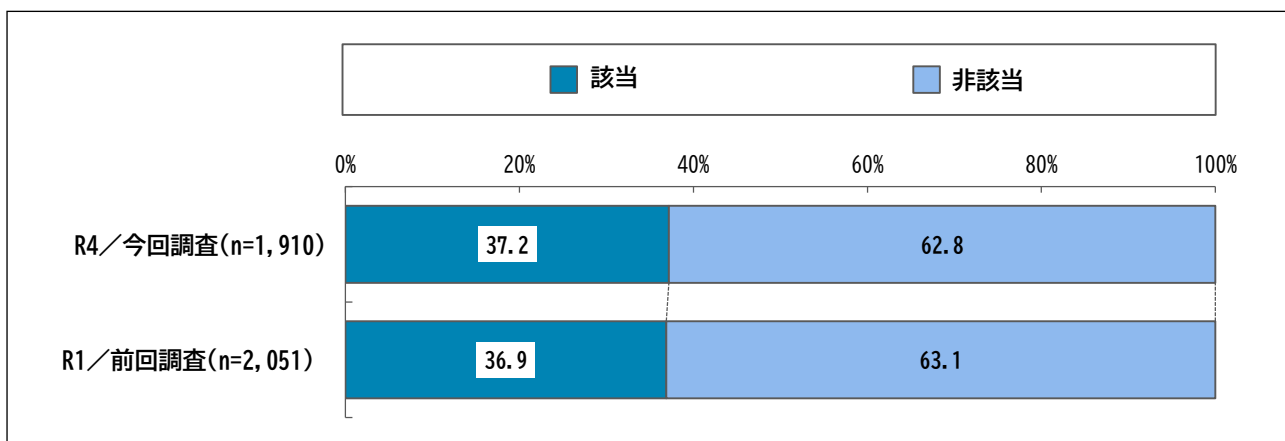
年齢構成別にみた該当者の割合は、後期高齢者（46.2%）が前期高齢者（28.7%）を 17.5 ポイント上回っています。

認定状況別にみた該当者の割合は、要支援 1・2 が 60.0% と最も高くなっています。

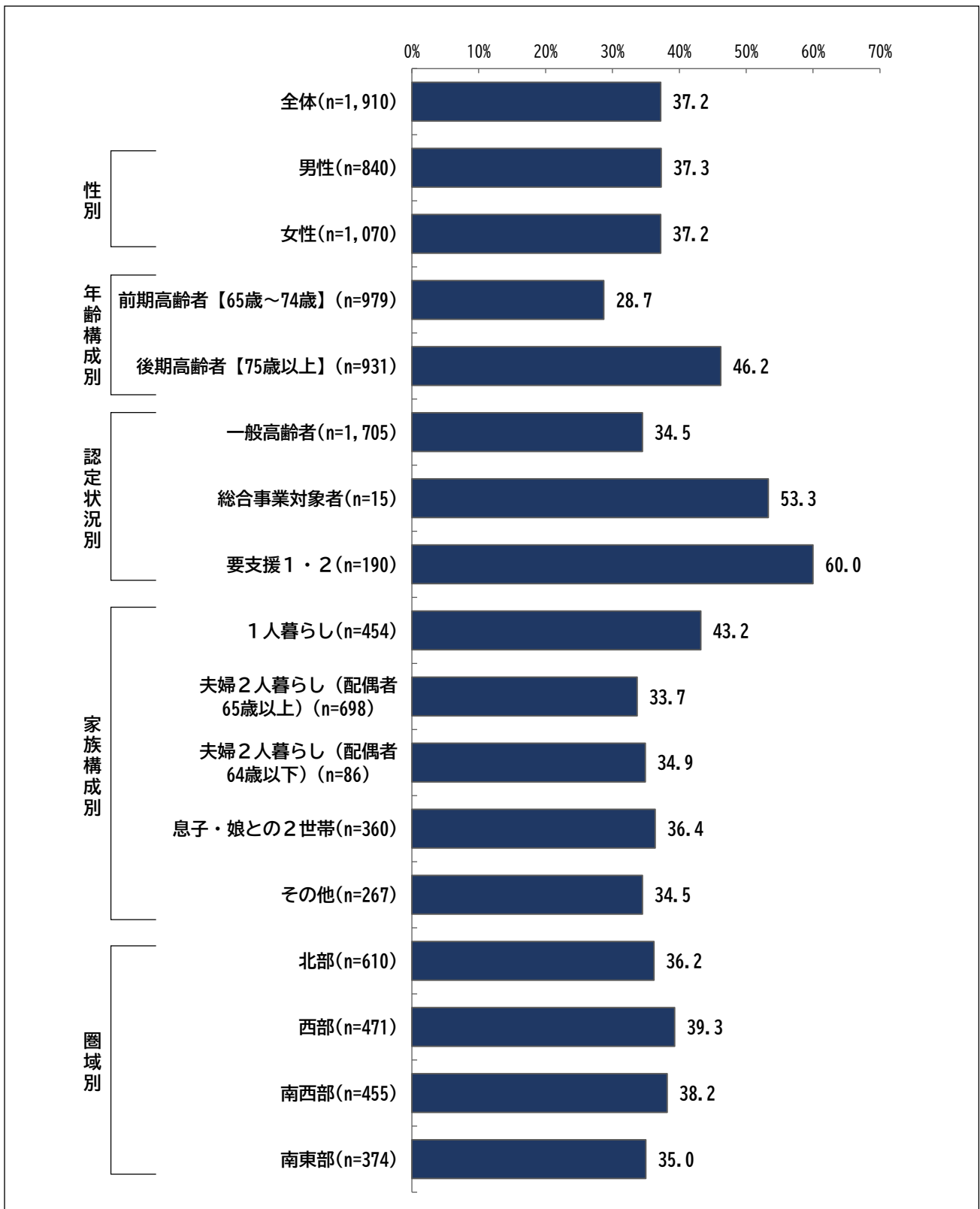
家族構成別にみた該当者の割合は、1 人暮らしが 43.2% と最も高くなっています。

圏域別にみると、西部が 39.3% と最も高くなっています。

転倒リスク該当者の割合（全体、前回比較）



転倒リスク該当者の割合  
 (全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別、圏域別)



### (3) 閉じこもり傾向

#### 【全体の傾向】

閉じこもり傾向の該当者の割合は、21.9%となっています。

前回調査と比較すると、該当者の割合が4.1ポイント増加しています。

#### 【属性別の傾向】

性別にみた該当者の割合は、女性（23.8%）が男性（19.5%）を4.3ポイント上回っています。

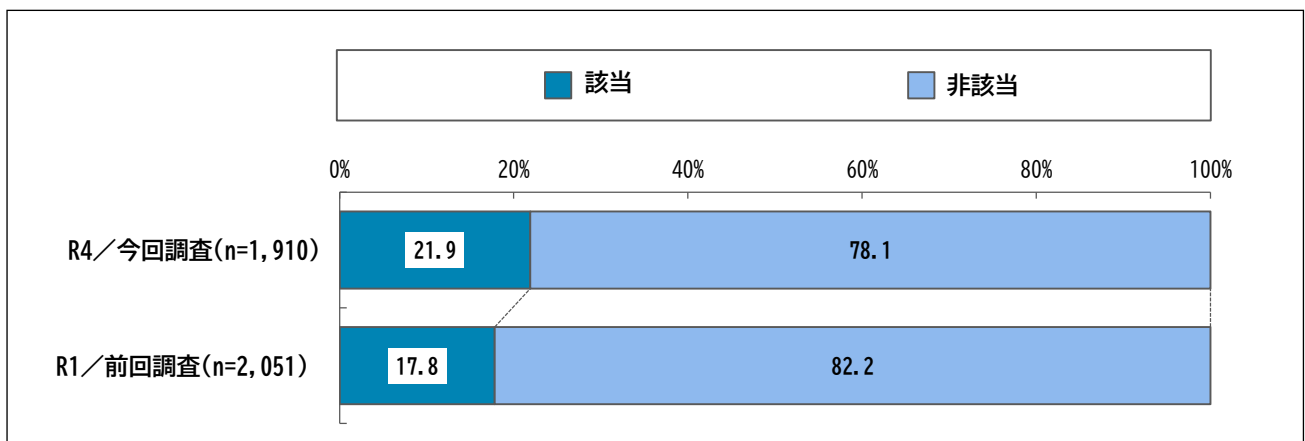
年齢構成別にみた該当者の割合は、後期高齢者（31.4%）が前期高齢者（13.0%）を18.4ポイント上回っています。

認定状況別にみた該当者の割合は、総合事業対象者が60.0%と最も高くなっています。

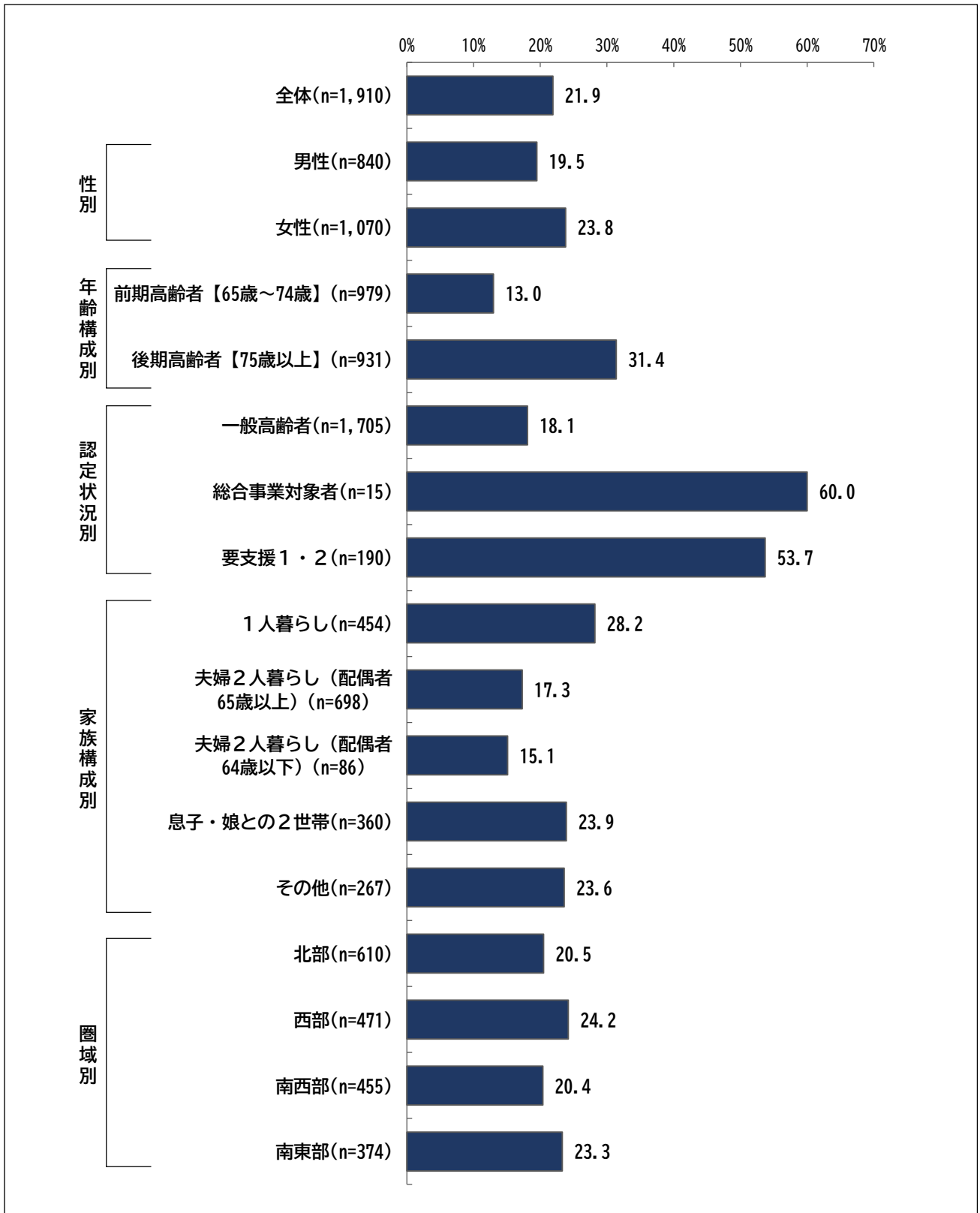
家族構成別にみた該当者の割合は、1人暮らしが28.2%と最も高くなっています。

圏域別にみた該当者の割合は、西部が24.2%と最も高くなっています。

閉じこもり傾向の該当者の割合（全体、前回比較）



閉じこもり傾向の該当者の割合  
 (全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別、圏域別)



#### (4) 低栄養状態

##### 【全体の傾向】

低栄養状態の該当者の割合は1.8%となっています。

前回調査と比較すると、該当者の割合が0.3ポイント増加しています。

##### 【属性別の傾向】

性別にみた該当者の割合は、女性（1.9%）が男性（1.8%）を0.1ポイント上回っています。

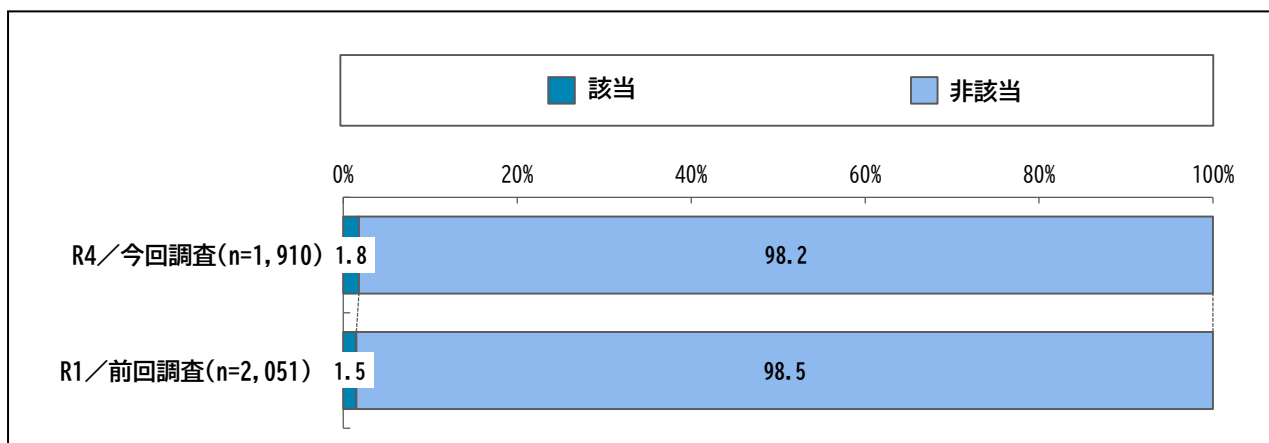
年齢構成別にみた該当者の割合は、後期高齢者（2.5%）が、前期高齢者（1.2%）を1.3ポイント上回っています。

認定状況別にみた該当者の割合は、総合事業対象者が6.7%と最も高くなっています。

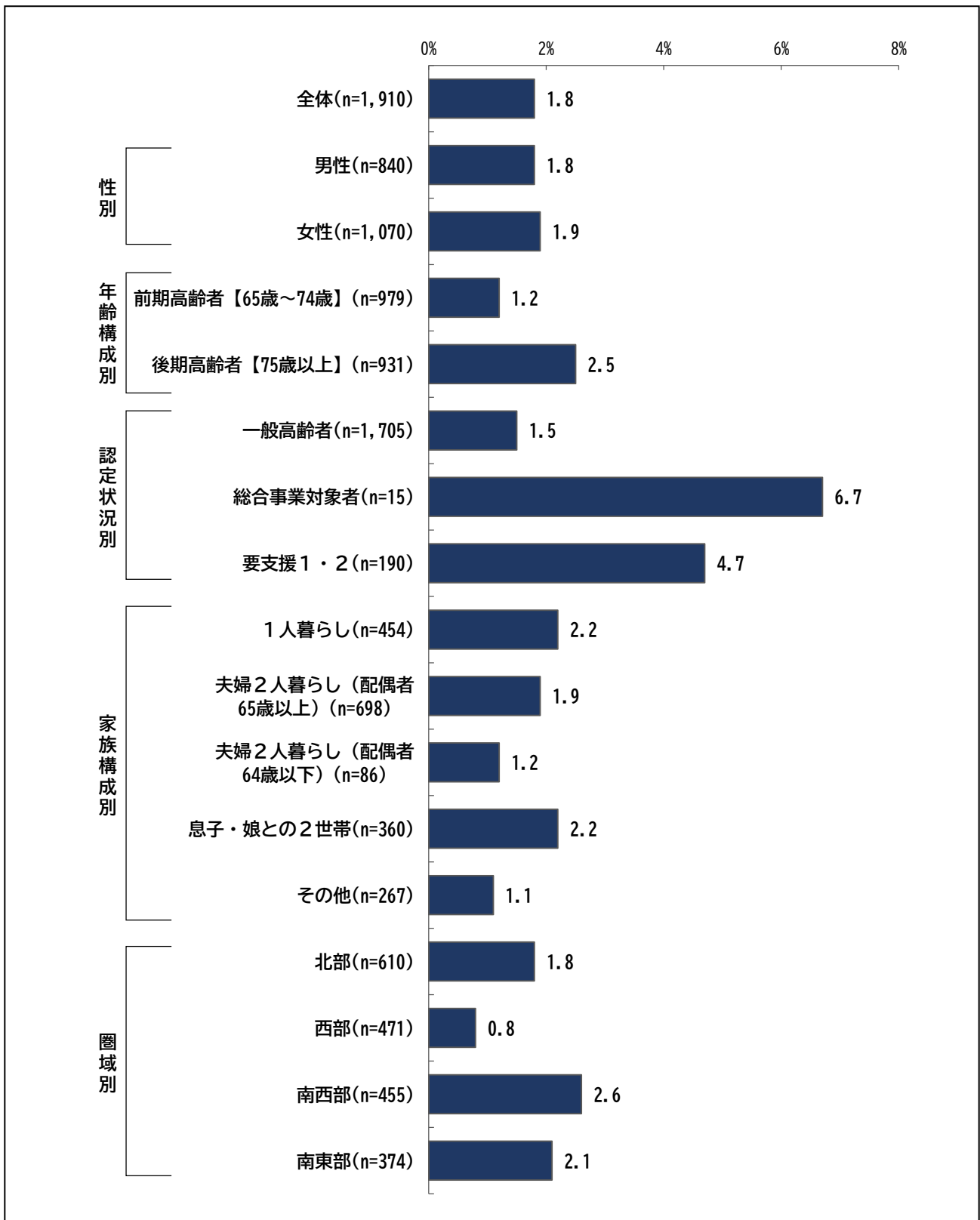
家族構成別にみた該当者の割合は、1人暮らし、息子・娘との2世帯がともに2.2%で最も高くなっています。

圏域別にみた該当者の割合は、南西部が2.6%と最も高くなっています。

低栄養状態の該当者の割合（全体、前回比較）



低栄養状態の該当者の割合  
 (全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別、圏域別)



## (5) 口腔機能低下

### 【全体の傾向】

口腔機能低下の該当者の割合は 31.9%となっています。

前回調査と比較すると、該当者の割合が 2.6 ポイント増加しています。

### 【属性別の傾向】

性別にみた該当者の割合は、女性（32.5%）が男性（31.1%）を 1.4 ポイント上回っています。

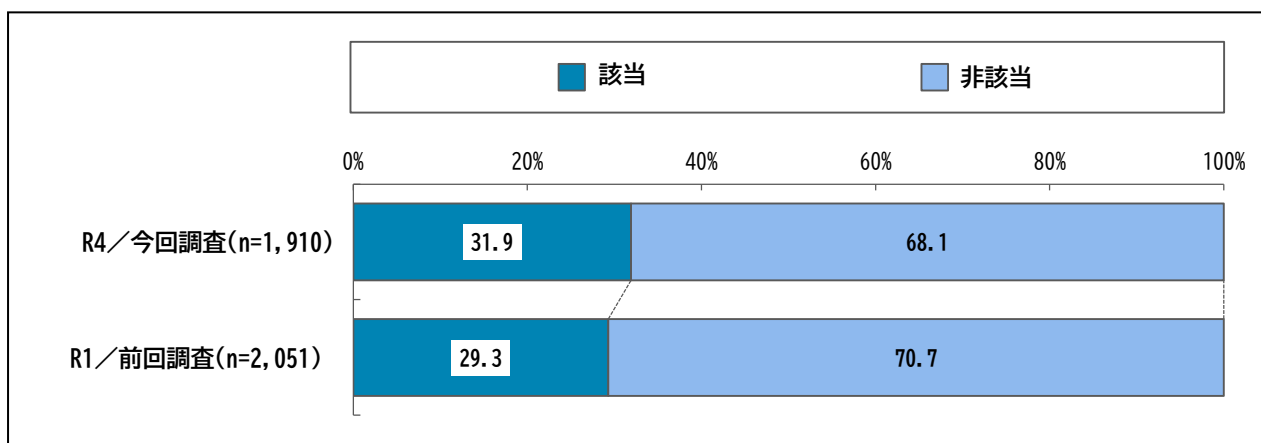
年齢構成別にみた該当者の割合は、後期高齢者（36.2%）が、前期高齢者（27.8%）を 8.4 ポイント上回っています。

認定状況別にみた該当者の割合は、要支援 1・2 が 58.4% と最も高くなっています。

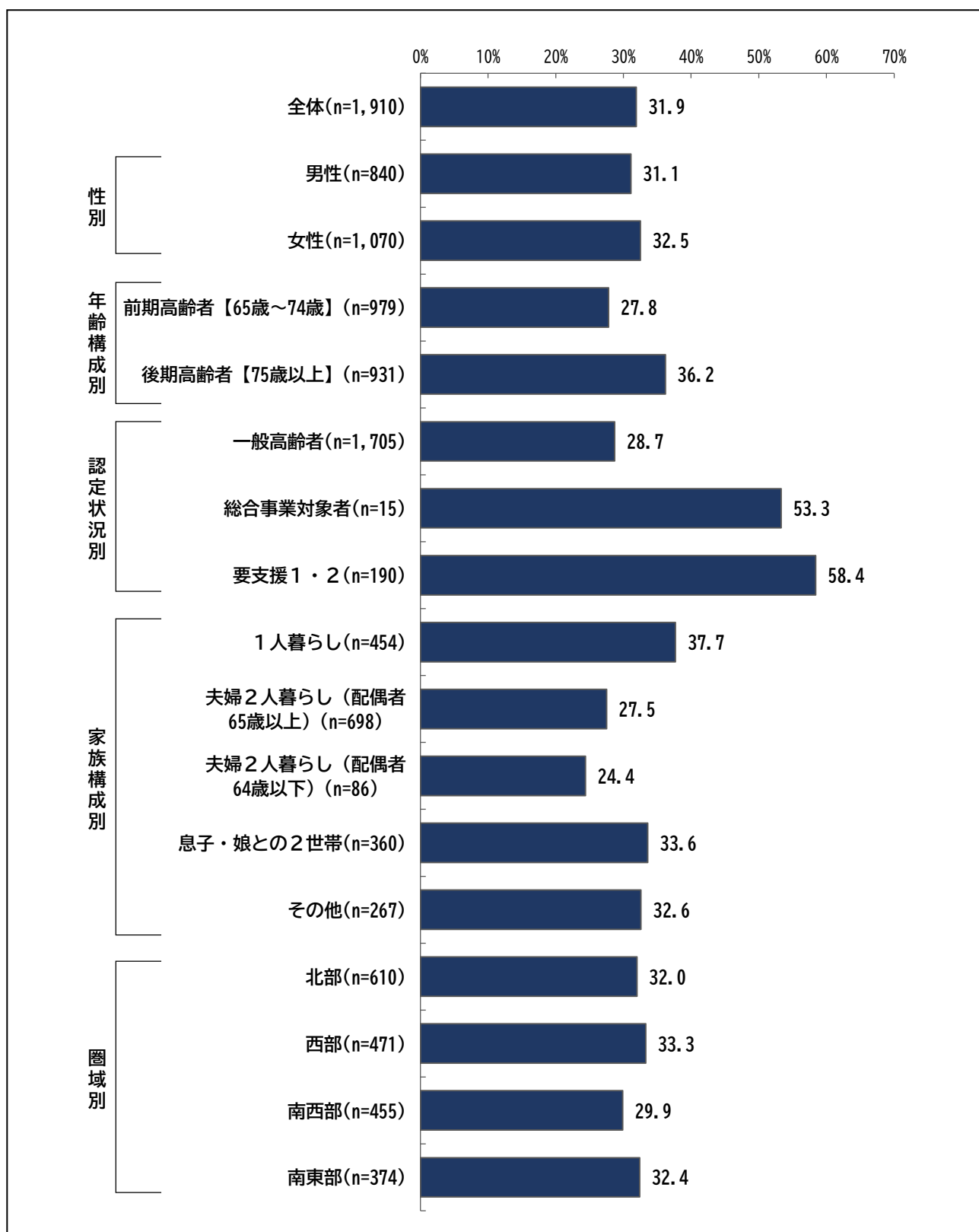
家族構成別にみた該当者の割合は、1人暮らしが 37.7% と最も高くなっています。

圏域別にみた該当者の割合は、西部が 33.3% と最も高くなっています。

口腔機能低下の該当者の割合（全体、前回比較）



口腔機能低下の該当者の割合  
 (全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別、圏域別)





## (6) 認知機能の低下

### 【全体の傾向】

認知機能低下の該当者の割合は、49.7%となっています。

前回調査と比較すると、該当者の割合が1.7ポイント減少しています。

### 【属性別の傾向】

性別にみた該当者の割合は、男性（49.8%）が女性（49.7%）を0.1ポイント上回っています。

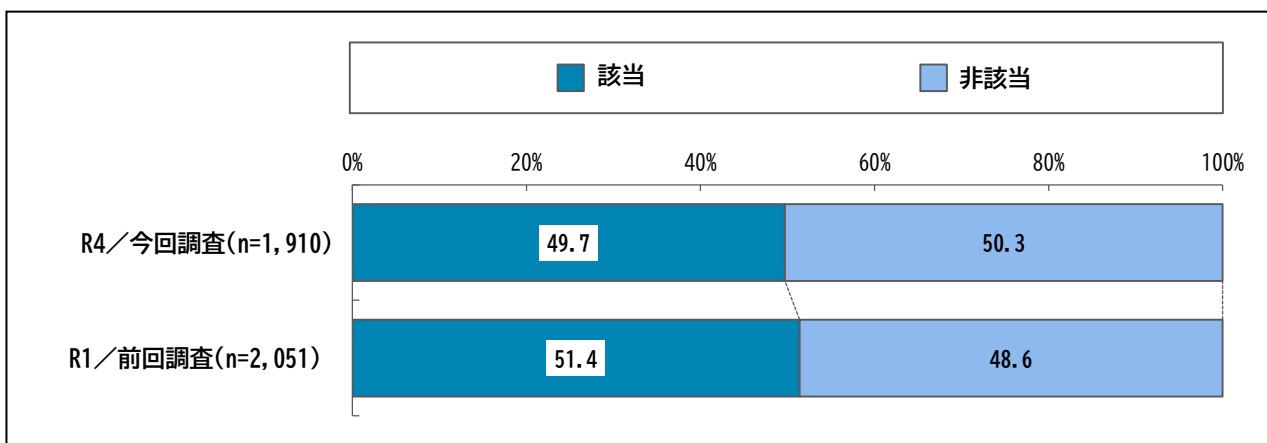
年齢構成別にみた該当者の割合は、後期高齢者（55.2%）が前期高齢者（44.5%）を10.7ポイント上回っています。

認定状況別にみた該当者の割合は、要支援1・2が65.3%と最も高くなっています。

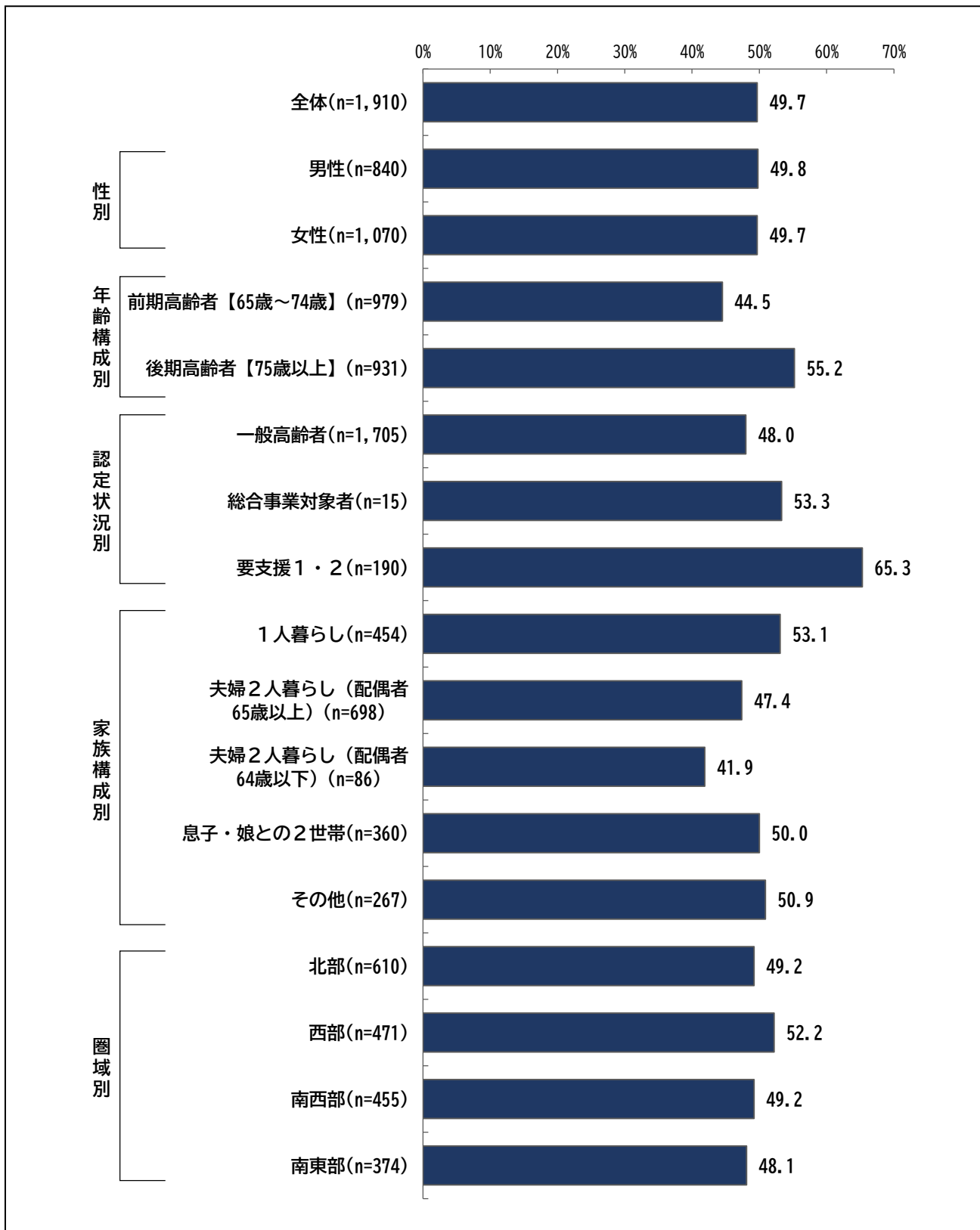
家族構成別にみた該当者の割合は、1人暮らしが53.1%と最も高くなっています。

圏域別にみた該当者の割合は、西部が52.2%と最も高くなっています。

認知機能の低下の該当者の割合（全体、前回比較）



認知機能の低下の該当者の割合  
 (全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別、圏域別)



## (7) うつ傾向

### 【全体の傾向】

うつ傾向の該当者の割合は、46.7%となっています。

前回調査と比較すると、該当者の割合が2.1ポイント増加しています。

### 【属性別の傾向】

性別にみた該当者の割合は、女性（48.1%）が男性（44.9%）を3.2ポイント上回っています。

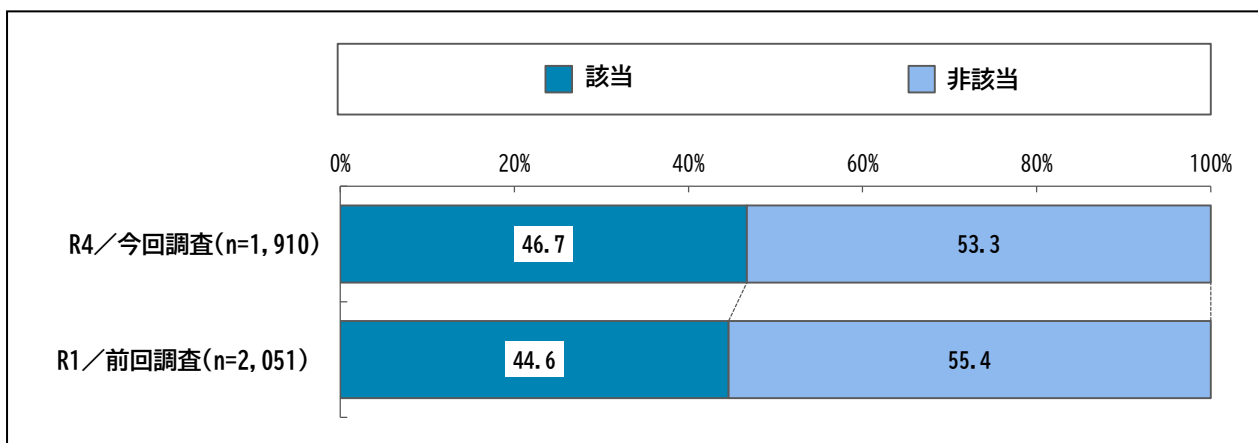
年齢構成別にみた該当者の割合は、後期高齢者（49.9%）が前期高齢者（43.6%）を6.3ポイント上回っています。

認定状況別にみた該当者の割合は、総合事業対象者が66.7%と最も高くなっています。

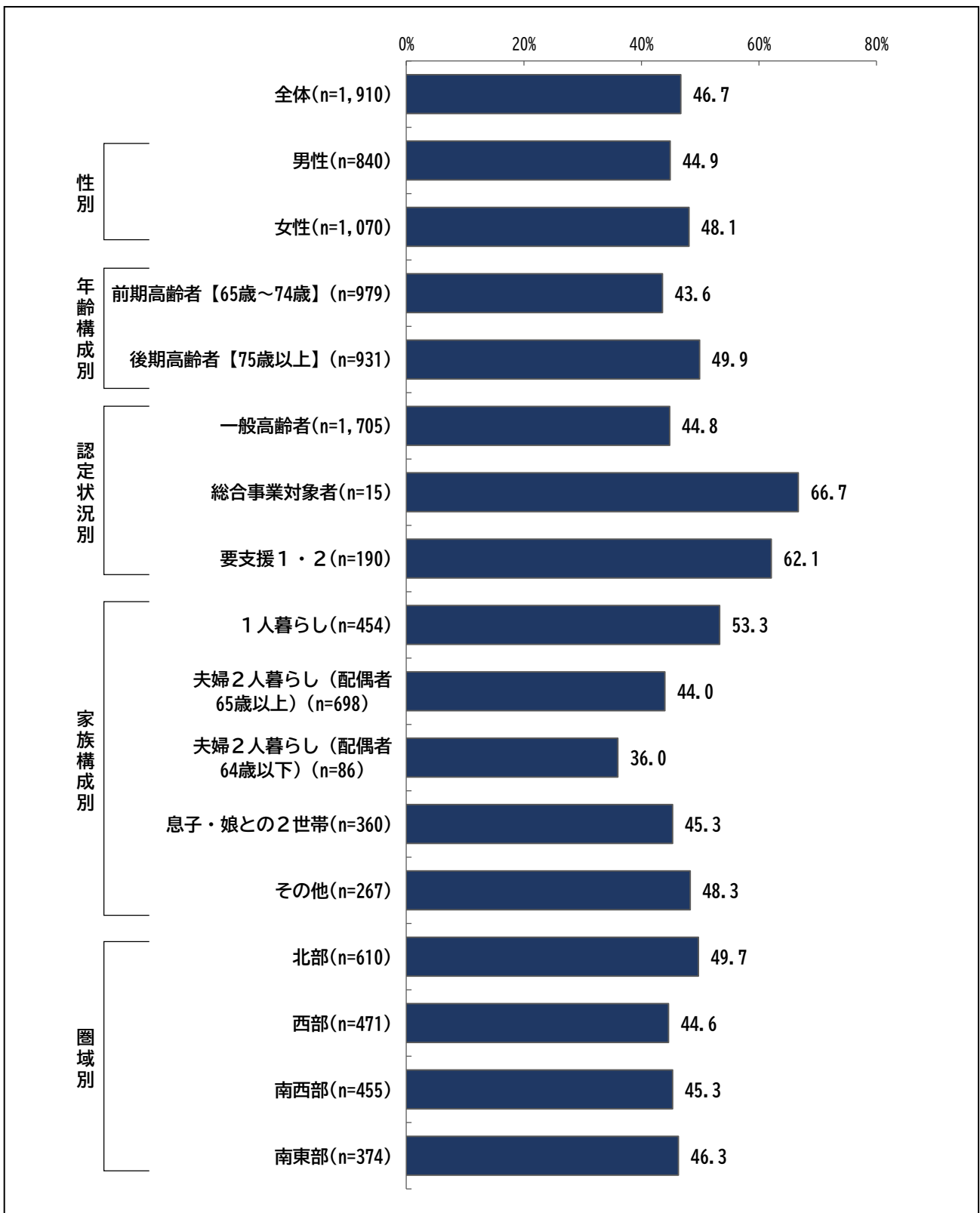
家族構成別にみた該当者の割合は、1人暮らしが53.3%と最も高くなっています。

圏域別にみた該当者の割合は、北部が49.7%と最も高くなっています。

うつ傾向の該当者の割合（全体、前回比較）



うつ傾向の該当者の割合  
 (全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別、圏域別)



・判定方法（老研式活動能力指標）

① IADL（老研指標）

設問		選択肢
問4（4）	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	「1.できるし、している」 or 「2.できるけどしていない」 1点
問4（5）	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4（6）	自分で食事の用意をしていますか	
問4（7）	自分で請求書の支払いをしていますか	
問4（8）	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

- 5点：高い  
○4点：やや低い  
○0～3点：低い

②社会参加

・知的能動性（老研指標）

設問		選択肢
問4（9）	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「1.はい」：1点
問4（10）	新聞を読んでいますか	
問4（11）	本や雑誌を読んでいますか	
問4（12）	健康についての記事や番組に関心がありますか	

- 4点：高い  
○3点：やや低い  
○0～2点：低い

・社会的役割（老研指標）

設問		選択肢
問4（13）	友人の家を訪ねていますか	「1.はい」：1点
問4（14）	家族や友人の相談にのっていますか	
問4（15）	病人を見舞うことができますか	
問4（16）	若い人に自分から話しかけることがありますか	

- 4点：高い  
○3点：やや低い  
○0～2点：低い

## (8) IADL－手段的日常生活動作

### 【全体の傾向】

IADLのスコアについては、「高い（5点）」が81.1%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「高い（5点）」が1.3ポイント減少しています。

### 【属性別の傾向】

性別にみると、「高い（5点）」は、女性（83.7%）が男性（77.7%）を6.0ポイント上回っています。

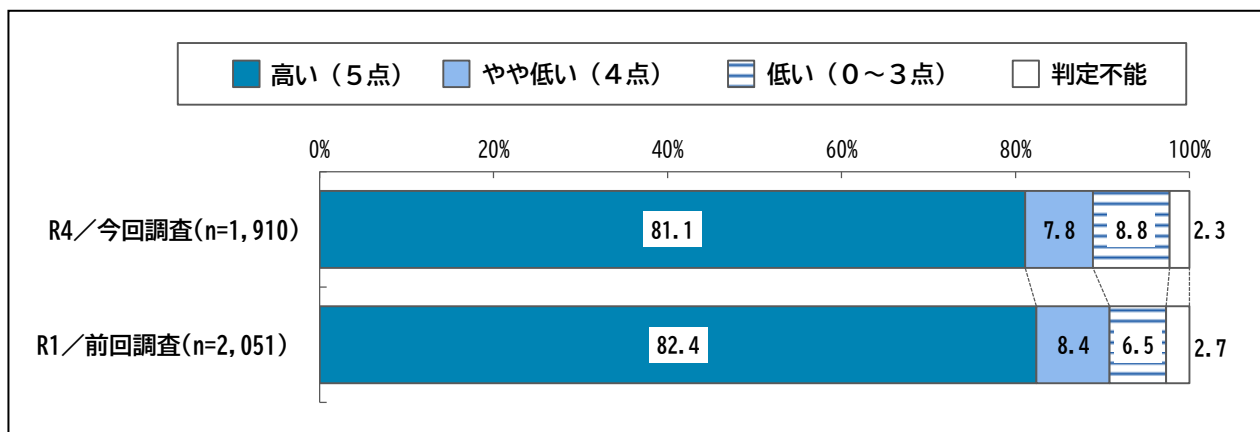
年齢構成別にみると「高い（5点）」は、前期高齢者（90.0%）が後期高齢者（71.8%）を18.2ポイント上回っています。

認定状況別にみると、「高い（5点）」は、一般高齢者が86.0%と最も高くなっています。また、「やや低い（4点）」については総合事業対象者で33.3%と最も高く、「低い（0～3点）」は要支援1・2で38.9%と最も高くなっています。

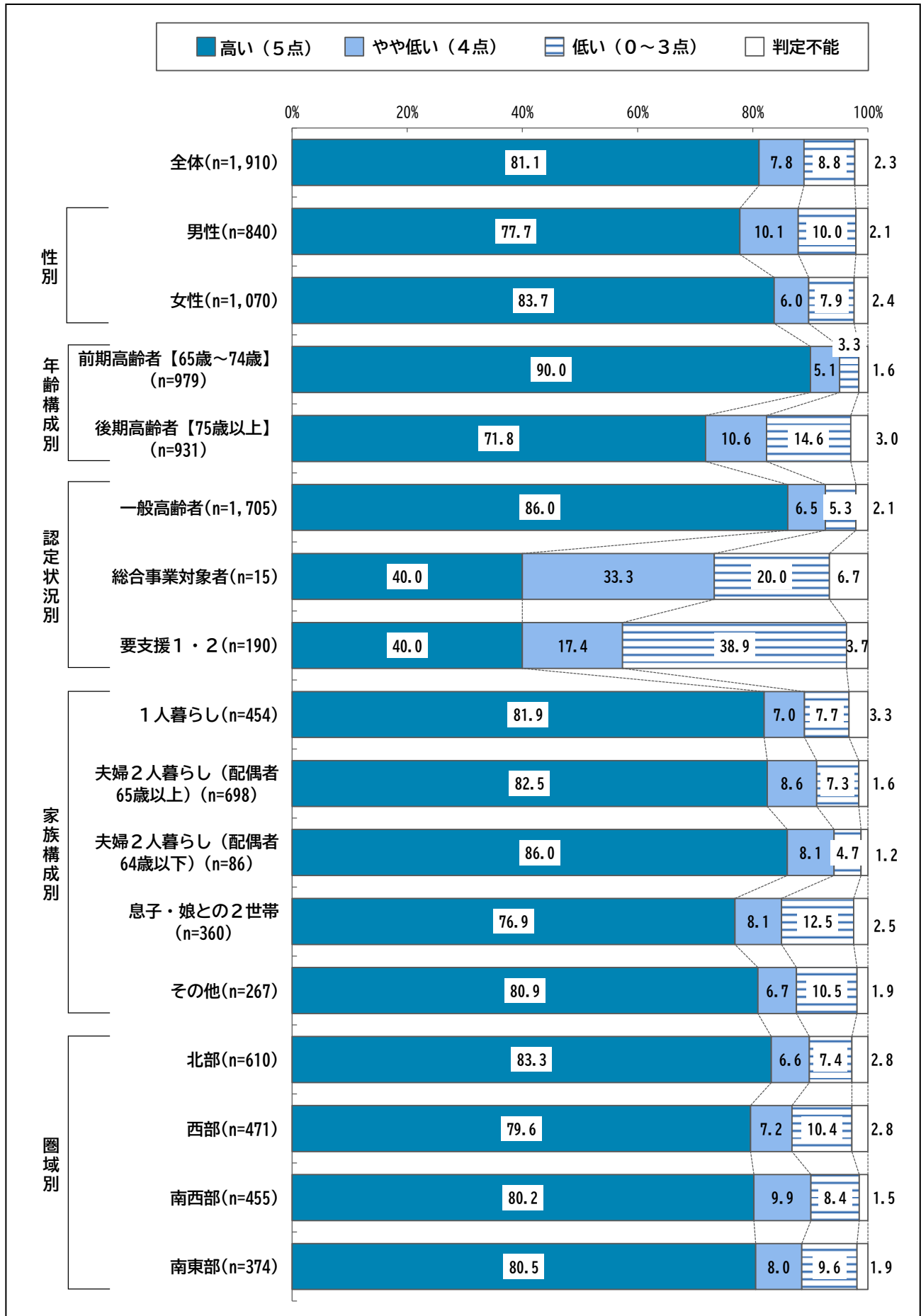
家族構成別にみると、「高い（5点）」は、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が86.0%と最も高くなっています。一方、息子・娘との2世帯では76.9%と8割を下回っています。

圏域別にみると、「高い（5点）」は、北部が83.3%と最も高く、西部では79.6%と8割を下回っています。

IADL（全体、前回比較）



IADL（全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別、圏域別）



## (9) 知的能動性

### 【全体の傾向】

知的能動性のスコアについては、「高い（4点）」が54.0%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「高い（4点）」が4.7ポイント減少しています。

### 【属性別の傾向】

性別にみると、「高い（4点）」は、女性（58.2%）が男性（48.6%）を9.6ポイント上回っています。

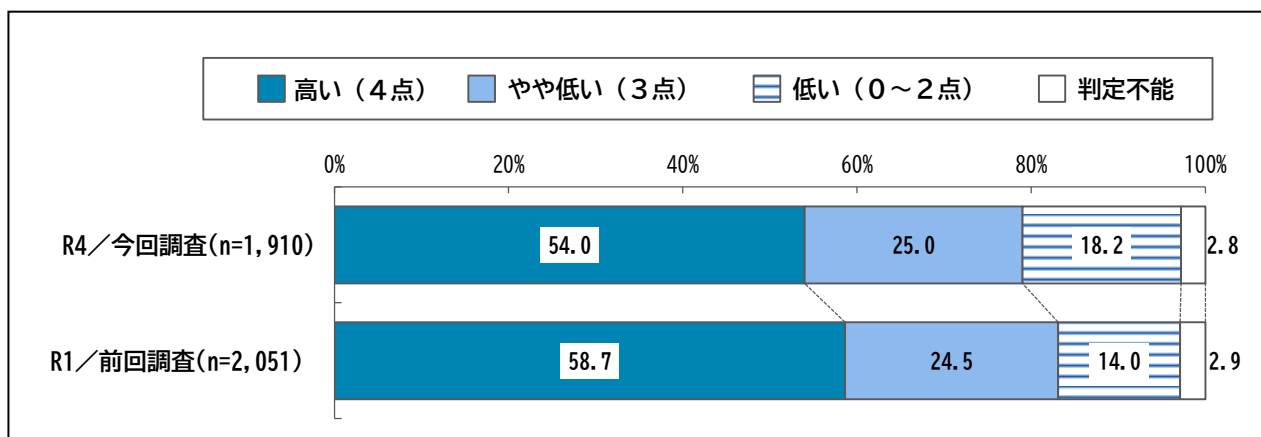
年齢構成別にみると、「高い（4点）」は、前期高齢者（56.8%）が後期高齢者（51.0%）を5.8ポイント上回っています。

認定状況別にみると、「高い（4点）」は、一般高齢者、総合事業対象者では5割を超えているのに対し、要支援1・2では31.6%にとどまっています。

家族構成別にみると、「高い（4点）」は、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が67.4%と最も高くなっています。一方、1人暮らしでは「高い（4点）」は43.6%と5割未満となっています。

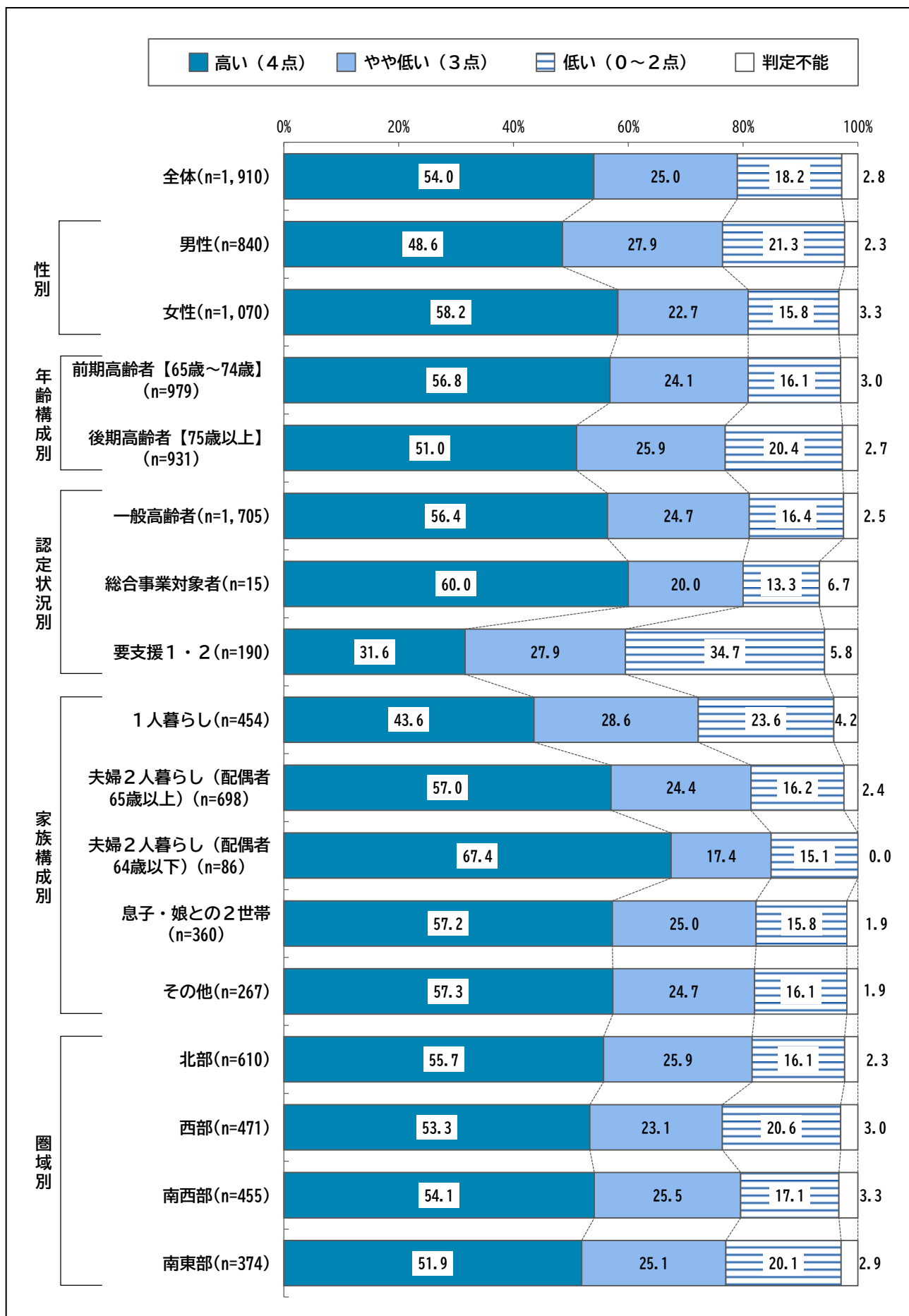
圏域別にみると、「高い（4点）」は、北部が55.7%と最も高くなっています

知的能動性（全体、前回比較）





知的能動性（全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別、圏域別）



## (10) 社会的役割

### 【全体の傾向】

社会的役割のスコアについては、「低い（0～2点）」が37.5%と最も高く、次いで「高い（4点）」が29.9%、「やや低い（3点）」が28.6%となっています。

前回調査と比較すると、「高い（4点）」が8.1ポイント減少しています。

### 【属性別の傾向】

性別にみると、男女ともに「低い（0～2点）」が最も高く、男性（41.5%）が女性（34.3%）を7.2ポイント上回っています。

年齢構成別にみると、前期高齢者では、「低い（0～2点）」が32.7%と最も高いものの、割合に大差はみられません。

一方、後期高齢者では「低い（0～2点）」が42.5%と最も高く、4割以上を占めています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「低い（0～2点）」が33.8%と最も高いものの、割合に大差はみられません。

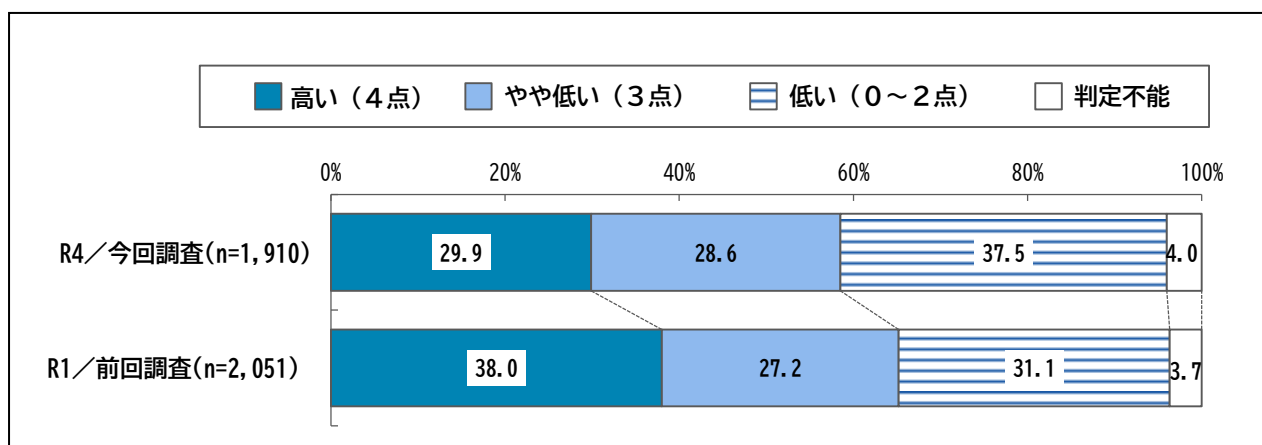
一方、総合事業対象者、要支援1・2では「低い（0～2点）」が最も高く、6割以上を占めています。

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では「やや低い（3点）」（34.9%）、息子・娘との2世帯では「高い（4点）」（34.2%）がそれぞれ最も高くなっています

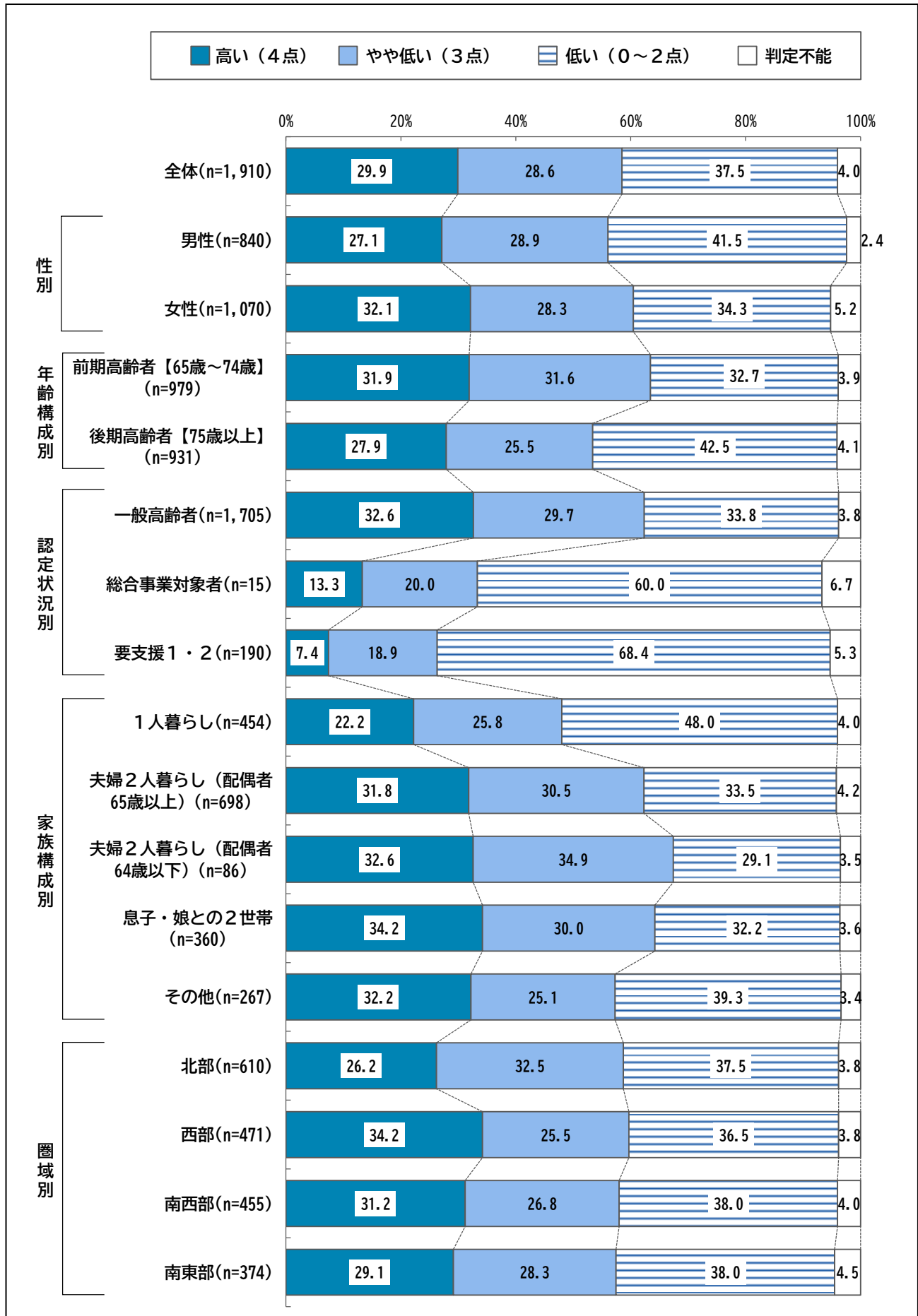
一方、1人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）、その他では「低い（0～2点）」が最も高く、特に1人暮らしでは48.0%と4割以上を占めています。

圏域別にみると、いずれの圏域でも「低い（0～2点）」が最も高くなっています。また、「高い（4点）」については、西部が34.2%と他の圏域に比べて高くなっています。

社会的役割（全体、前回比較）



社会的役割（全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別、圏域別）



### 3 地域での活動について

#### (1) 社会参加の状況

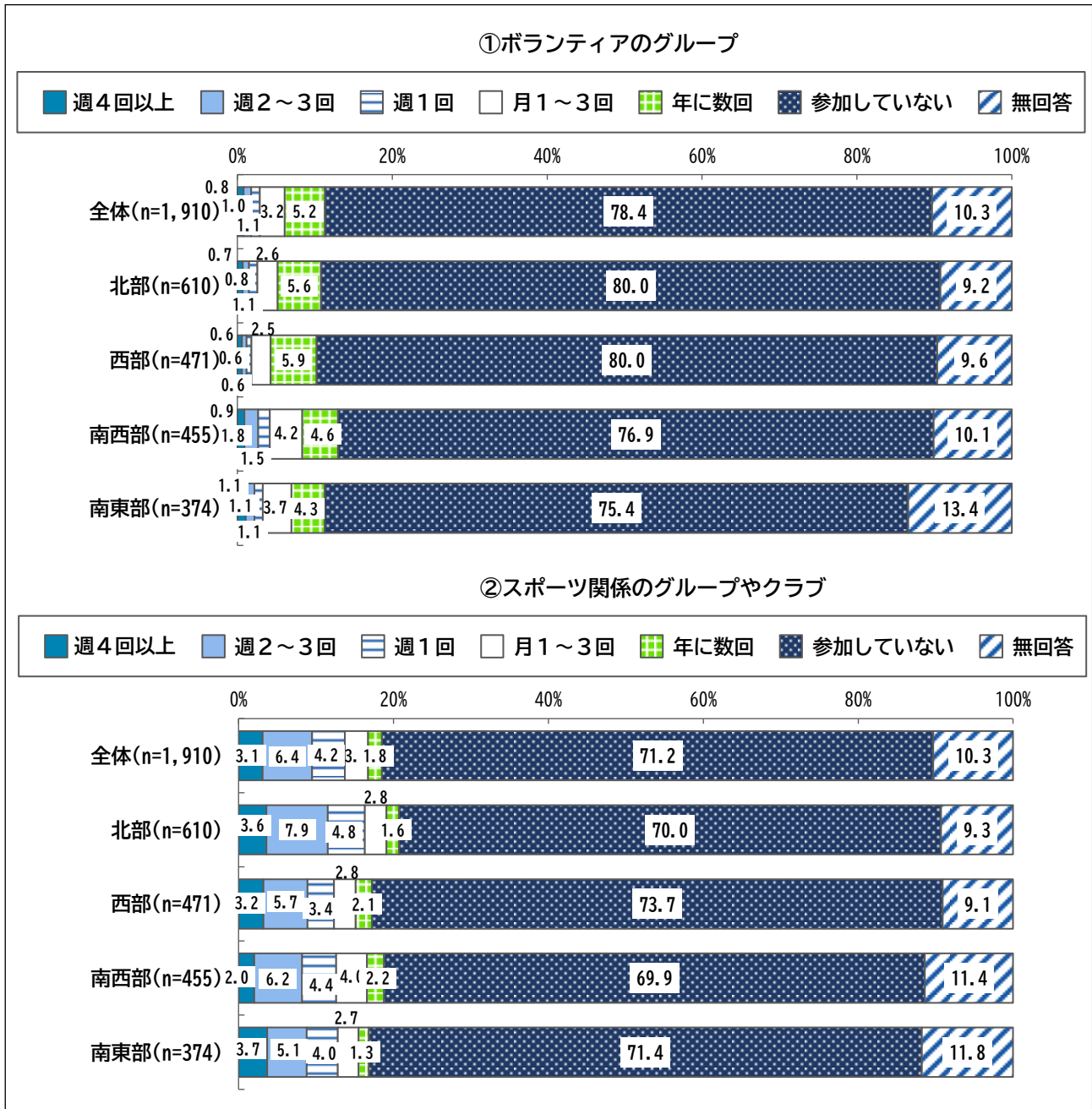
##### 【全体の傾向】

「週4回以上」から「年に数回」までを合計した『参加率』をみると、最も高いのは、⑧収入のある仕事（25.5%）で、次いで、③趣味関係のグループ（24.5%）、⑦町内会・自治会（21.2%）となっています。

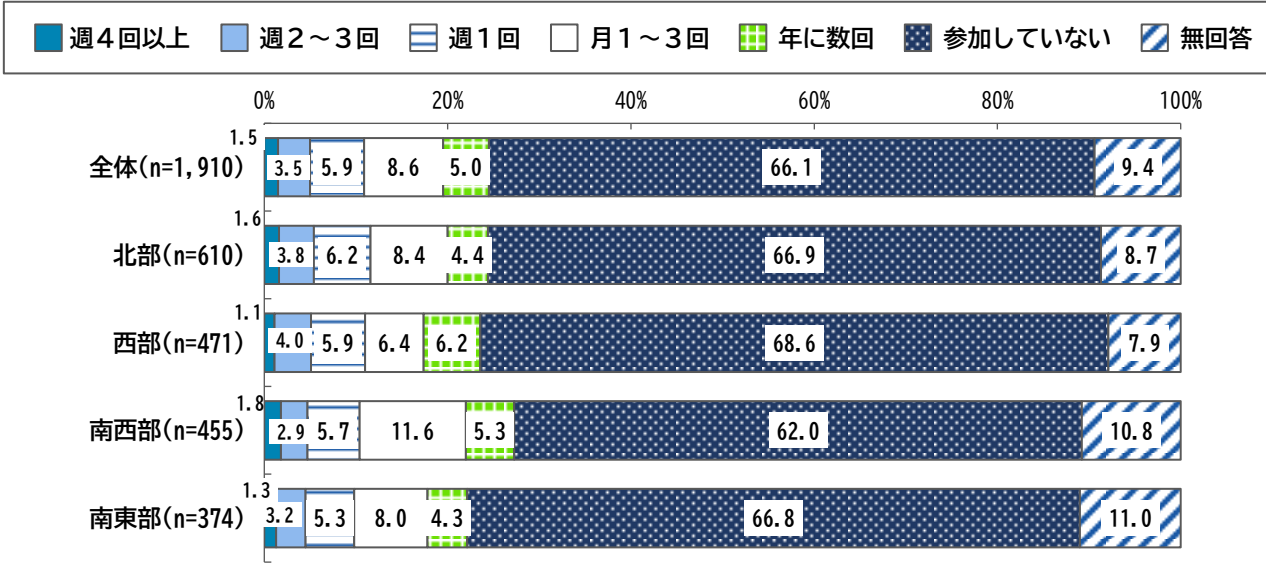
##### 【属性別の傾向】

圏域別に参加頻度をみると、⑤いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場合は、北部、南西部、南東部では「週1回」、西部では「週2～3回」がそれぞれ最も高くなっています。また、⑥老人クラブは、北部では「月1～3回」、西部、南西部、南東部では「年に数回」がそれぞれ最も高くなっています。

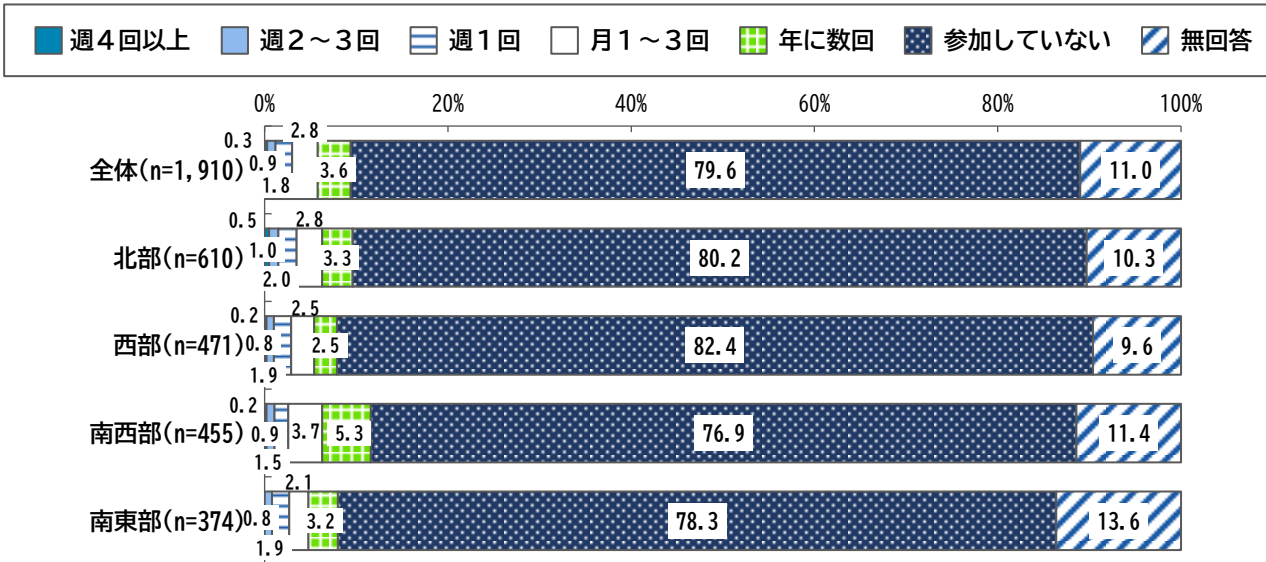
社会参加の状況（全体、圏域別）



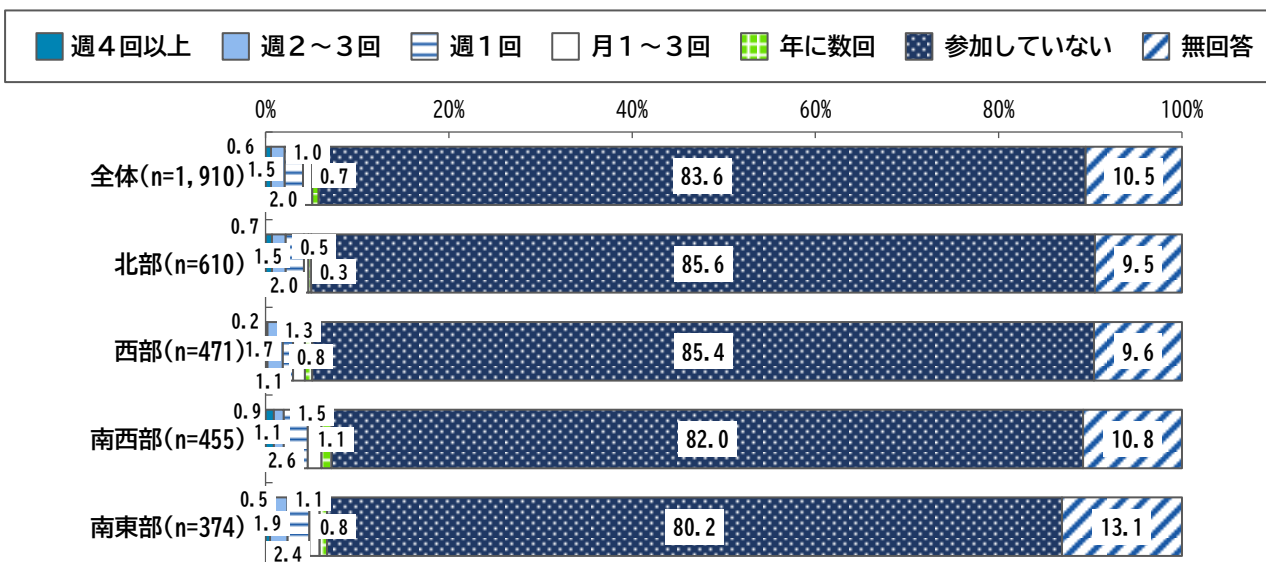
### ③趣味関係のグループ



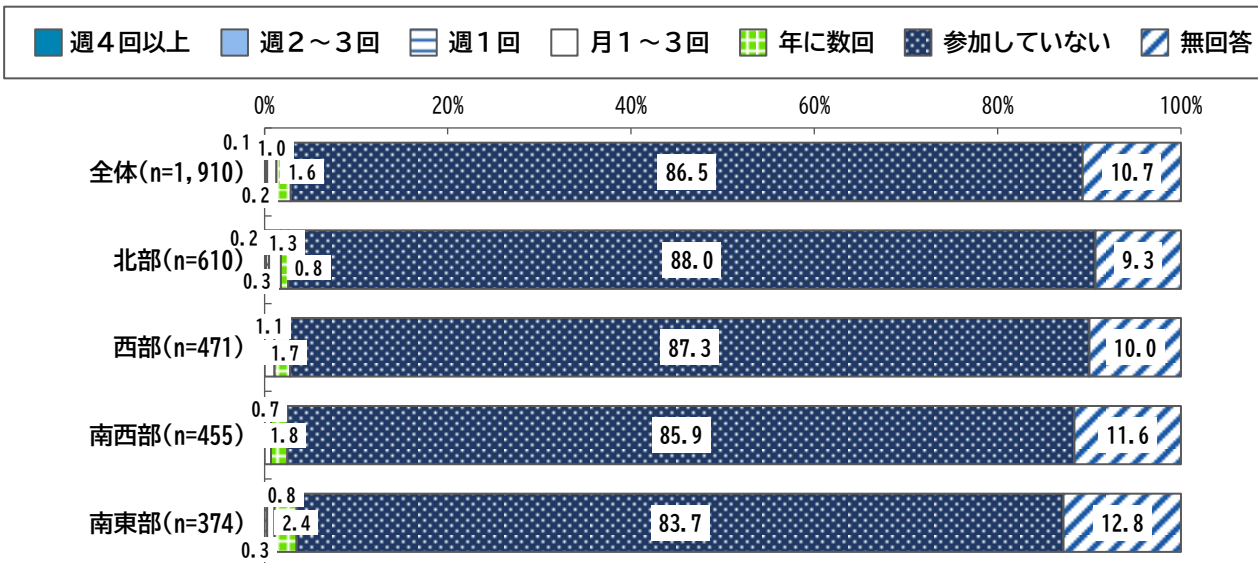
### ④学習・教養サークル



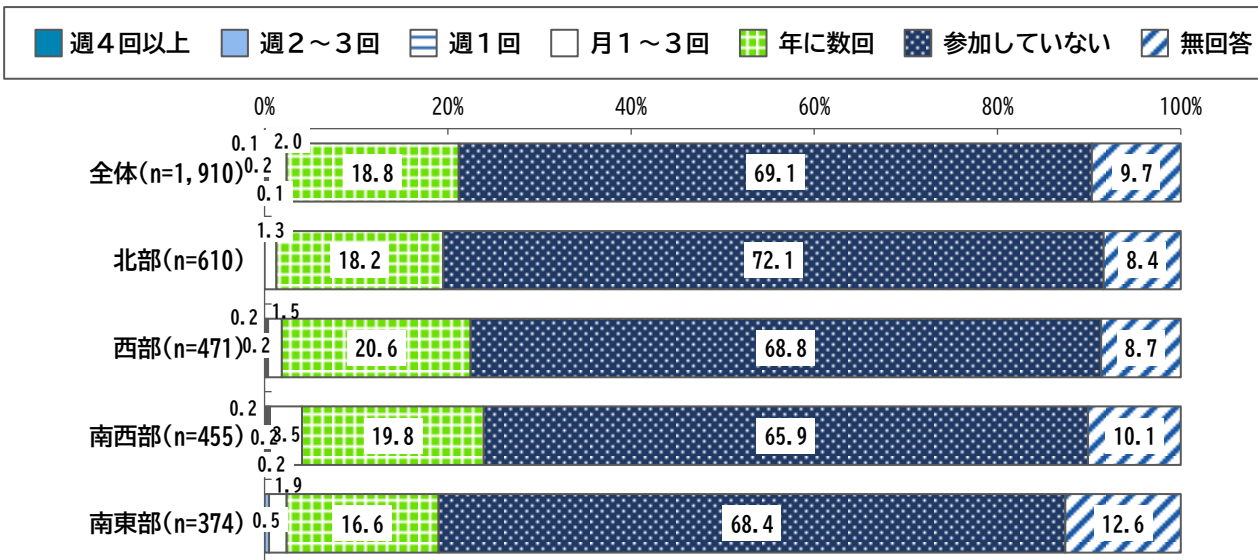
### ⑤いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場



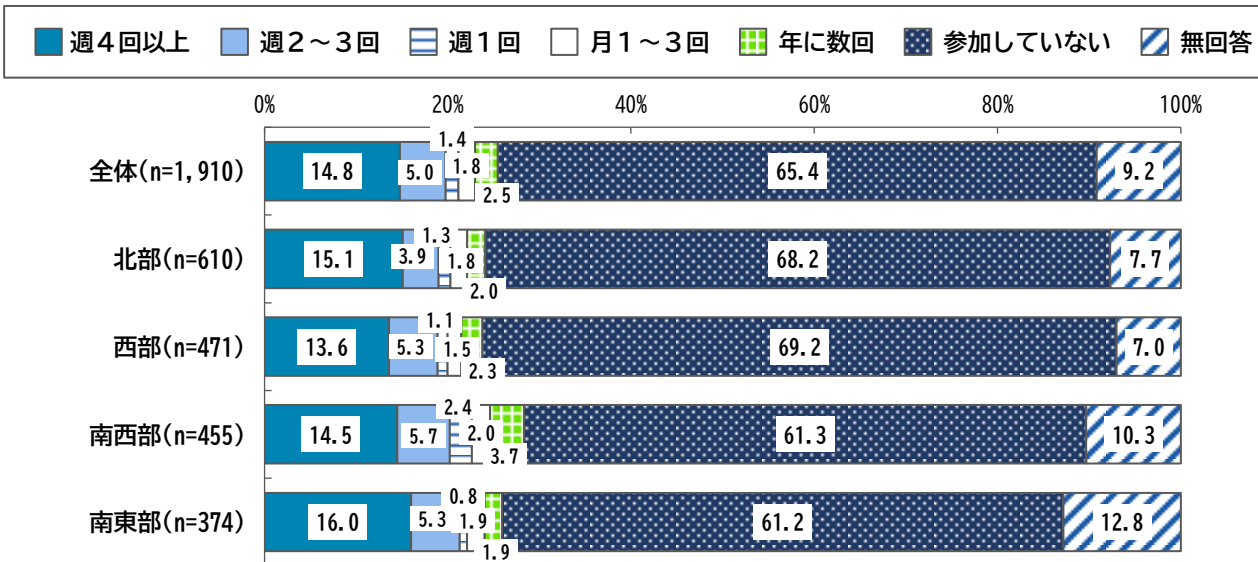
⑤いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場



⑦町内会・自治会



⑧収入のある仕事



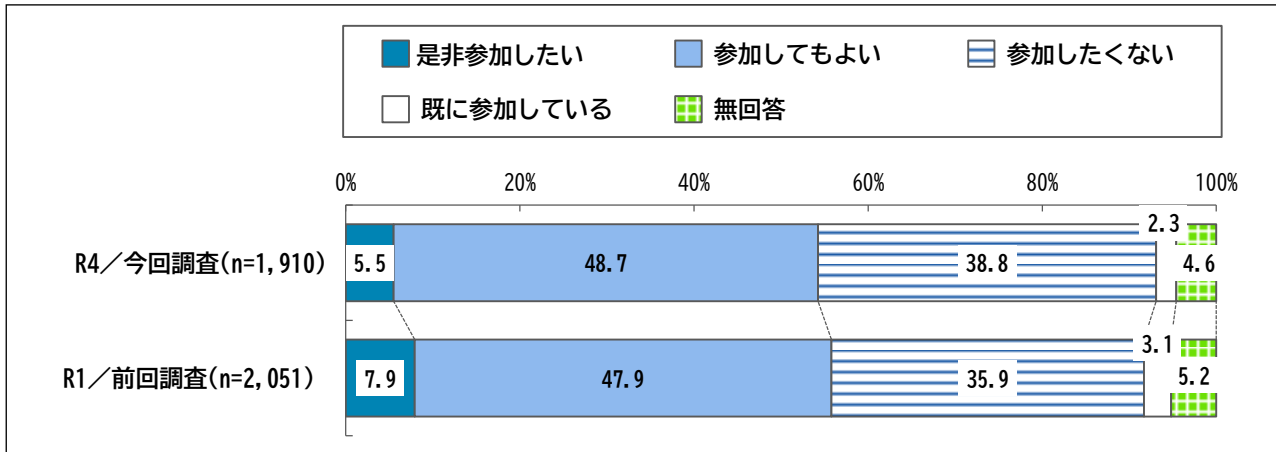
## (2) 地域づくりへの参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

### 【全体の傾向】

「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加者として参加してもよい』は54.2%を占めています。前回調査と比較すると、『参加者として参加してもよい』が1.6ポイント減少しています。

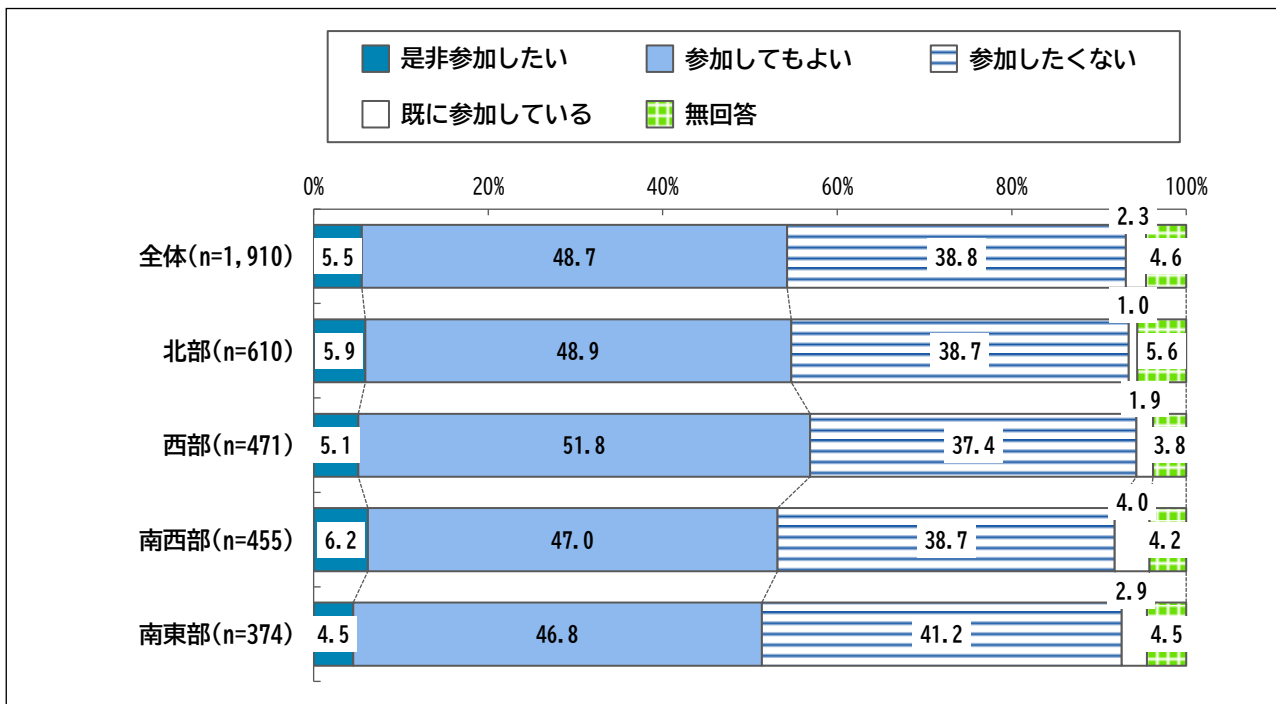
地域づくりへの参加意向（参加者）（全体、前回比較）



### 【属性別の傾向】

圏域別にみると、西部では『参加者として参加してもよい』が56.9%と最も高くなっているのに対し、南東部では51.3%と他の圏域に比べてやや低くなっています。

地域づくりへの参加意向（参加者）（全体、圏域別）

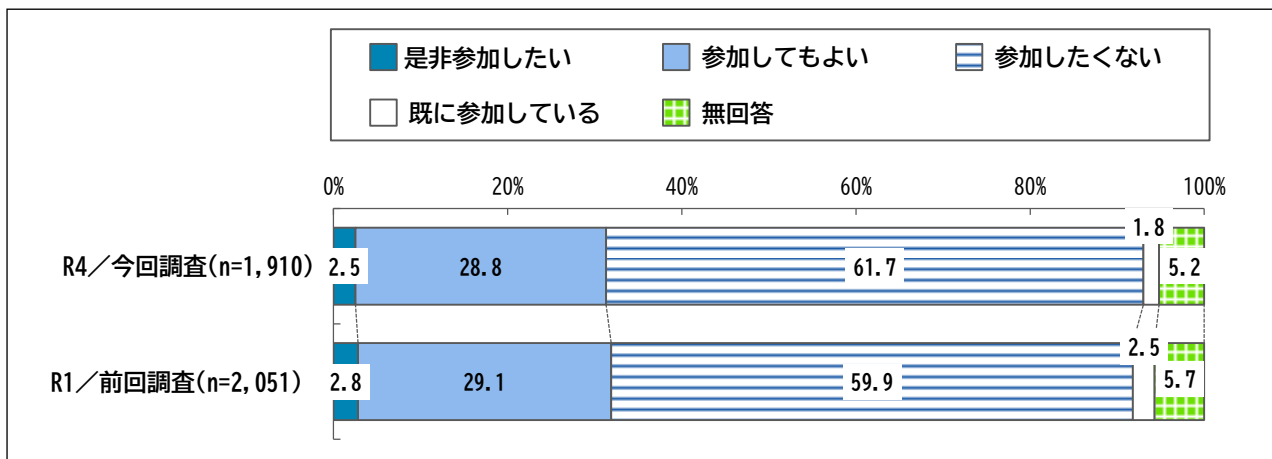


地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

【全体の傾向】

「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『企画・運営として参加してもよい』は31.3%にとどまり、前回調査と比較すると、「参加したくない」が1.8ポイント増加しています。

地域づくりへの参加意向（企画・運営）（全体、前回比較）

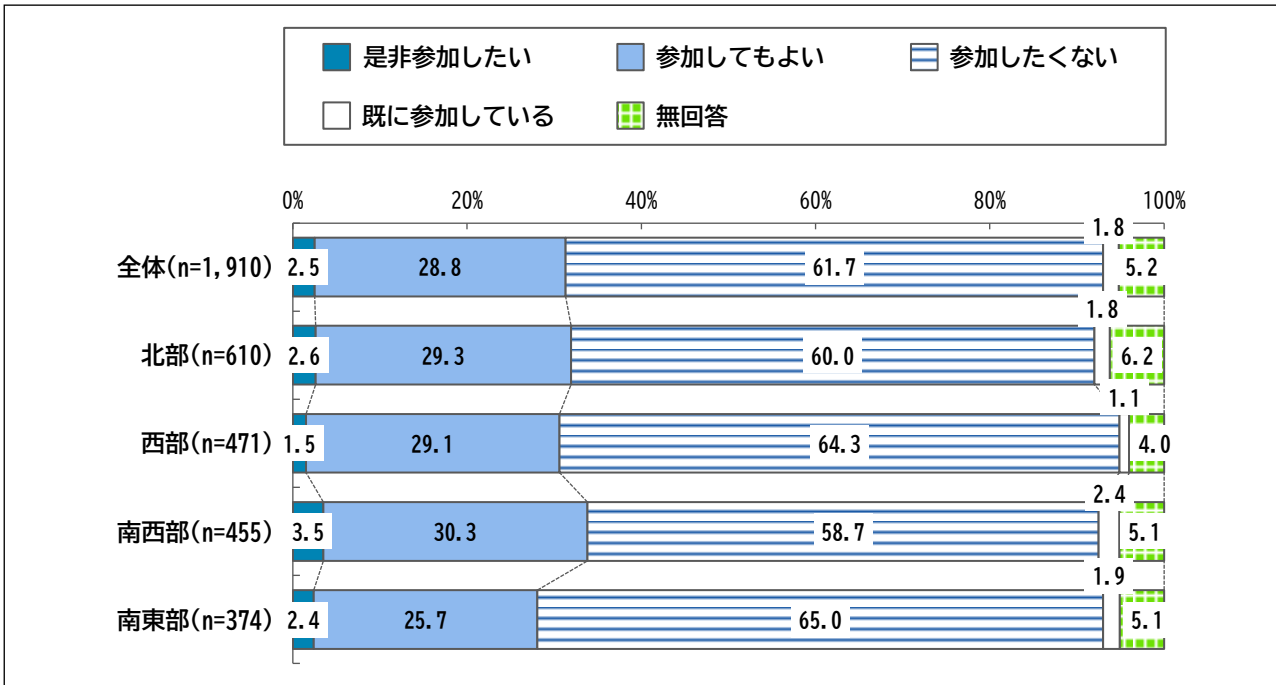




【属性別の傾向】

圏域別にみると、南西部では「是非参加したい」、「参加してもよい」が他の圏域よりも高くなっており『企画・運営として参加してもよい』は33.8%となっています。

地域づくりへの参加意向（企画・運営）（全体、圏域別）



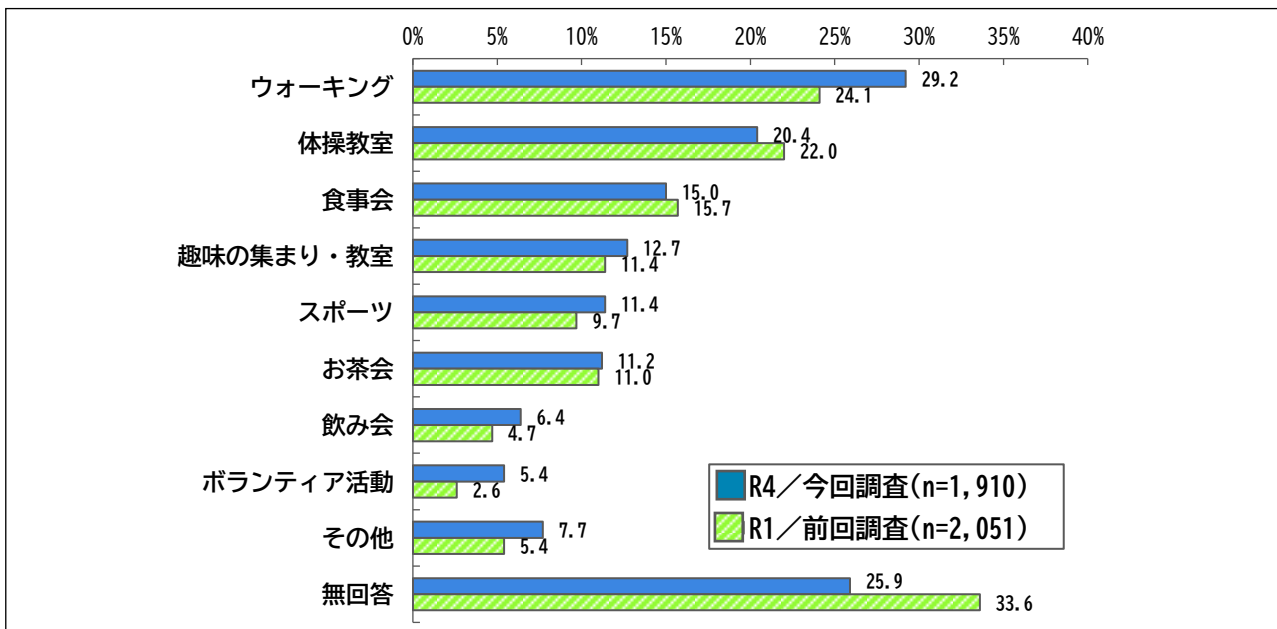
どのような集まりが地域にあれば、参加してみたいと思いますか。

【全体の傾向】

「ウォーキング」が29.2%と最も多く、次いで「体操教室」（20.4%）、「食事会」（15.0%）、「趣味の集まり・教室」（12.7%）、「スポーツ」（11.4%）となっています。

前回調査と比較すると、「ウォーキング」が5.1ポイント増加しています。

参加していみたい地域の行事（全体、前回比較／複数回答）



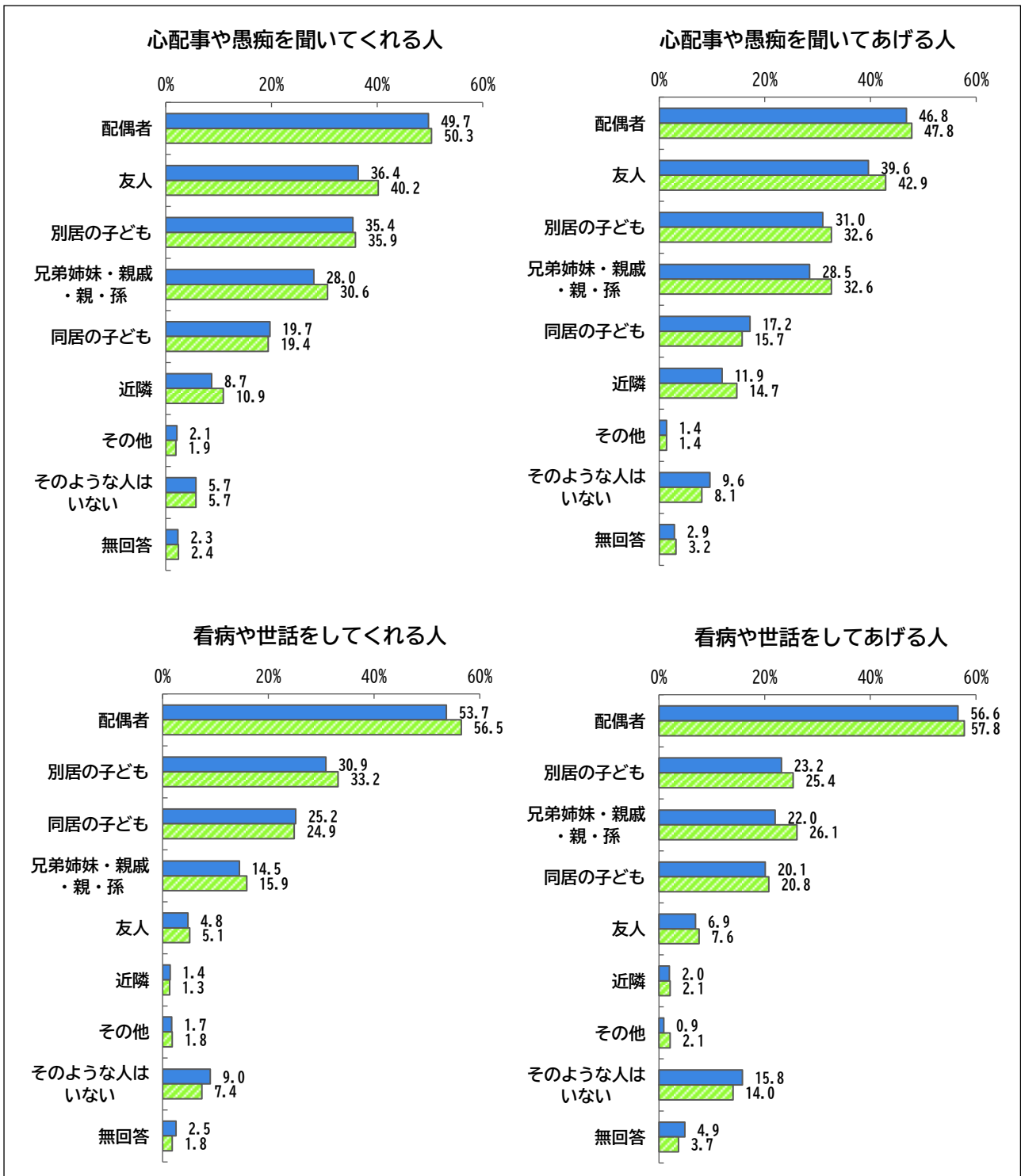
## 4 たすけあいについて

### (1) たすけあいの状況について

#### 【全体の傾向】

前回調査と比較すると、心配事や愚痴を聞いてくれる相手については「友人」が3.8ポイント減少、心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「同居の子ども」、「そのような人はいない」が増加、病気で寝込んだ際に看病してくれる人については、「そのような人はいない」が1.6ポイント増加、看病あげる人については「そのような人はいない」が1.8ポイント増加しています。

たすけあいの状況（全体、前回比較／複数回答）



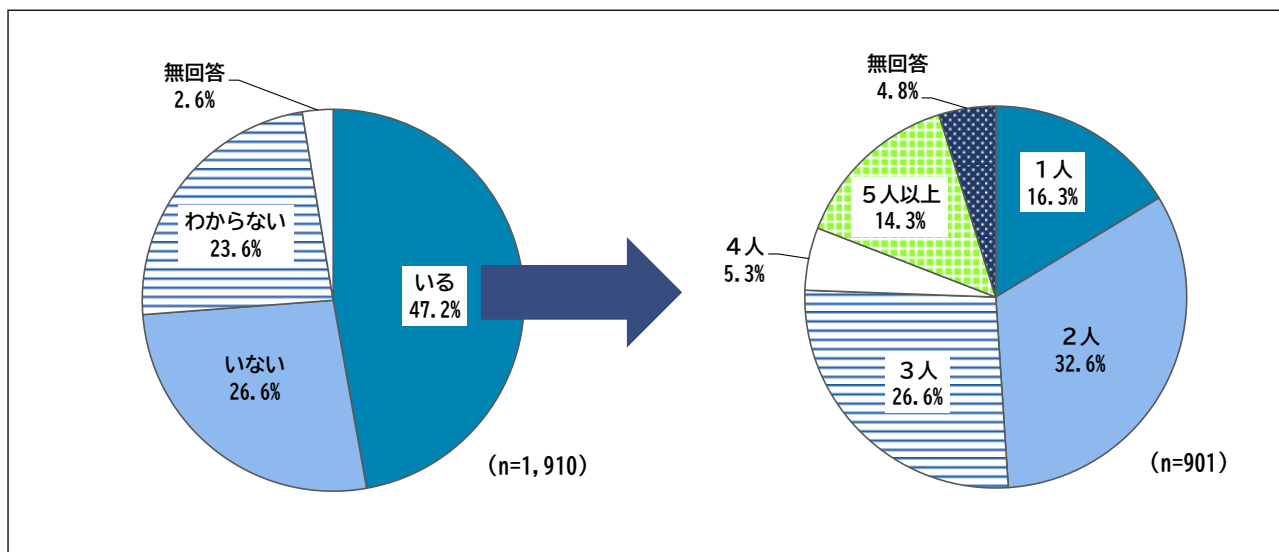
## (2) 家族以外に頼れる人の有無について

困った時に「助けて」といえる人は家族以外の人でいますか。また、いる人は何人いますか。

### 【全体の傾向】

「いる」が47.2%、「いない」が26.6%、「わからない」が23.6%となっています。また、家族以外で困った時に頼れる人の人数は、「2人」が32.6%と最も高く、次いで「3人」(26.6%)、「1人」(16.3%)、「5人以上」(14.3%)、「4人」(5.3%)となっています

家族以外に困った時に頼れる人の有無と人数について（全体）



## 5 地域での支え合いの体制について

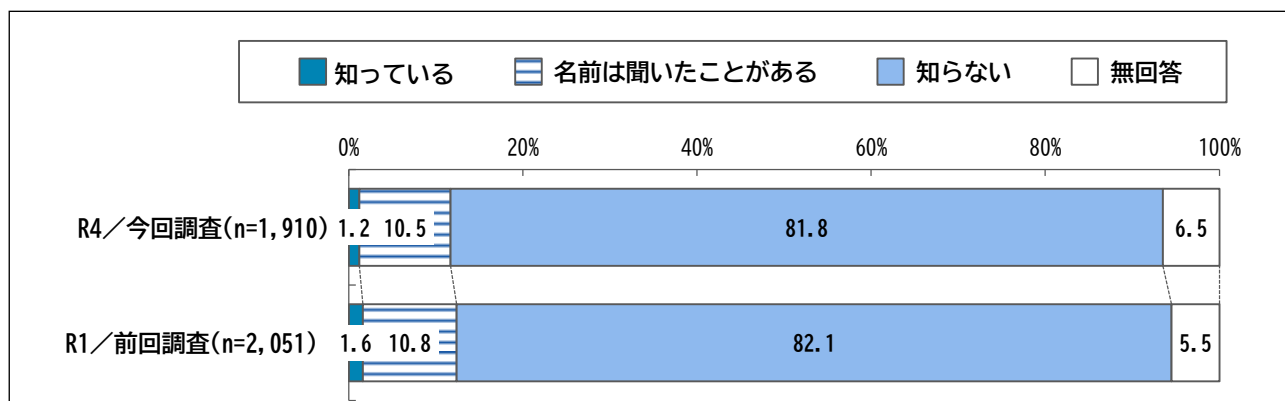
### (1) 生活支援コーディネーターの認知度

地域と連携して、支え合い活動を支援する「生活支援コーディネーター」をご存知ですか。

### 【全体の傾向】

「知っている」(1.2%)と「名前は聞いたことがある」(10.5%)を合計した『存在は知っている』は11.7%にとどまっています。

生活支援コーディネーターの認知度（全体、前回比較）



## (2) 住民同士の支え合いによる地域づくりの現状

住民同士による支え合いができる地域づくりができていますか。

### 【全体の傾向】

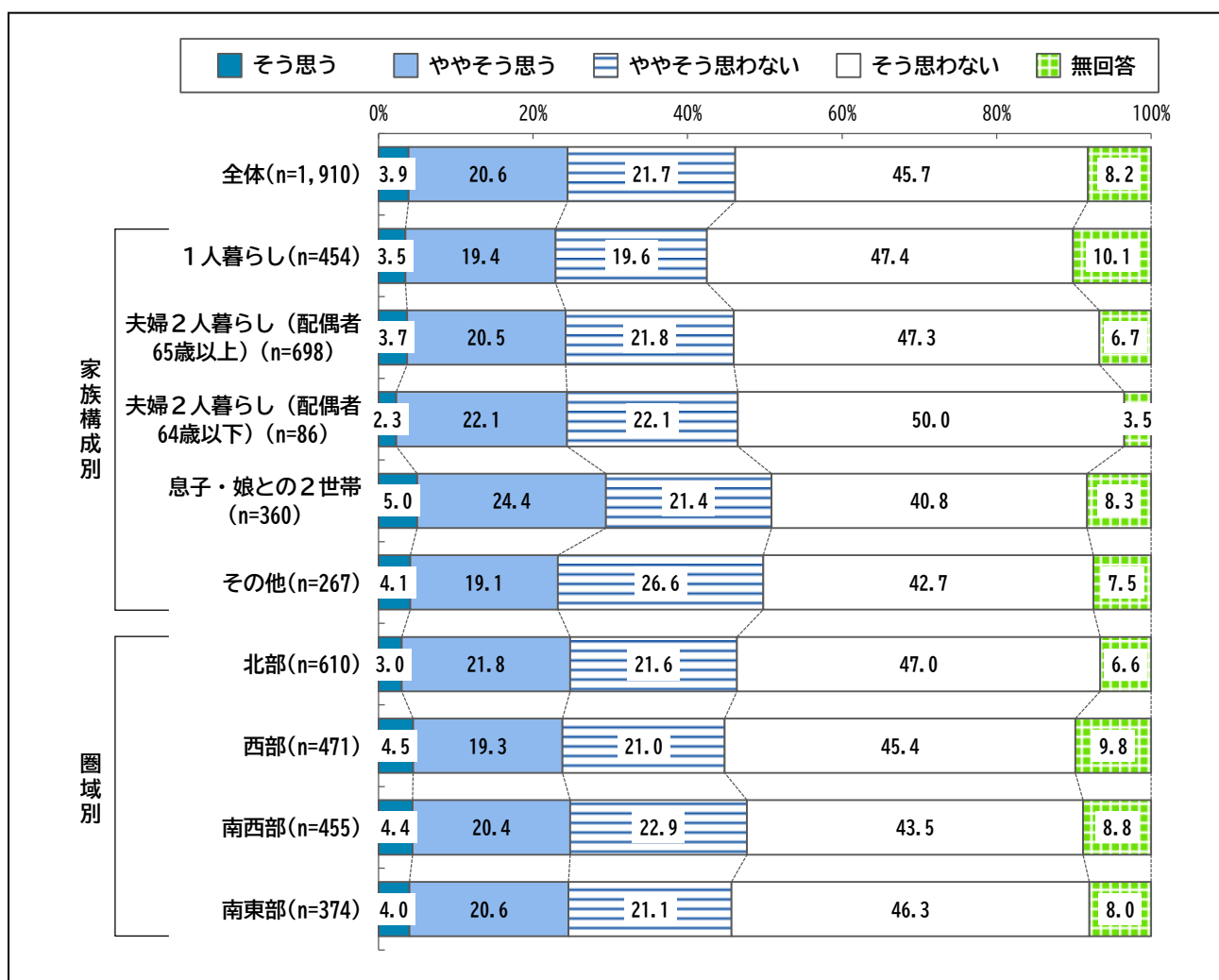
「そう思う」(3.9%)と「ややそう思う」(20.6%)を合計した『できていると思う』は24.5%となっています。

### 【属性別の傾向】

家族構成別にみると、『できていると思う』は、息子・娘との2世帯で29.4%と最も高くなっています。

圏域別にみると、『できていると思う』は、北部および南西部で24.8%、南東部で24.6%、西部で23.8%となっており、いずれの圏域でも3割を下回っています。

支え合いによる地域づくりができていますか（全体、家族構成別、圏域別）



### (3) 地域にあれば良いと思う支え合い活動について

あなたのお住まいの地区で、どのような住民同士の支え合い活動があればいいと思いますか。

#### 【全体の傾向】

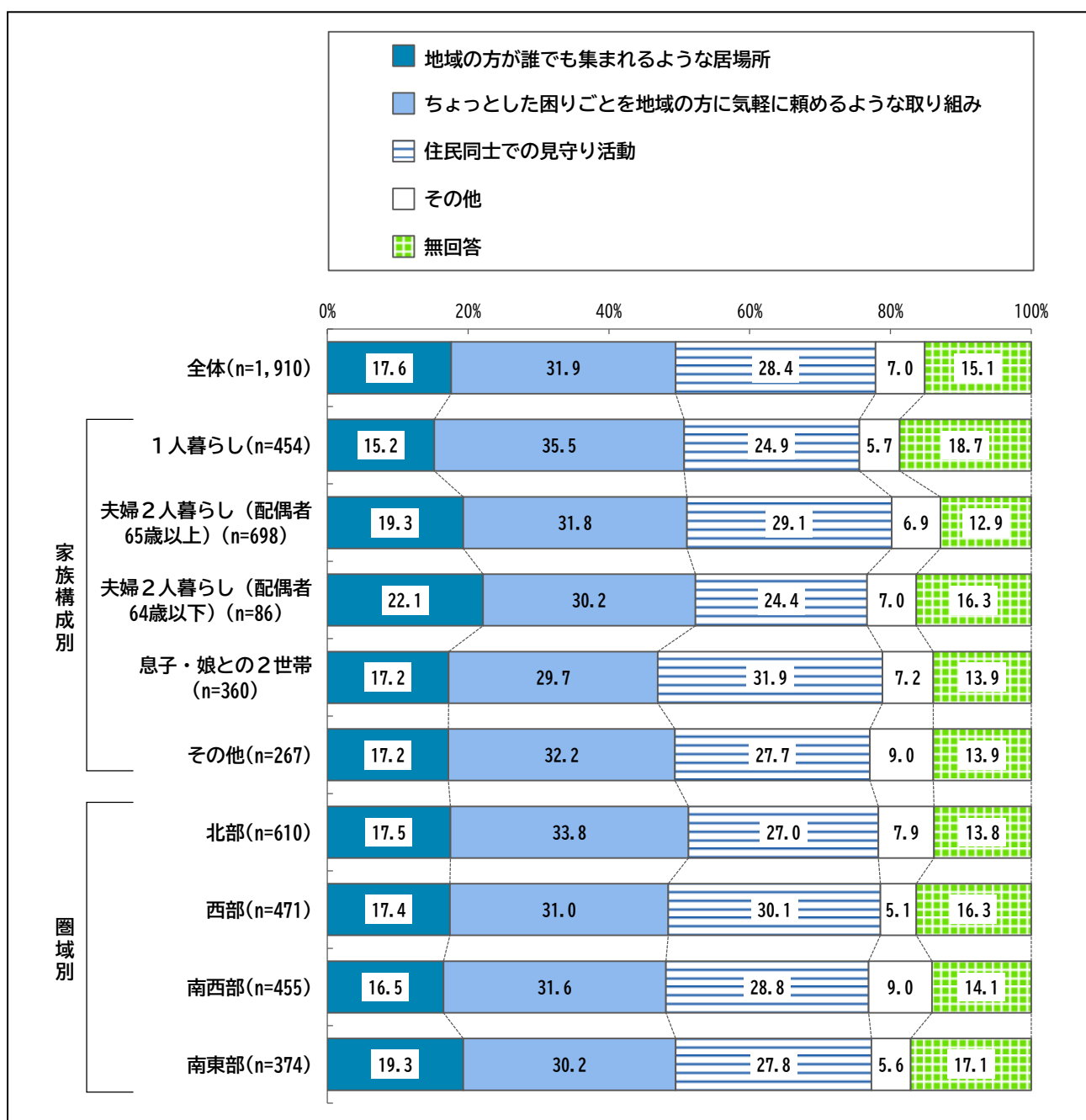
「ちょっとした困りごとを地域の方に気軽に頼めるような取り組み」が31.9%と最も高くなっています。

#### 【属性別の傾向】

家族構成別にみると、息子・娘との2世帯では「住民同士での見守り活動」(31.9%)が最も高くなっています。

圏域別にみると、南東部では「地域の方が誰でも集まれるような居場所」(19.3%)、西部では「住民同士での見守り活動」(30.1%)が他の圏域に比べて高くなっています。

地域にあれば良いと思う支え合い活動（全体、家族構成別、圏域別）



## 6 相談窓口について

### (1) 認知症に関する相談窓口や充実すべきことについて

認知症に関する相談窓口を知っていますか。

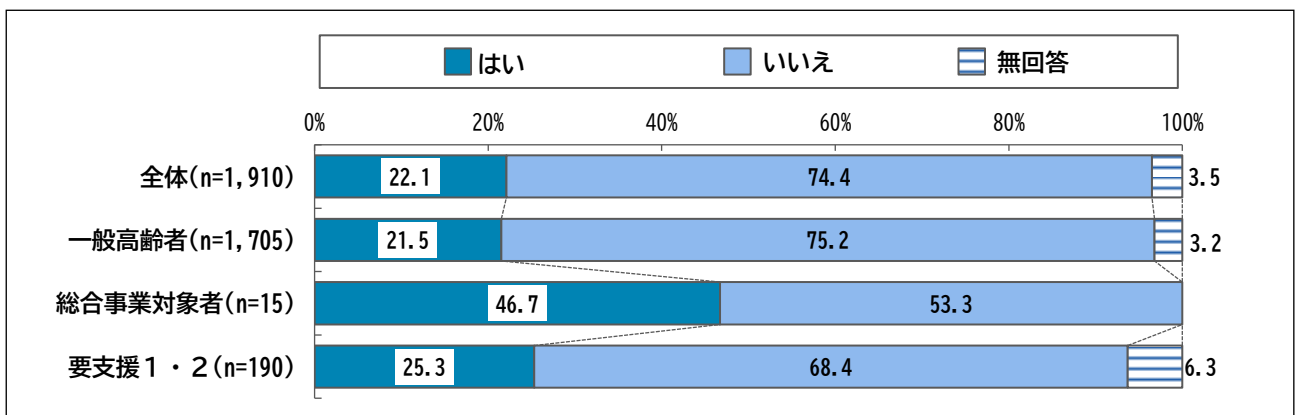
#### 【全体の傾向】

「はい」は22.1%、「いいえ」が74.4%となっています。

#### 【属性別の傾向】

認定状況別にみると、「はい」の割合は、一般高齢者では21.5%、要支援1・2では25.3%となっているのに対し、総合事業対象者では46.7%と他よりも認知度は高くなっています。

認知症に関する相談窓口の認知度（全体、認定状況別）

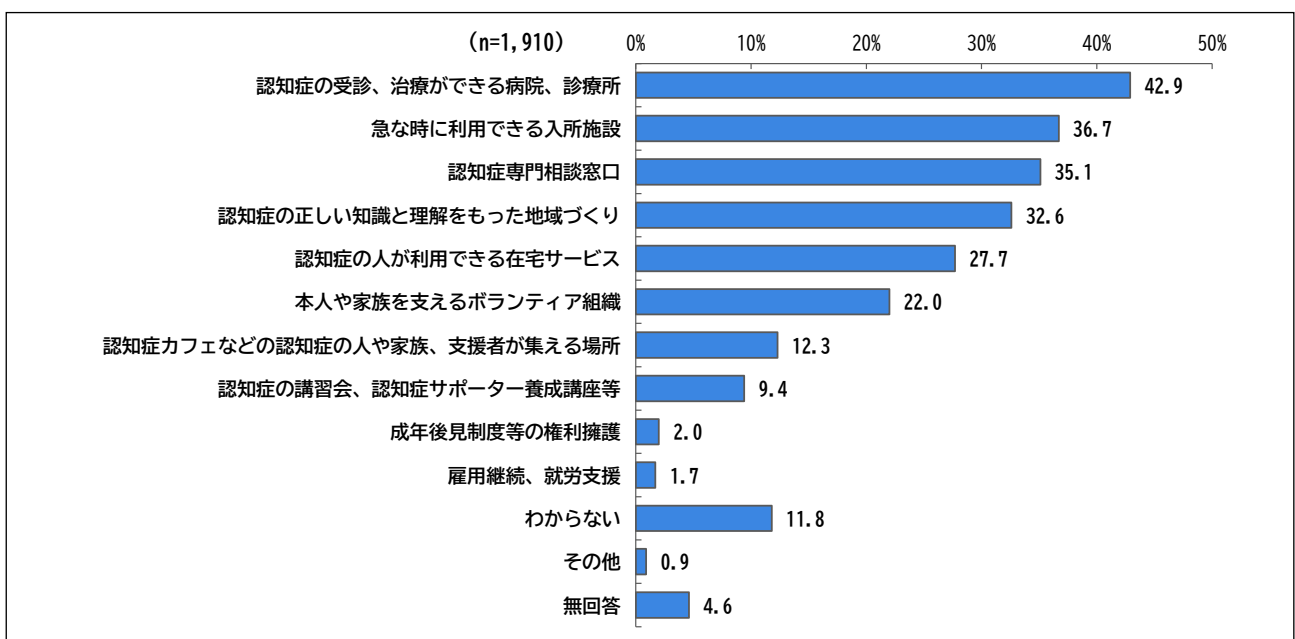


今後どのようなことを充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思いますか。

#### 【全体の傾向】

「認知症の受診、治療ができる病院、診療所」が42.9%で最も多く、次いで「急なときに利用できる入所施設」(36.7%)、「認知症専門相談窓口」(35.1%)となっています。

認知症になっても安心して暮らすために充実すべきこと（全体／複数回答：3つまで）



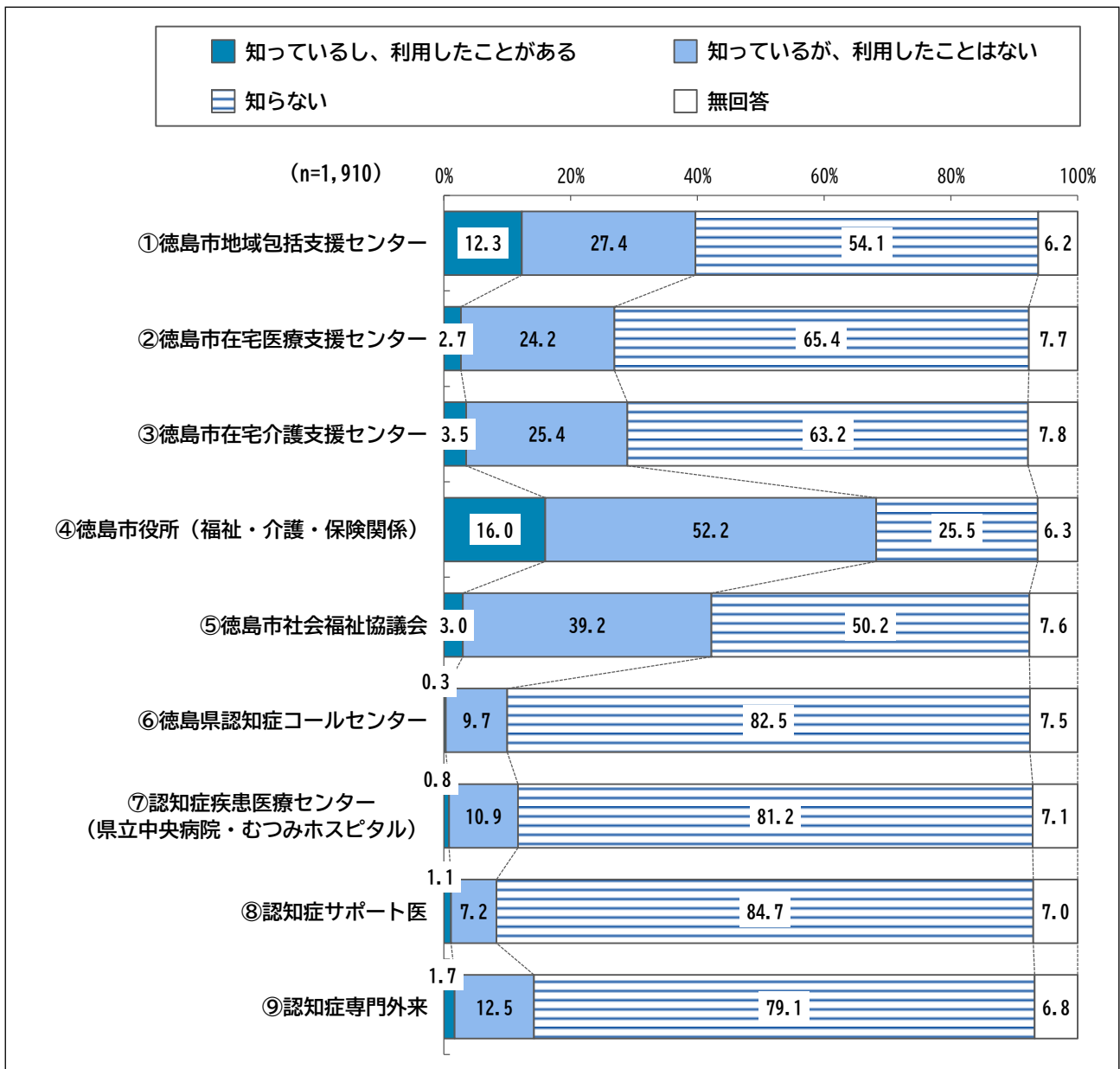
## (2) 介護予防等に関する相談窓口や医療機関について

以下の介護予防の各種事業の相談・申請窓口及び在宅医療に関する相談窓口、認知症に関する相談窓口・医療機関をご存知ですか。また、利用したことはありますか。

### 【全体の傾向】

「知っているし、利用したことがある」では①徳島市地域包括支援センター（12.3%）や④徳島市役所（福祉・介護・保険関係）（16.0%）が他の機関等に比べて高くなっています。また、⑥徳島県認知症コールセンター、⑦認知症疾患医療センター、⑧認知症サポート医では「知らない」が8割を超えています。

### 介護予防事業等に関する申請・相談窓口や医療機関の認知度と利用状況（全体）



## 7 介護予防について

### (1) 介護予防等に関する取り組み状況

現在、介護予防に関する取り組みを行っていますか。

#### 【全体の傾向】

「介護予防に関する取り組みを6か月以内に行う気はない」が53.6%と半数以上を占めています。一方、「介護予防に関する取り組みを6か月以上継続している（19.5%）」と「介護予防に関する取り組みを行っているが6か月以上継続していない」（3.0%）を合計した『現在、介護予防に関する取り組みを行っている』割合は22.5%となっています。

#### 【属性別の傾向】

性別にみると、『現在、介護予防に関する取り組みを行っている』は女性（25.0%）が男性（19.2%）を5.8ポイント上回っています。

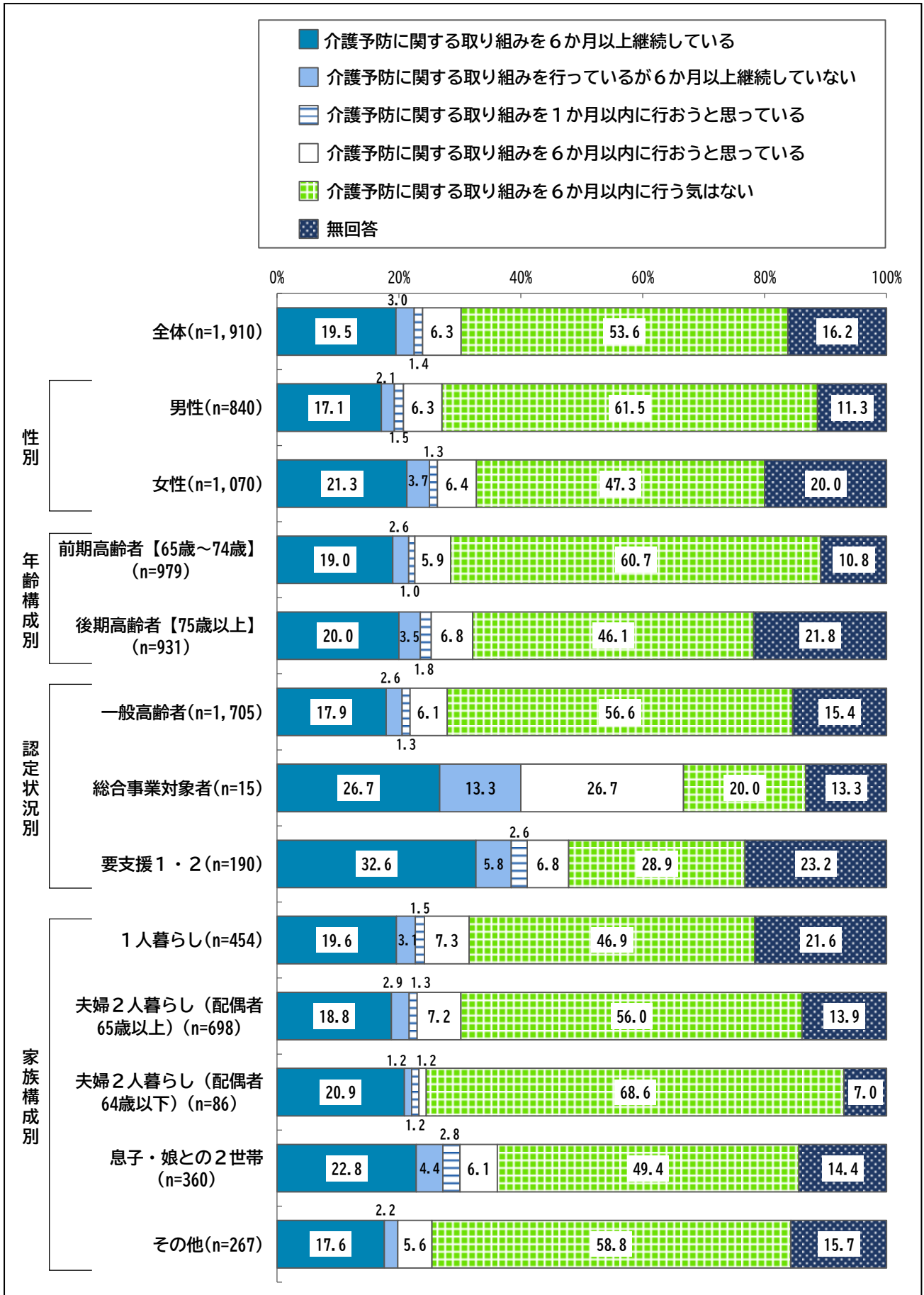
年齢構成別にみると、『現在、介護予防に関する取り組みを行っている』は後期高齢者（23.5%）が前期高齢者（21.6%）を1.9ポイント上回っています。

認定状況別にみると、『現在、介護予防に関する取り組みを行っている』は一般高齢者（20.5%）に比べて総合事業対象者（40.0%）、要支援1・2（38.4%）では高くなっています。

家族構成別にみると、『現在、介護予防に関する取り組みを行っている』は息子・娘との2世帯（27.2%）が最も高くなっています。



介護予防に関する取り組み状況（全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別）

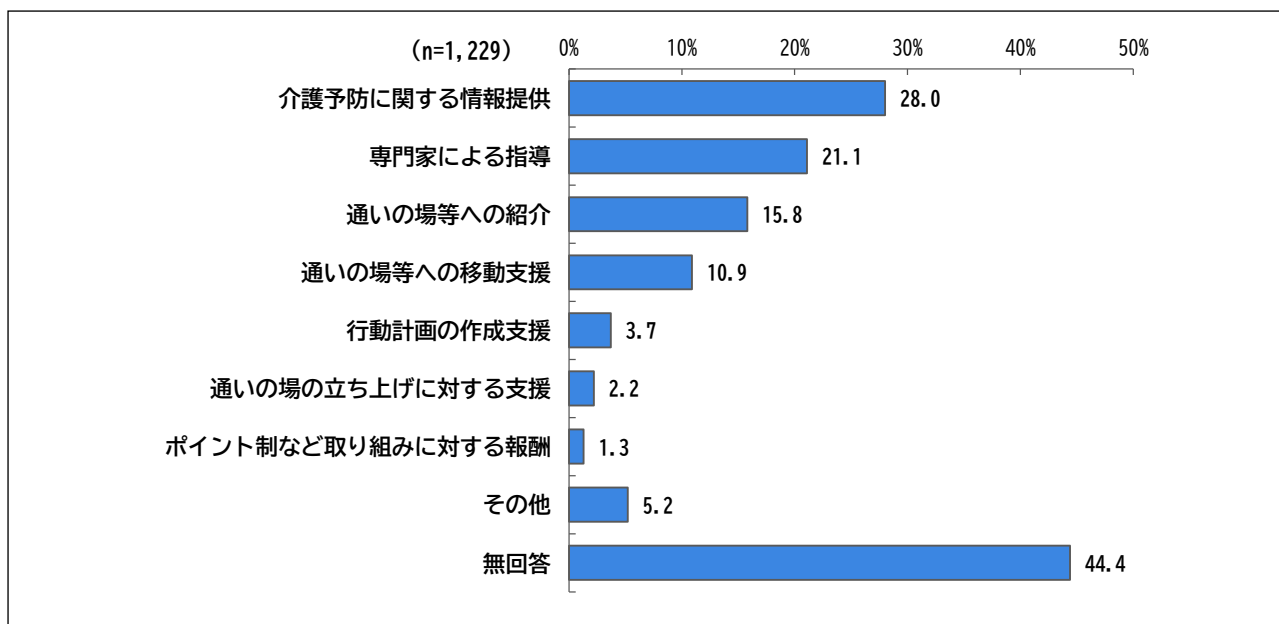


現在介護予防を継続していない、行っていない方は、どのような支援があれば介護予防に関する取り組みを開始または継続できると思いますか。

【全体の傾向】

「介護予防に関する情報提供」が28.0%と最も多く、次いで「専門家による指導」(21.1%)、「通いの場等への紹介」(15.8%)となっています。

介護予防に関する取り組みを開始、継続するために必要な支援（全体／複数回答）

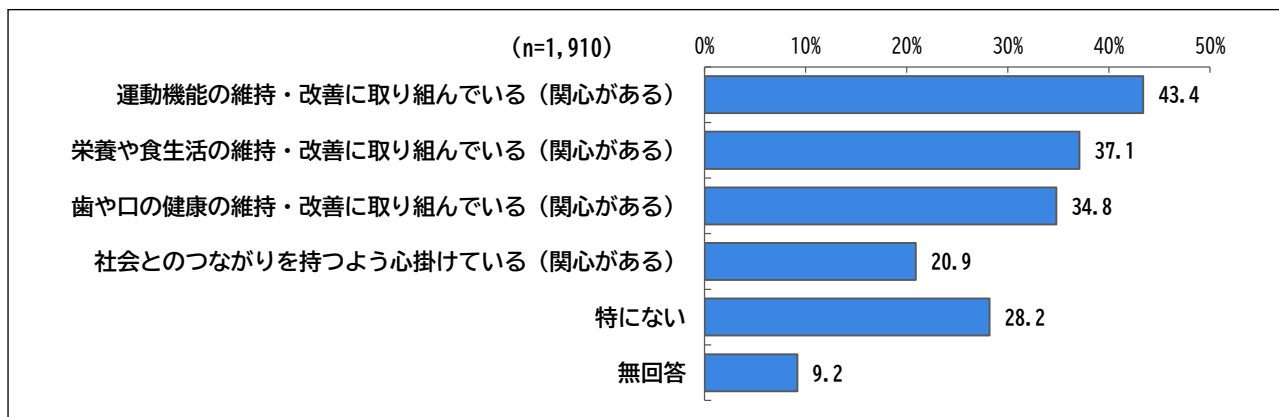


「フレイル」を予防するには栄養・運動・社会参加が重要とされていますが、取り組んでいる分野や関心がある分野はありますか。

【全体の傾向】

「運動機能の維持・改善に取り組んでいる（関心がある）」が43.4%と最も多く、次いで「栄養や食生活の維持・改善に取り組んでいる（関心がある）」(37.1%)などとなっています。

フレイル予防に関する取り組み状況（全体／複数回答）



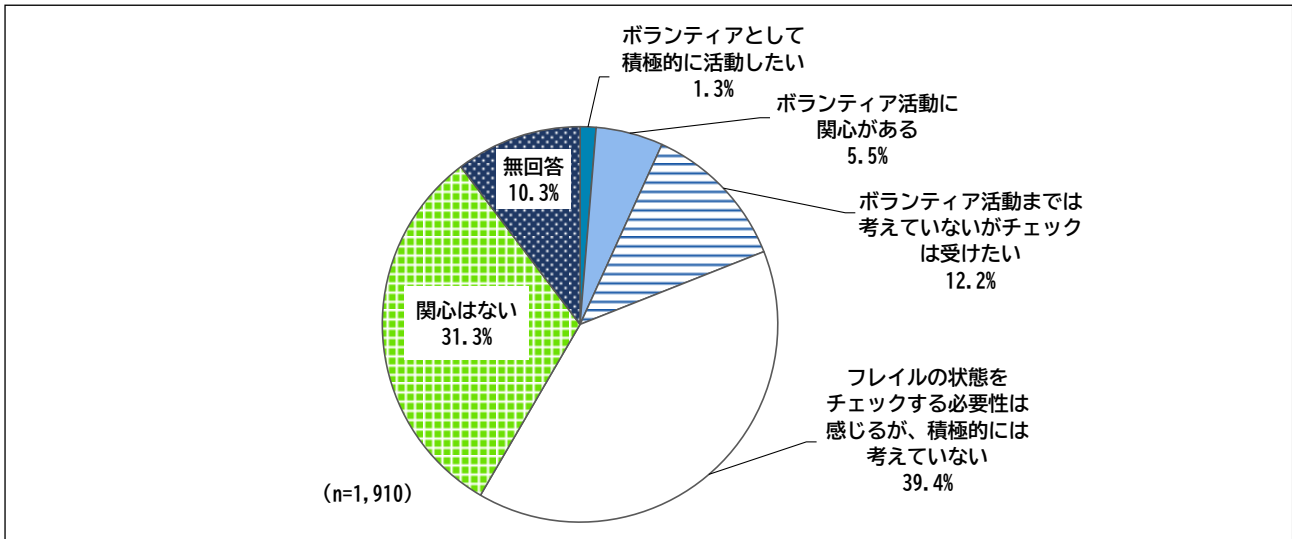
## (2) 介護予防事業に関する活動や要望について

フレイル予防のためのサポーターとして、フレイルの状態をチェックするボランティア活動が期待されていますが、住民主体のボランティア活動に対する、あなたの関心に近いものはどれですか。

### 【全体の傾向】

フレイル予防のボランティア活動に対する関心度についてみると、「フレイルの状態をチェックする必要性を感じるが、積極的には考えていない」が39.4%と最も高くなっています。

フレイル予防のボランティア活動への関心度（全体）

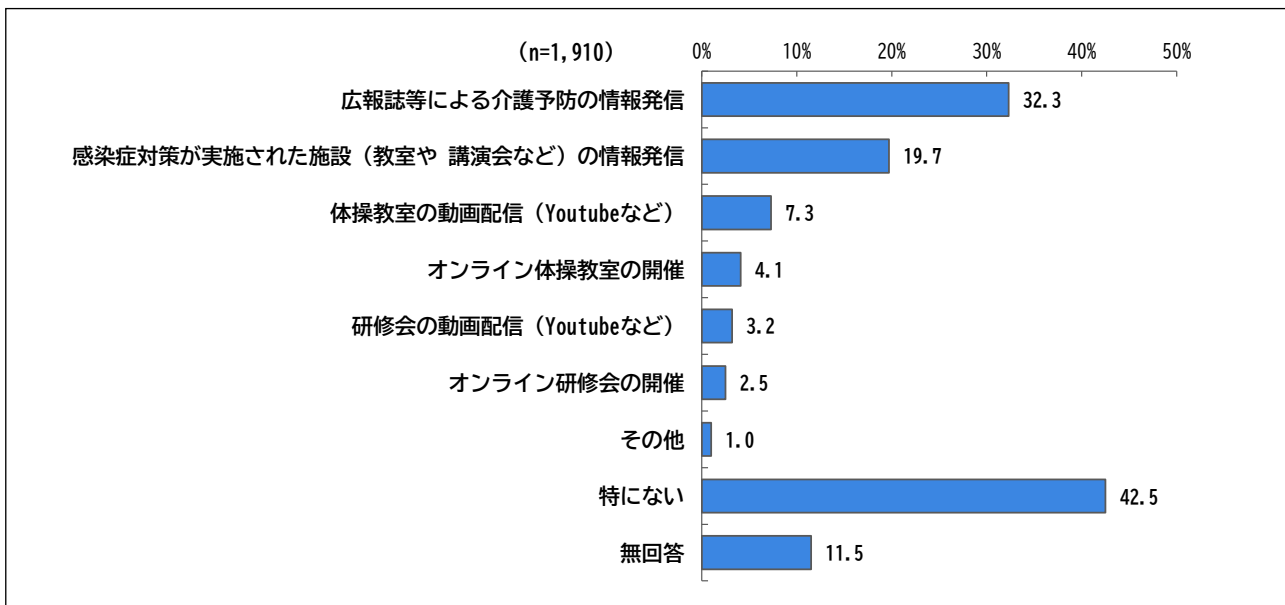


コロナ禍やポストコロナを見据えた新しい生活の中での介護予防事業として、より充実を望むことはありますか。

### 【全体の傾向】

「広報誌等による介護予防の情報発信」が32.3%、「感染症対策が実施された施設（教室や講演会など）の情報発信」が19.7%などとなっています。一方、「特にない」は42.5%となっています。

ポストコロナを見据えた生活での介護予防事業に望むこと（全体／複数回答）



### (3) 介護予防事業に関する情報の入手先

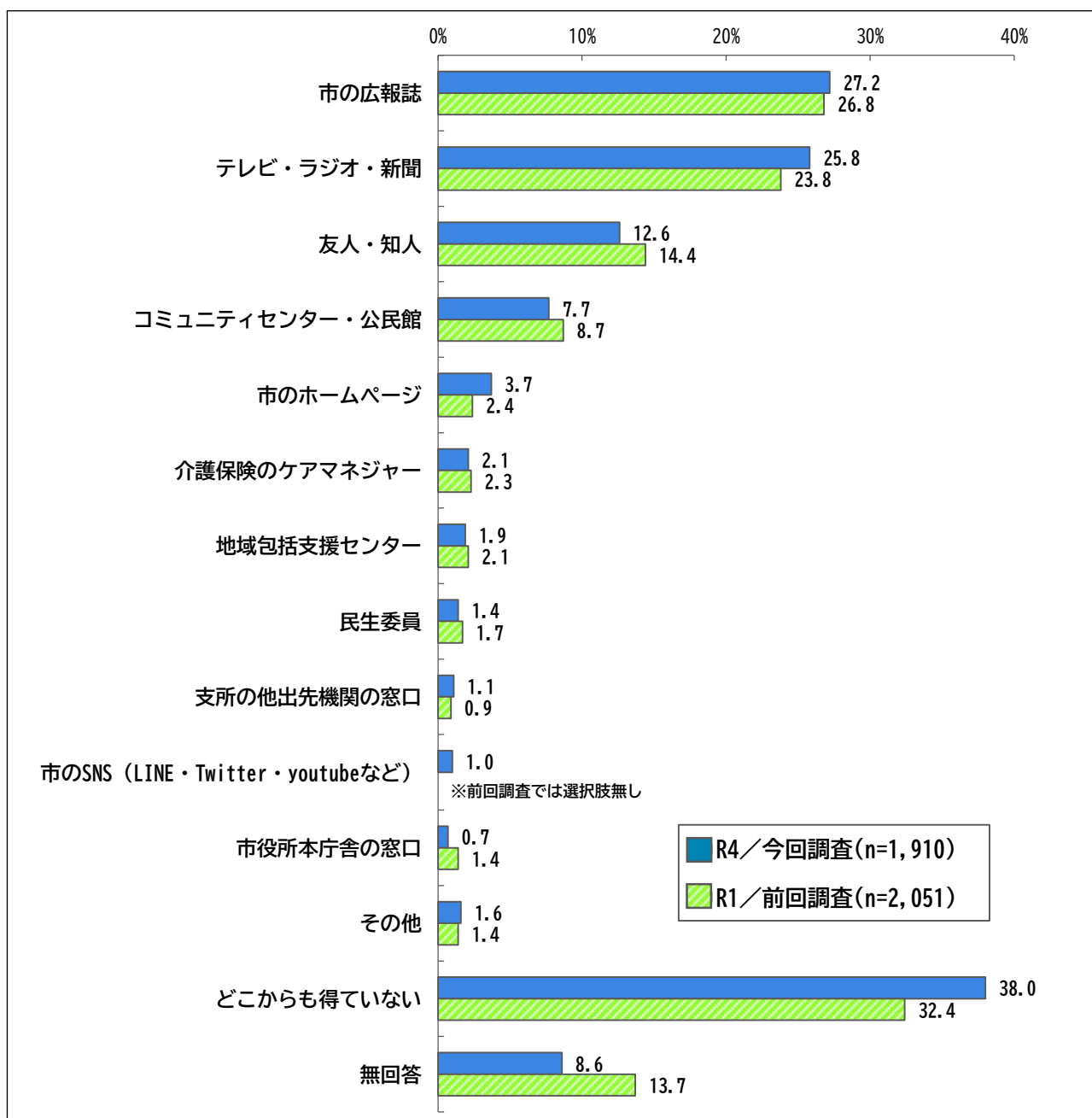
徳島市の体操教室などの介護予防事業についての情報はどこから入手していますか。

#### 【全体の傾向】

介護予防事業に関する情報の入手先についてみると、入手先としては「市の広報誌」が27.2%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞」(25.8%)、「友人・知人」(12.6%)となっています。

前回調査と比較すると、「市の広報誌」、「テレビ・ラジオ・新聞」「市のホームページ」などが増加し、「友人・知人」、「コミュニティセンター・公民館」、「介護保険のケアマネジャー」などが減少していることから、直接人を介さない方法での入手を選んでいる傾向が強くなっています。

介護予防事業に関する情報の入手先（全体、前回比較／複数回答）



## 8 成年後見制度について

### (1) 成年後見制度の利用希望

あなた自身の判断能力が低下し、自分で身の回りの契約行為や財産管理などができなくなった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。

#### 【全体の傾向】

成年後見制度の利用希望についてみると、「はい」が22.6%、「いいえ」が28.7%、「わからない」が42.8%となっています。

#### 【属性別の傾向】

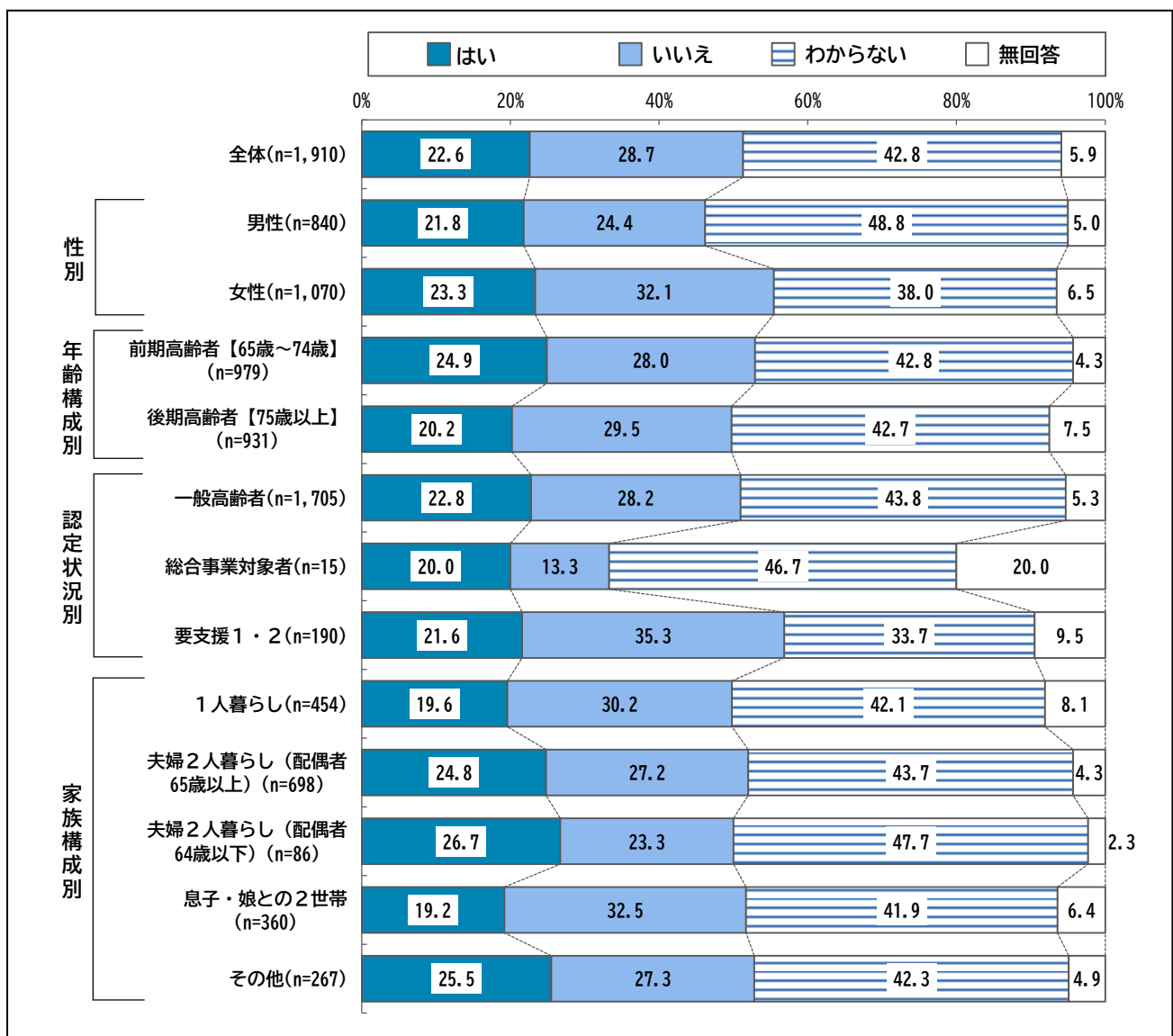
性別にみると、「わからない」は男性（48.8%）が女性（38.0%）を10.8ポイント上回っています。

年齢構成別にみると、「はい」は前期高齢者が後期高齢者を4.7ポイント上回っています。

認定状況別にみると、要支援1・2では「いいえ」が35.3%と3割を超えています。

家族構成別にみると、「はい」は、1人暮らし、息子・娘との2世帯では2割未満となっています。

成年後見制度の利用希望（全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別）



成年後見制度の利用希望がある場合は、将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、だれに後見人となって支援してほしいですか。

【全体の傾向】

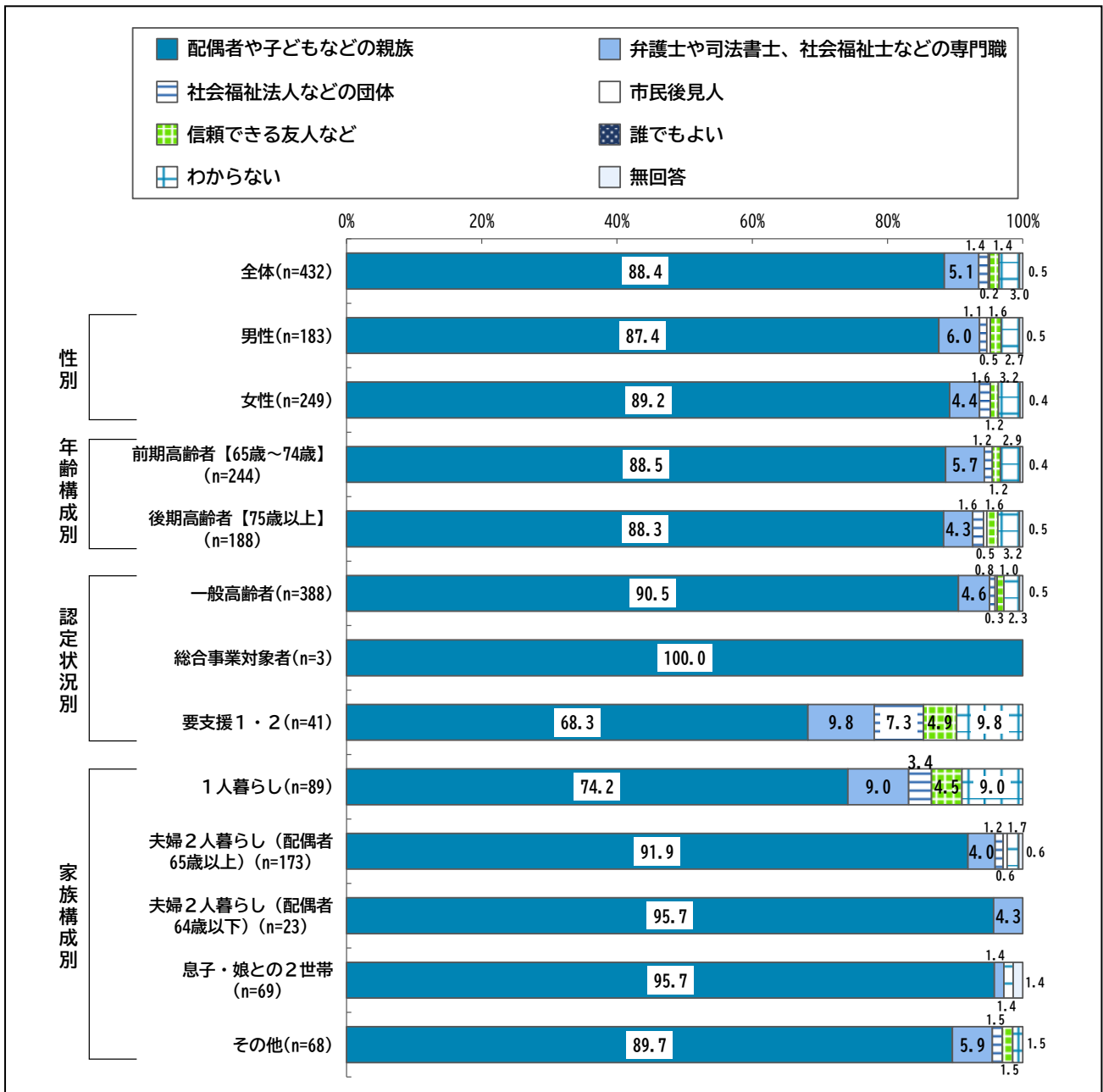
後見人となってほしい人をみると、「配偶者や子どもなどの親族」が88.4%を占めています。

【属性別の傾向】

認定状況別にみると、要支援1・2では「弁護士や司法書士、社会福祉士などの専門職」、「社会福祉法人などの団体」、「信頼できる友人など」が一般高齢者や総合事業対象者に比べて高くなっています。

家族構成別にみると、1人暮らしでは「弁護士や司法書士、社会福祉士などの専門職」、「社会福祉法人などの団体」、「信頼できる友人など」が他の家族構成に比べて高くなっています。

成年後見制度を利用する場合に後見人となってほしい人  
(全体、性別、年齢構成別、認定状況別、家族構成別)

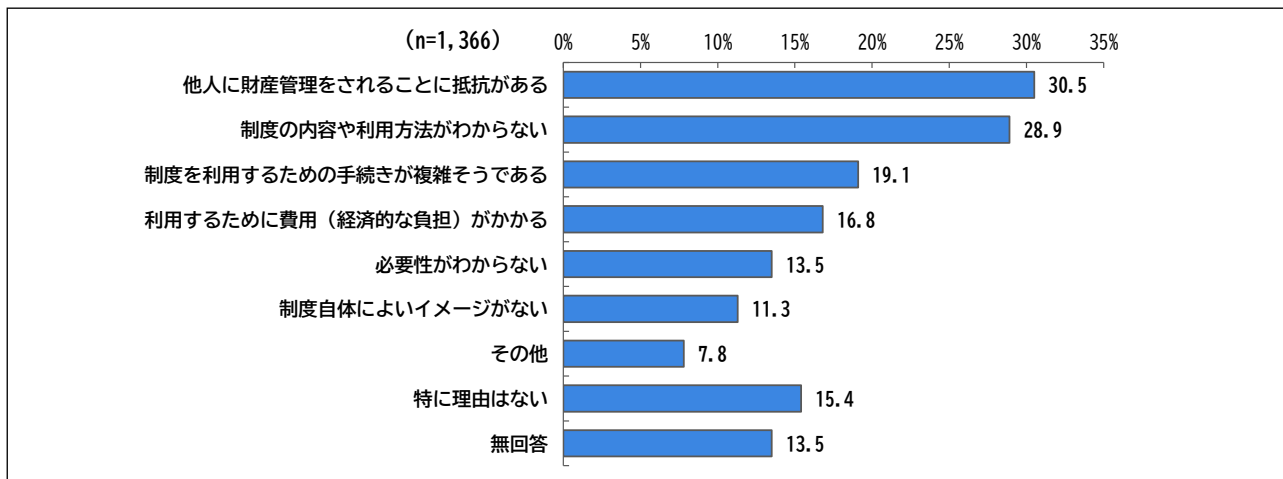


成年後見制度を「利用したいと思わない」または「わからない」と回答した理由は何ですか。

【全体の傾向】

「他人に財産管理をされることに抵抗がある」が30.5%と最も多く、次いで「制度の内容や利用方法がわからない」(28.9%)、「制度を利用するための手続きが複雑そうである」(19.1%) などとなっています。

成年後見制度を利用したいと思わない、わからない理由（全体／複数回答）



## 9 終末期の療養について

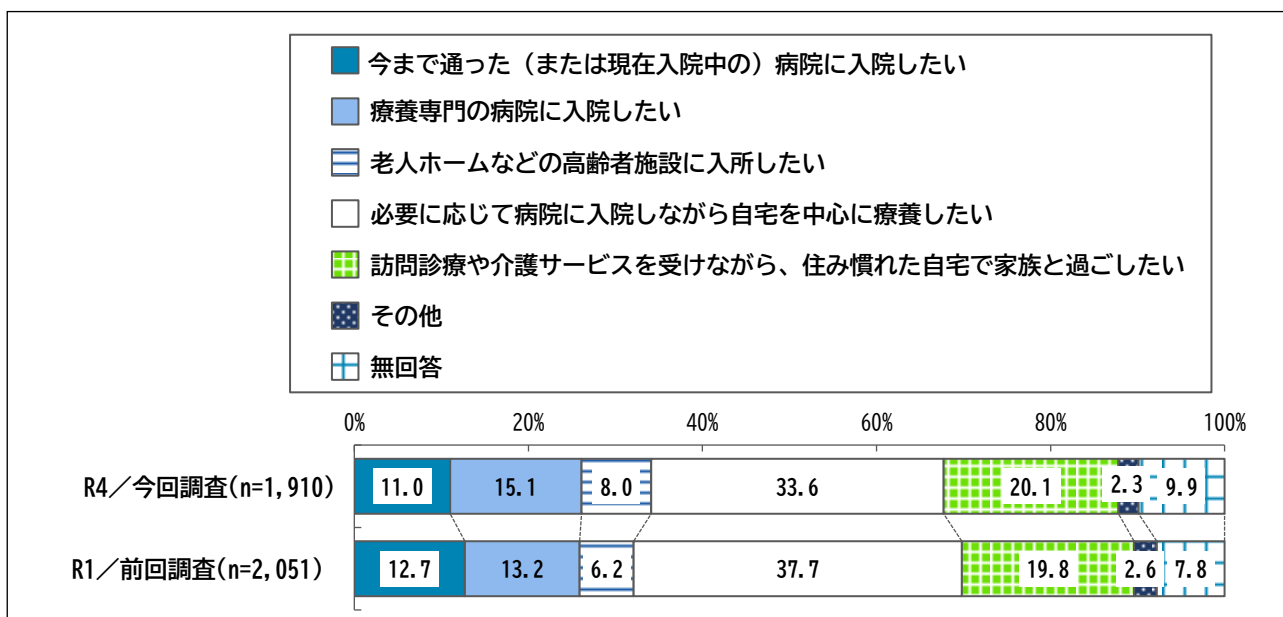
### (1) 終末期の療養場所について

終末期の療養はどのような場所を希望しますか。

【全体の傾向】

「必要に応じて病院に入院しながら自宅を中心に療養したい」が33.6%と最も高くなっています。前回調査と比較すると、自宅以外での療養を望む割合が増加しています。

終末期における療養場所の希望（全体、前回比較）

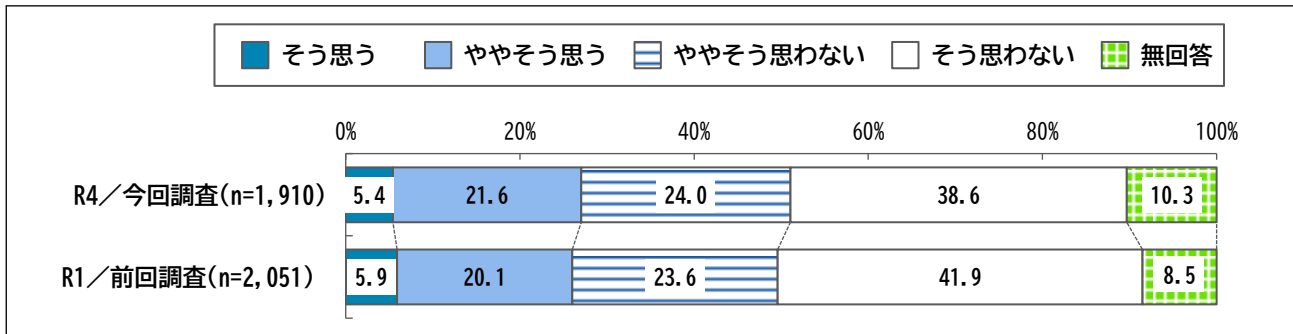


あなたやあなたの家族が、自宅で最期を迎えたいと願った時に、希望がかなえられる体制が整っていると思いますか。

【全体の傾向】

「そう思う」(5.4%)と「ややそう思う」(21.6%)を合計した『整っていると思う』は27.0%となっています。前回調査と比較すると、『整っていると思う』が1.0ポイント増加しています。

自宅で最期を迎える体制が整っているか（全体、前回比較）

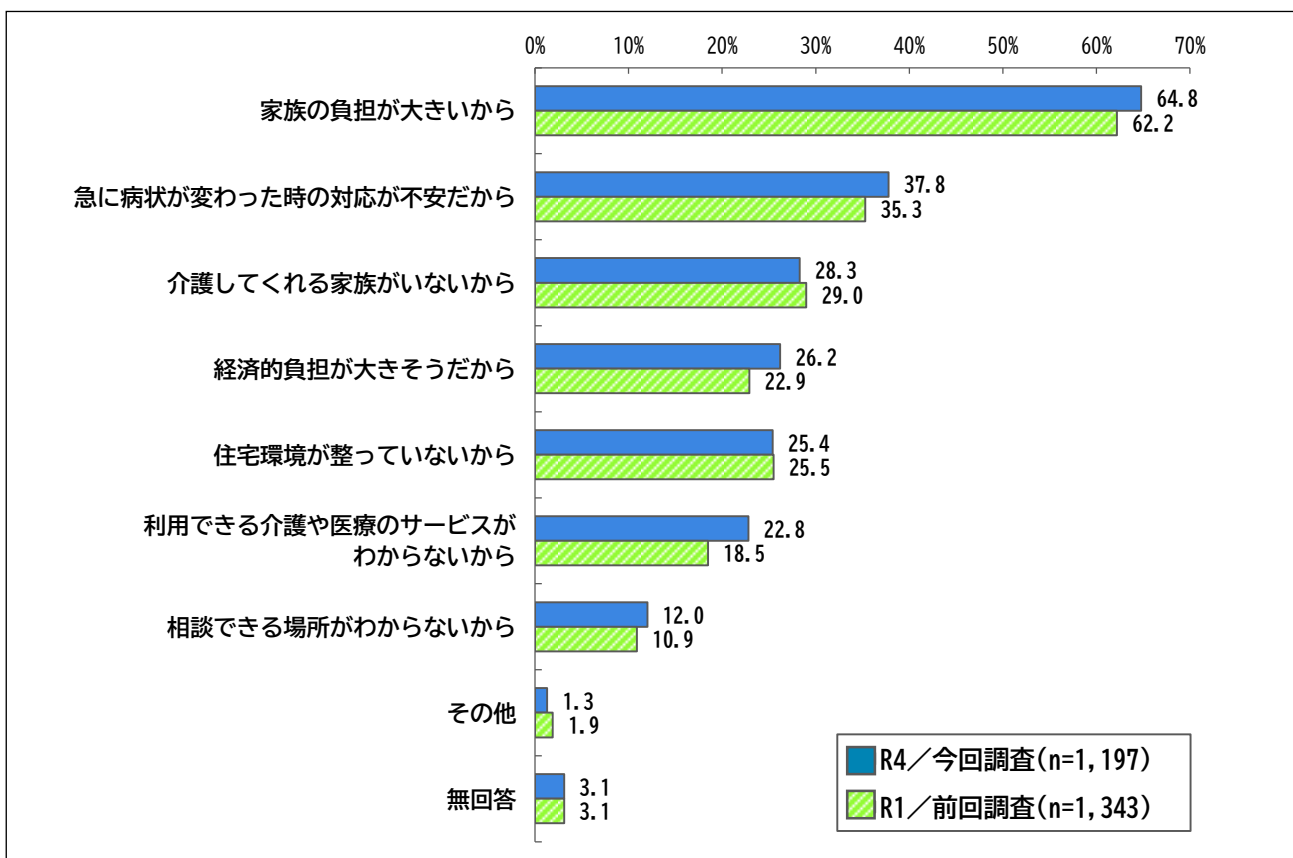


そう思わない理由は何ですか。

【全体の傾向】

「家族の負担が大きいため」が64.8%と最も多く、次いで「急に病状が変わった時の対応が不安だから」(37.8%)、「介護してくれる家族がいないから」(28.3%)となっています。

自宅で最期を迎える体制が整っていない理由（全体、前回比較/複数回答）



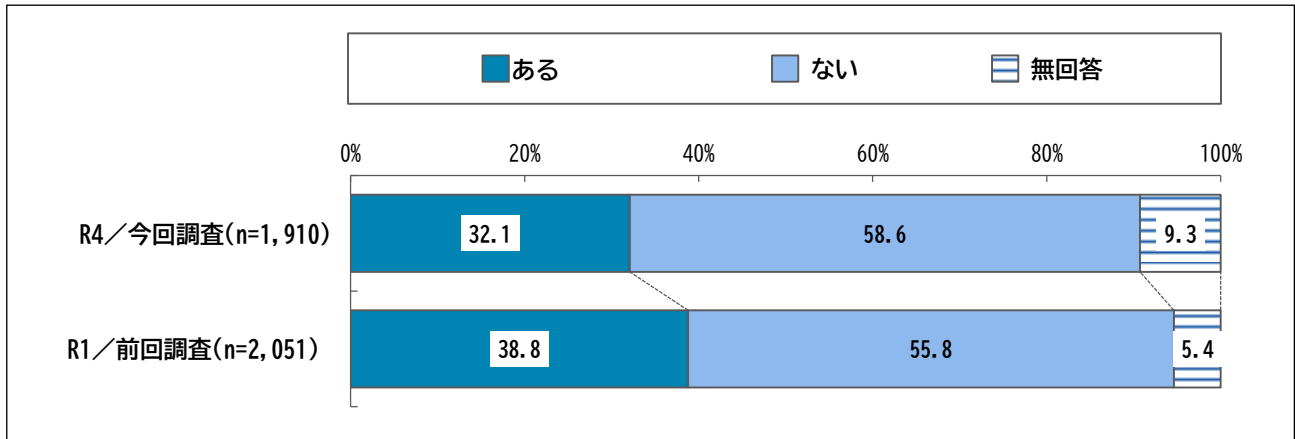


ご自身が終末期になった時にどうしたいかを誰かと話し合ったことはありますか。

【全体の傾向】

終末期に関する話し合いの有無についてみると、「ある」が32.1%、「ない」が58.6%となっています。前回調査と比較すると、「ある」が6.7ポイント減少しています。

終末期に関する話し合いの有無（全体、前回比較）



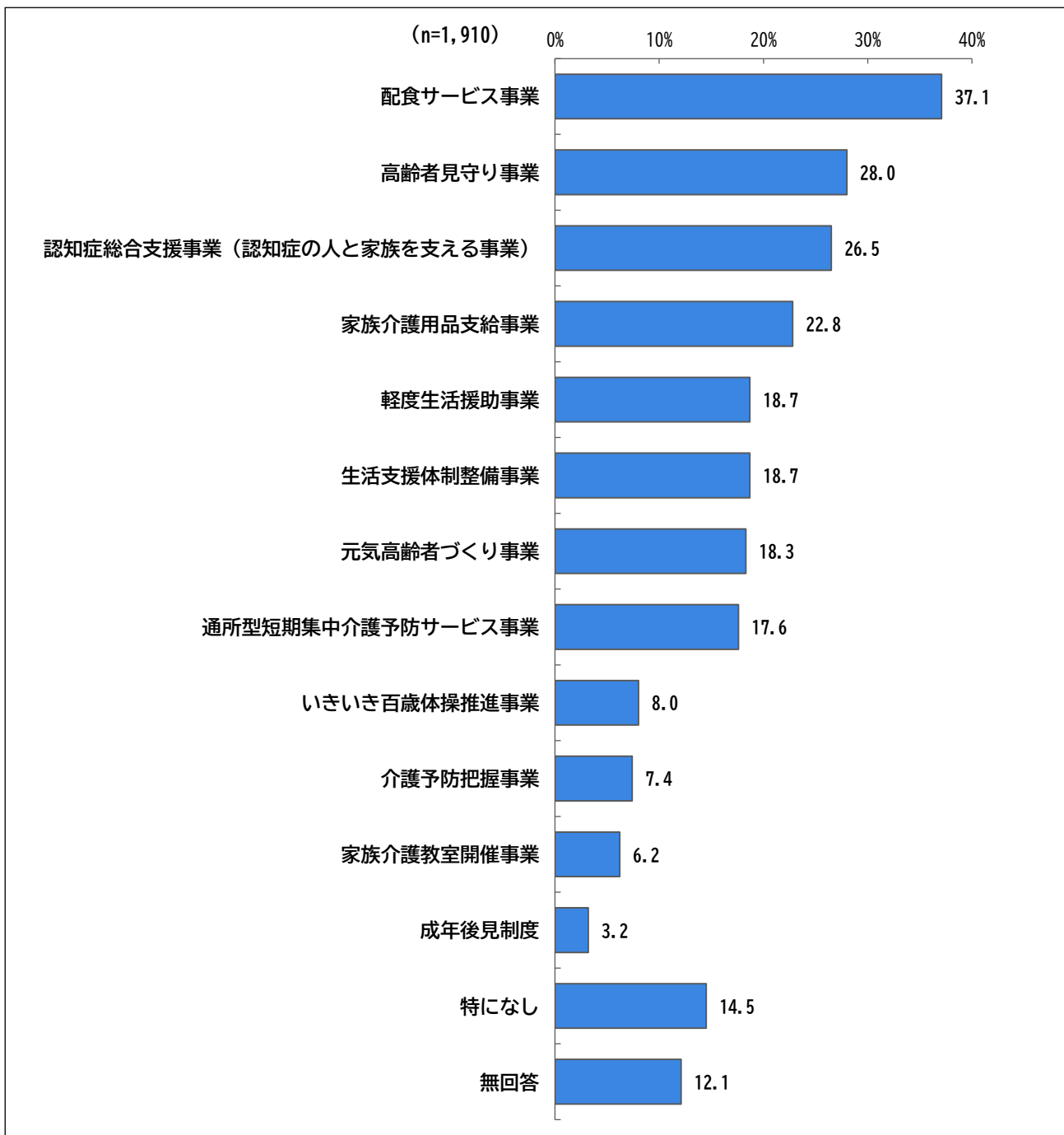
## 10 介護予防事業で特に力を入れてほしい高齢者施策について

地域ケア推進担当の事業で今後、特に力を入れてほしい事業をお答えください。

### 【全体の傾向】

特に力を入れてほしい地域ケア推進事業についてみると、「配食サービス事業」が37.1%と最も多く、次いで「高齢者見守り事業」(28.0%)、「認知症総合支援事業(認知症の人と家族を支える事業)」(26.5%)、「家族介護用品支給事業」(22.8%)、「軽度生活援助事業」、「生活支援体制整備事業」(いずれも18.7%)となっています。

充実を希望する地域ケア推進事業(全体/複数回答)

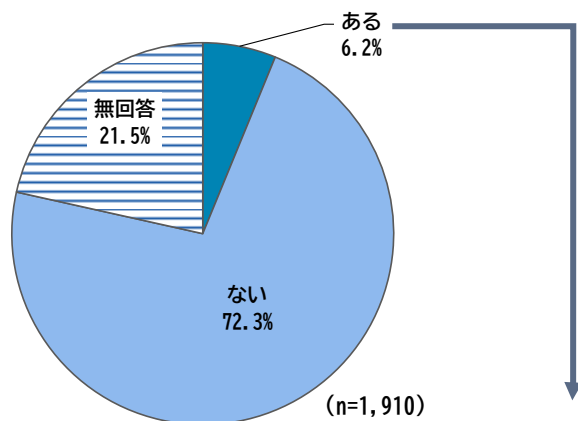


前問の事業以外に、介護予防に関することで力を入れてほしいことはありますか。

【全体の傾向】

力を入れてほしい介護予防事業の有無についてみると、「ある」が6.2%、「ない」が72.3%となっています。また、「ある」と回答した方の具体的な内容としては、「地域コミュニティの活性化」や「情報提供（介護、福祉、支援、制度等）」などが求められています。

力を入れてほしい介護予防事業の有無（全体）



介護予防に関して力を入れてほしいこと（記述）	件数
地域コミュニティの活性化（市民の意識向上、見守り強化、集いの場や機会の提供等）	15
情報提供の充実（介護、福祉、支援、制度等）	15
認知症予防・予防医学・自立推進事業	10
経済的支援（低額での利用希望、生活全般に対する支援等）	9
相談体制・窓口の充実	8
一人暮らし高齢者への支援	7
移動支援（車に乗れなくなった場合の支援、移動手段の充実等）	6
設備面の改善（施設の増設、車いす用道路、公園の健康器具の充実等）	5
人材育成	4
その他（幼少より教育に盛り込むなど）	15

## 11 健康について

### (1) 主観的健康感

現在のあなたの健康状態はいかがですか。

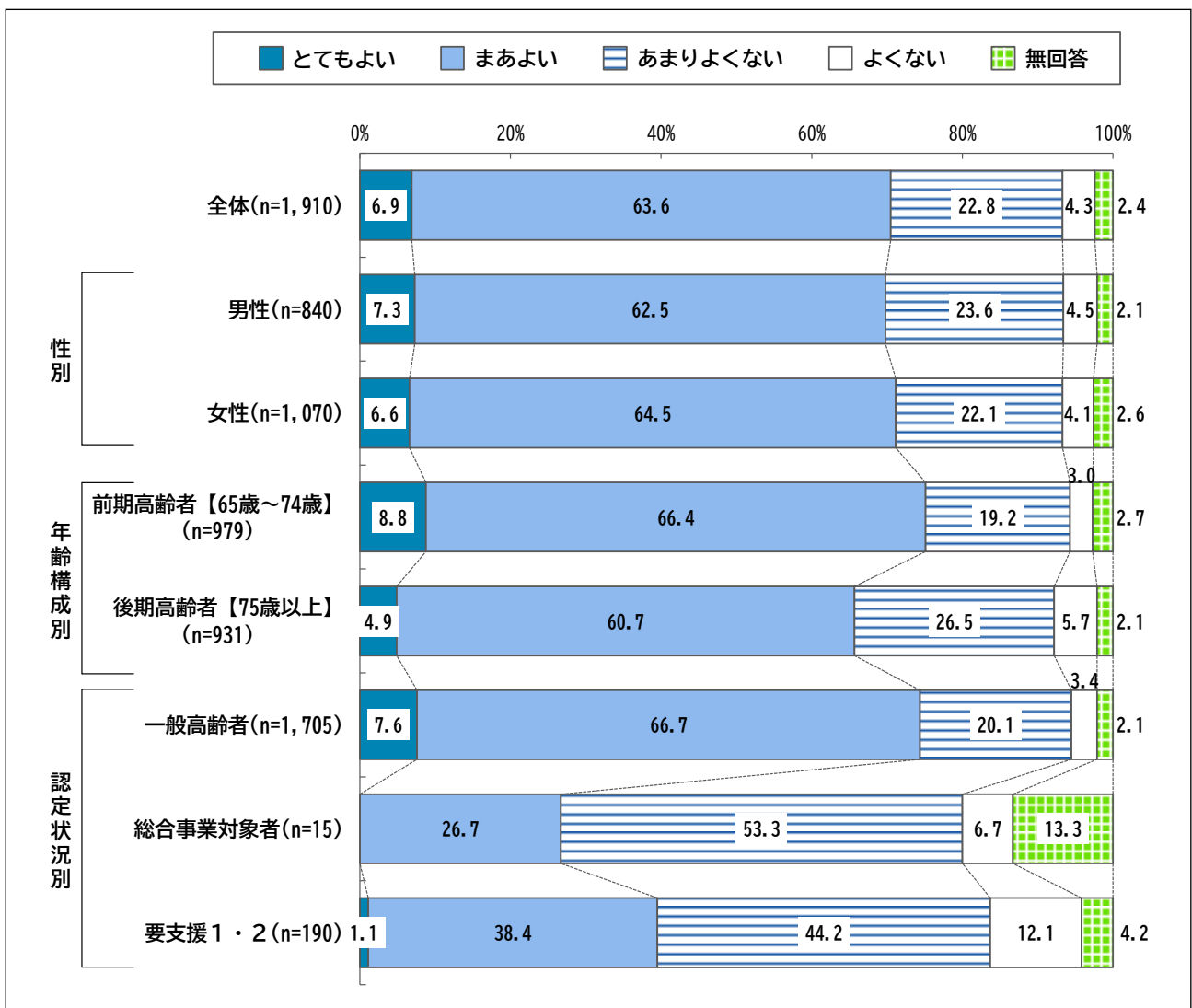
#### 【全体の傾向】

現在の健康状態についてみると、「まあよい」が63.6%で最も高く、「とてもよい」(6.9%)と合計すると、『健康状態はよい』が70.5%となっています。

#### 【属性別の傾向】

性別にみると、『健康状態はよい』は、女性(71.1%)が男性(69.8%)を1.3ポイント上回っています。年齢構成別にみると、『健康状態はよい』は、前期高齢者が後期高齢者を9.6ポイント上回っています。認定状況別にみると、『健康状態はよい』は、一般高齢者(74.3%)と、総合事業対象者(26.7%)および要支援1・2(39.5%)との間に差が見られます。

主観的健康感（全体、性別、年齢構成別、認定状況別）



## (2) 主観的幸福感

あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点)

### 【全体の傾向】

現在どの程度幸せかについて点数で評価したところ、「幸せ(7~9点)」が44.6%と最も高くなっています。また、「とても幸せ」と「幸せ」を合計した『幸せである』と感じている人は54.3%となっています。

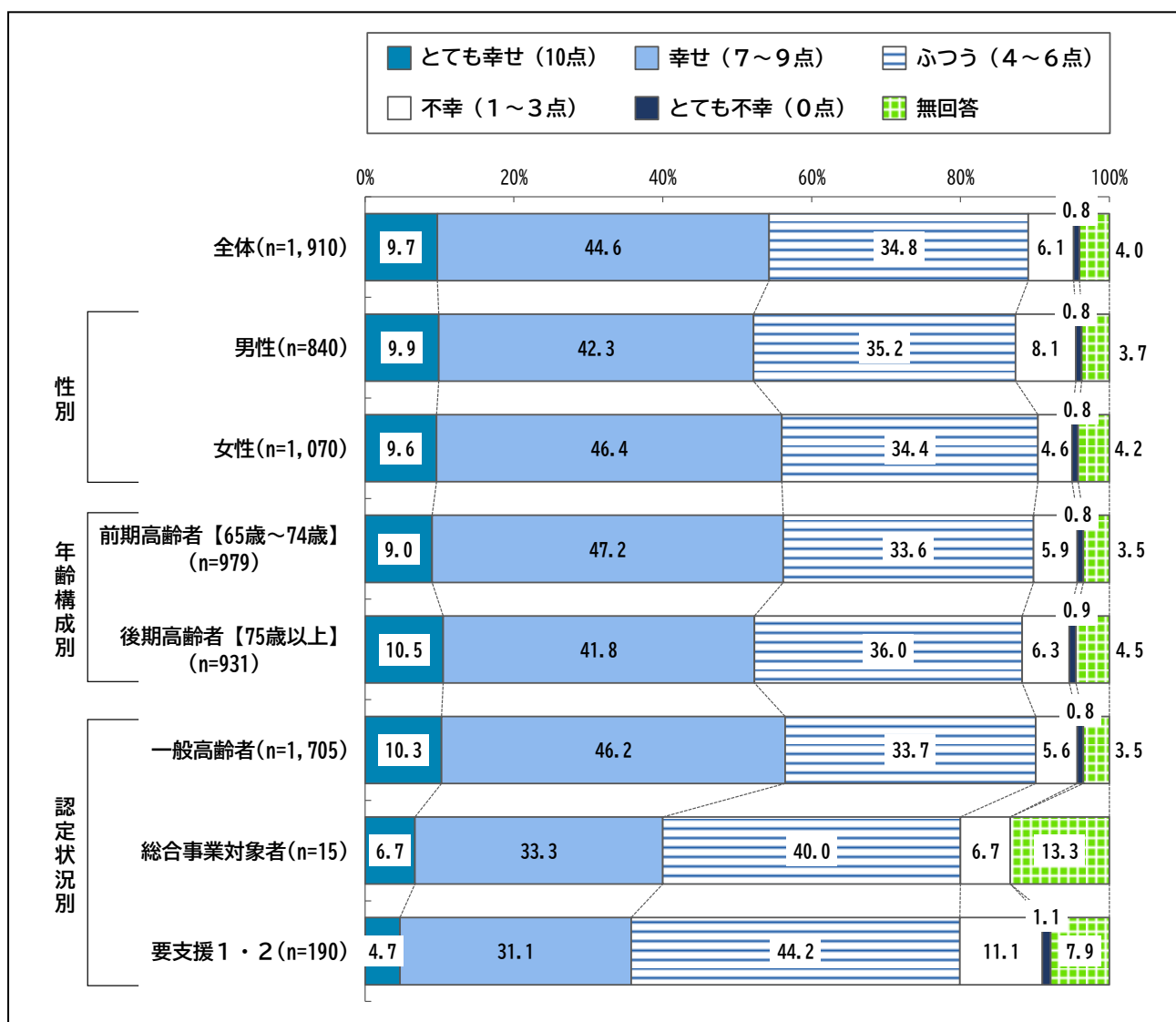
### 【属性別の傾向】

性別にみると、『幸せである』は、女性が男性を3.8ポイント上回っています。

年齢構成別にみると、『幸せである』は、前期高齢者が後期高齢者を3.9ポイント上回っています。

認定状況別にみると、『幸せである』は、一般高齢者、総合事業対象者、要支援1・2で割合に差がみられます。

主観的幸福感(全体、性別、年齢構成別、認定状況別)



## 12 福祉・介護予防などに関係する名称、用語について

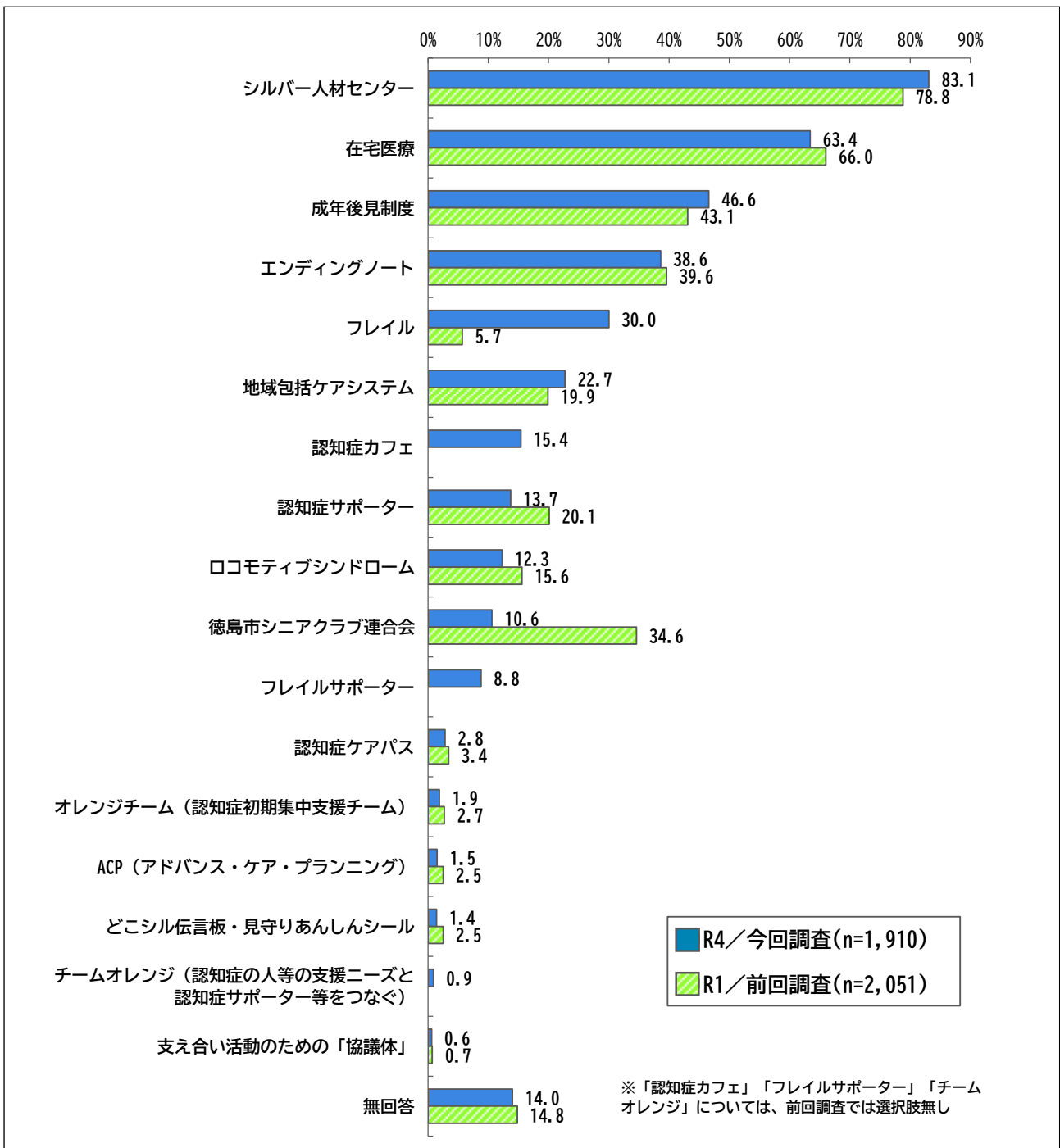
次の名称や用語について、知っているものを教えてください。

### 【全体の傾向】

福祉・介護予防に関する名称・用語の認知度についてみると、「シルバー人材センター」が83.1%と最も多く、次いで「在宅医療」(63.4%)、「成年後見制度」(46.6%)、「エンディングノート」(38.6%)、「フレイル」(30.0%)となっています。

前回調査と比較すると、「フレイル」を知っている人の割合が5倍以上に増加しています。

福祉・介護予防に関する名称・用語の認知度（全体、前回比較／複数回答）



### Ⅲ 調査結果 在宅介護実態調査

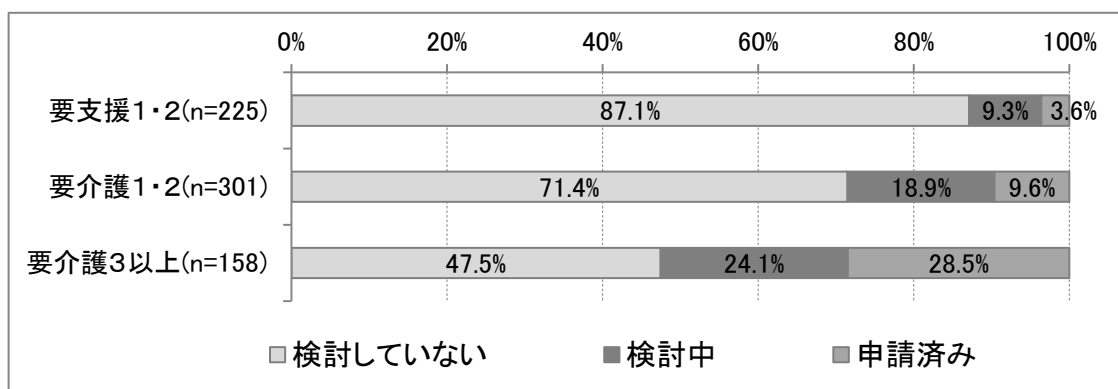
#### 1 要介護者の在宅生活の状況

##### (1) 施設等の検討状況について

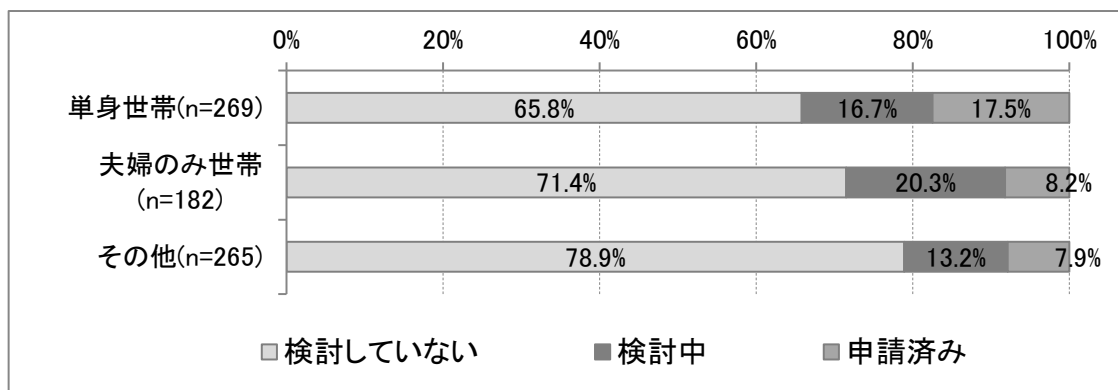
施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が87.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が9.3%、「申請済み」が3.6%となっています。「要介護1・2」では「検討していない」が71.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が18.9%、「申請済み」が9.6%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が47.5%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が28.5%、「検討中」が24.1%となっています。

世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が65.8%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が17.5%、「検討中」が16.7%となっています。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が71.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が20.3%、「申請済み」が8.2%となっています。「その他」では「検討していない」が78.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が13.2%、「申請済み」が7.9%となっています。

要介護度別施設等検討の状況



世帯類型別施設等検討の状況

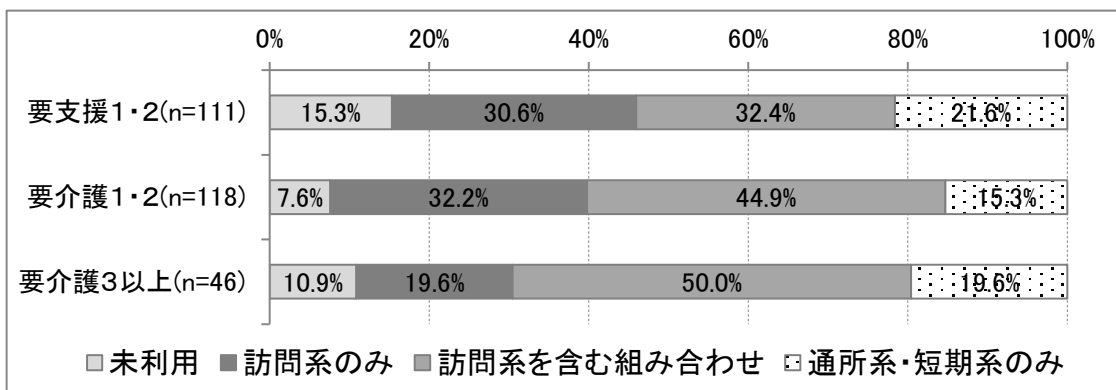


## (2) 介護度別サービス利用の組み合わせ

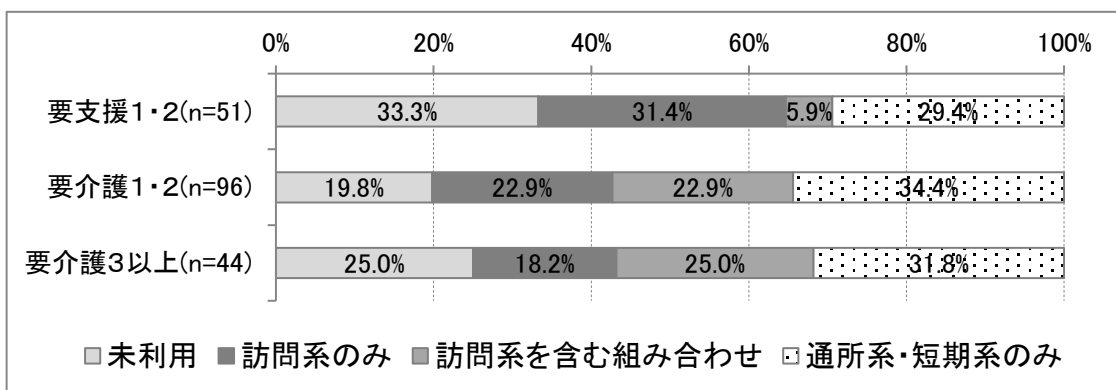
サービス利用の組み合わせを二次判定結果別、世帯類型別にみると、単身世帯では要介護度に関わらず「訪問系を含む組み合わせ」がもっとも高くなっています。

夫婦のみ世帯、その他世帯では、介護度が上がるにつれて「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっています。

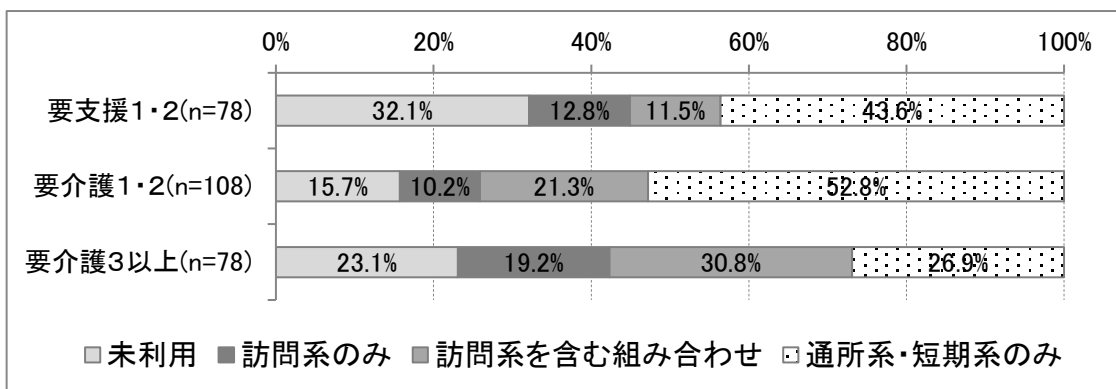
要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



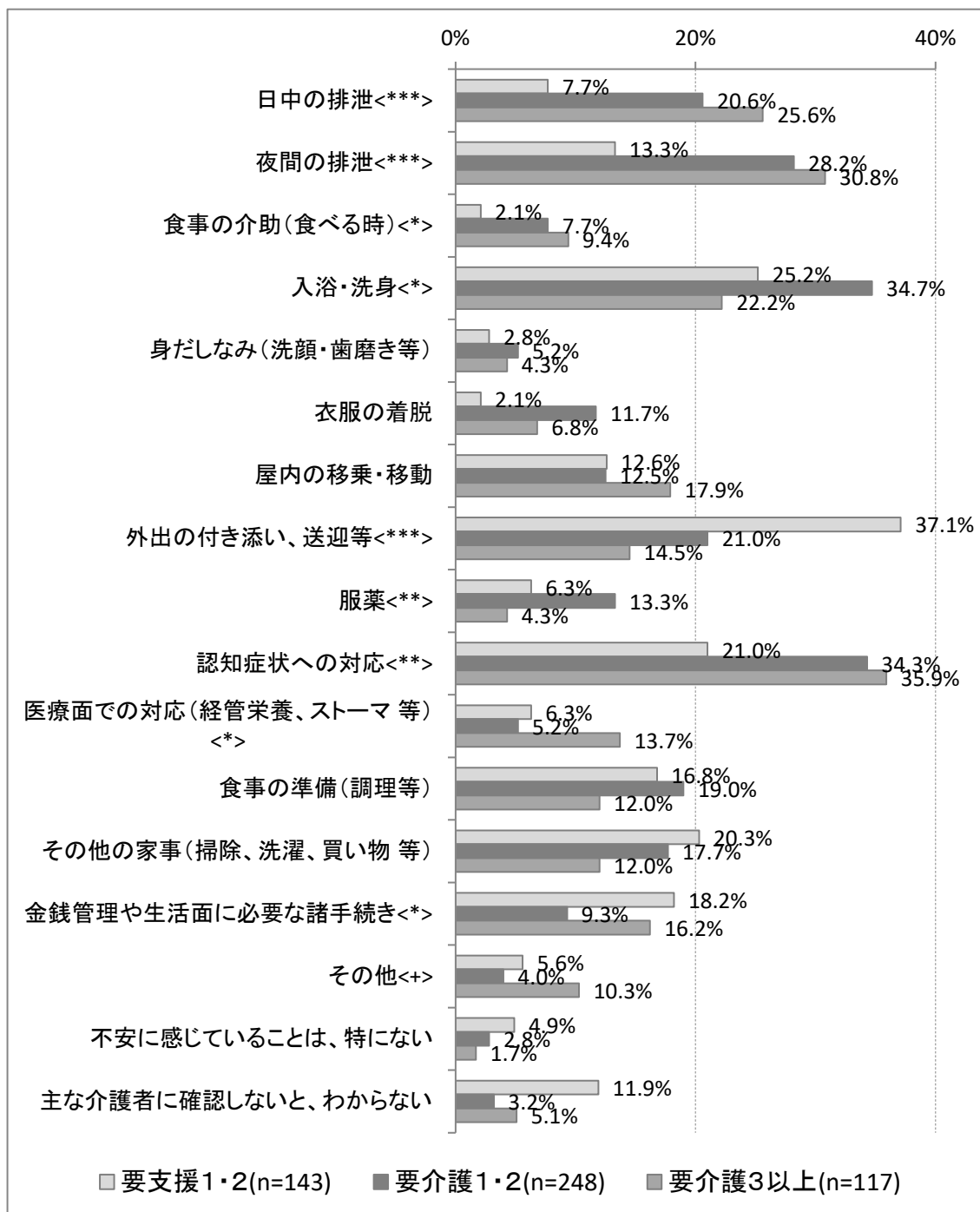


## 2 介護者の状況について

### (1) 主な介護者が不安に感じる介護

介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が37.1%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が25.2%、「認知症状への対応」が21.0%となっています。「要介護1・2」では「入浴・洗身」が34.7%ともっとも割合が高く、次いで「認知症状への対応」が34.3%、「夜間の排泄」が28.2%となっています。「要介護3以上」では「認知症状への対応」が35.9%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が30.8%、「日中の排泄」が25.6%となっています。

要介護度別・介護者が不安に感じる介護

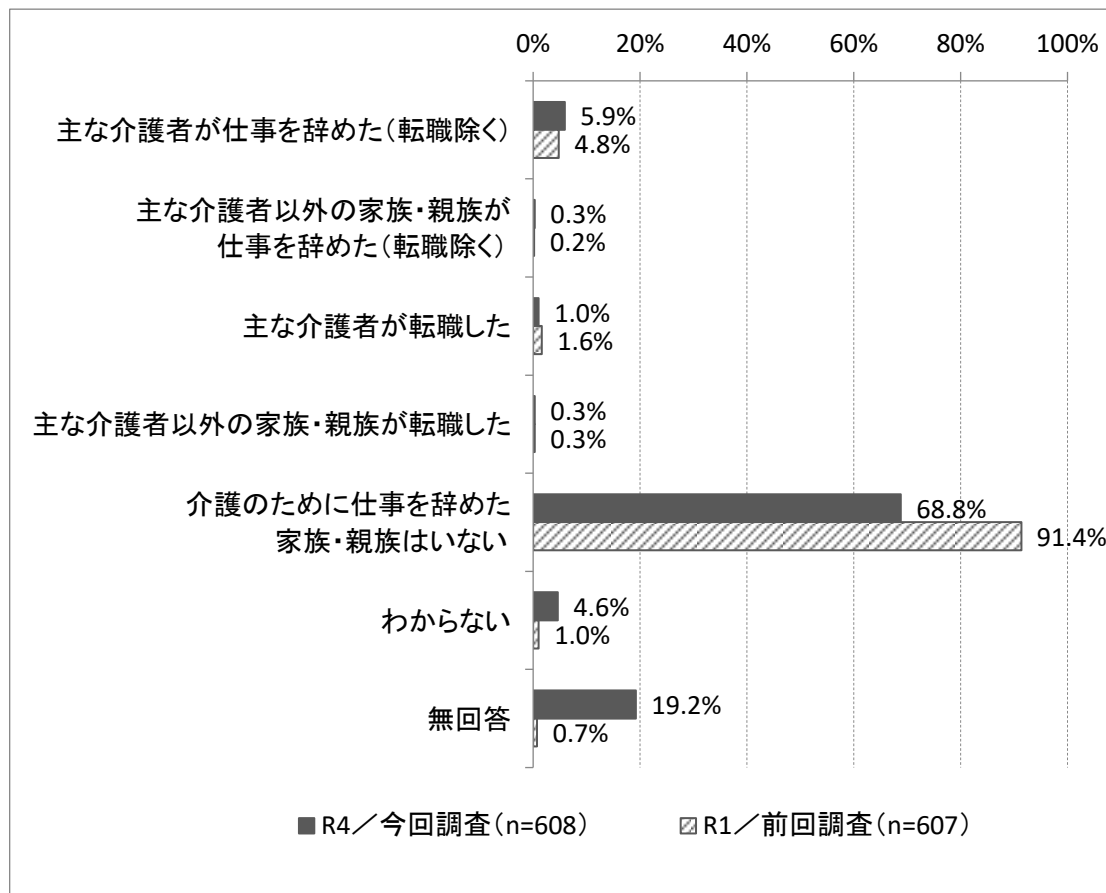


## (2) 介護のための離職の有無

介護のための離職の有無をみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く68.8%となっています。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（5.9%）」、「わからない（4.6%）」となっています。

前回調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合は22.6ポイント減少しています。

介護のための離職の有無（複数回答）



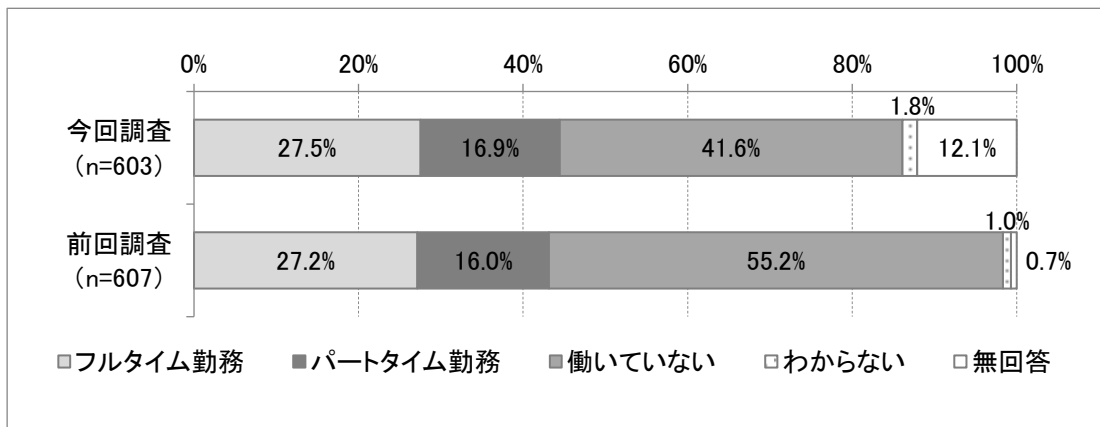
### (3) 介護者就労状況と就労継続意識

主な介護者の勤務形態をみると、「働いていない」の割合がもっとも高く41.6%となっています。次いで、「フルタイム勤務 (27.5%)」、「パートタイム勤務 (16.9%)」となっています。前回調査と比較すると、「働いていない」の割合が減少しています。

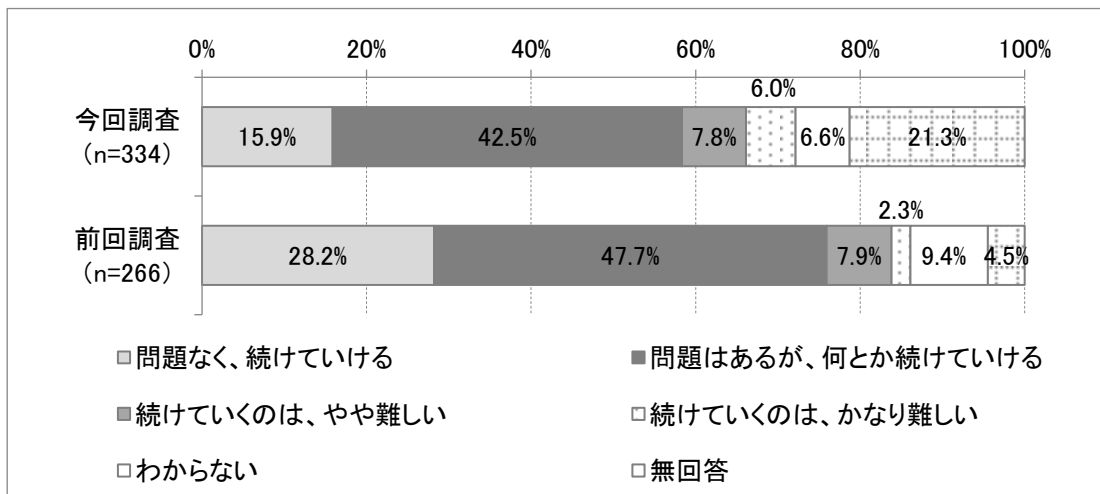
就労継続の可否に係る意識をみると、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合がもっとも高く42.5%となっており、次いで、「問題なく、続けていける (15.9%)」、となっています。

前回調査と比較すると、「問題なく、続けていける」、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が減少し、「続けていくのは、かなり難しい」の割合が増加しています。

主な介護者の勤務形態 (単数回答)



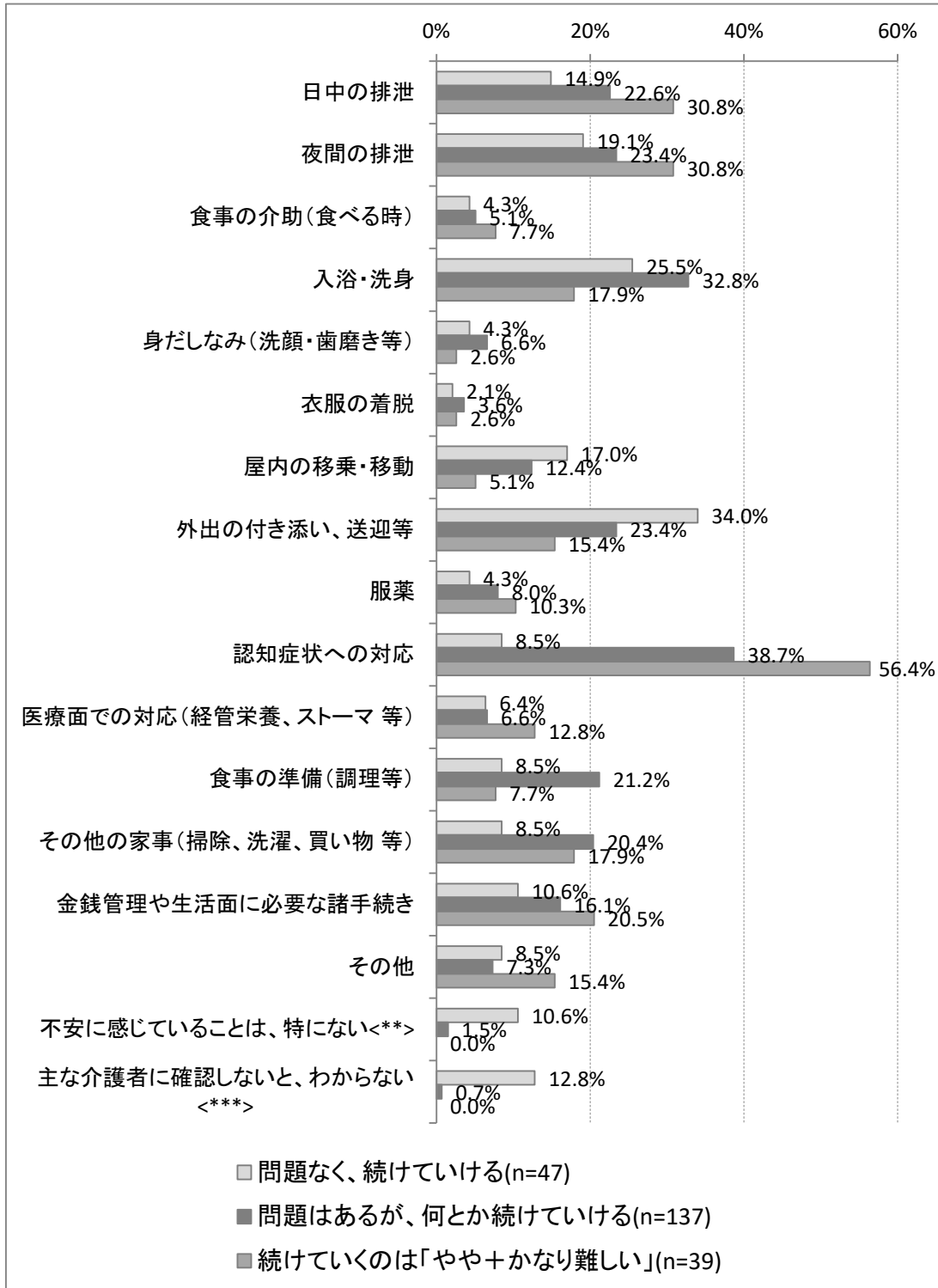
主な介護者の就労継続の可否に係る意識 (単数回答)



#### (4) 就労している介護者が不安を感じる介護

介護者が不安を感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「外出の付き添い、送迎等」が34.0%ともっとも割合が高く、「問題はあるが、何とか続けていける」では「認知症状への対応」が38.7%ともっとも割合が高く、「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「認知症状への対応」が56.4%ともっとも割合が高くなっています。

就労継続見込み別・介護者が不安を感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

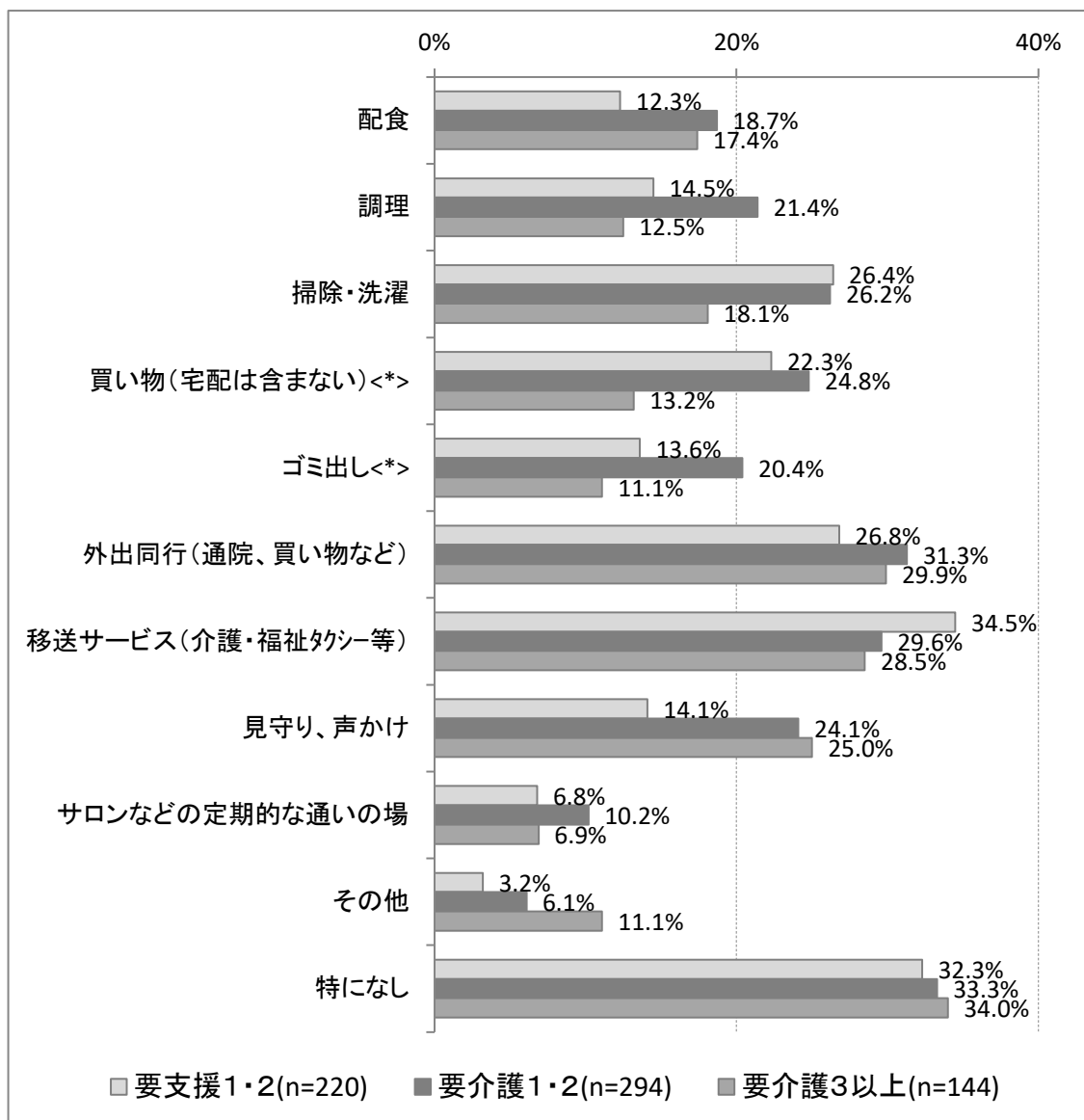


### 3 地域支援の整備

#### (1) 在宅生活の継続に必要だと感じる支援・サービス

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.5%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が32.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が26.8%となっています。「要介護1・2」では「特になし」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が31.3%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.6%となっています。「要介護3以上」では「特になし」が34.0%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が29.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.5%となっています。

要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



## Ⅳ 調査結果 介護サービス事業所実態調査

### 1 回収状況

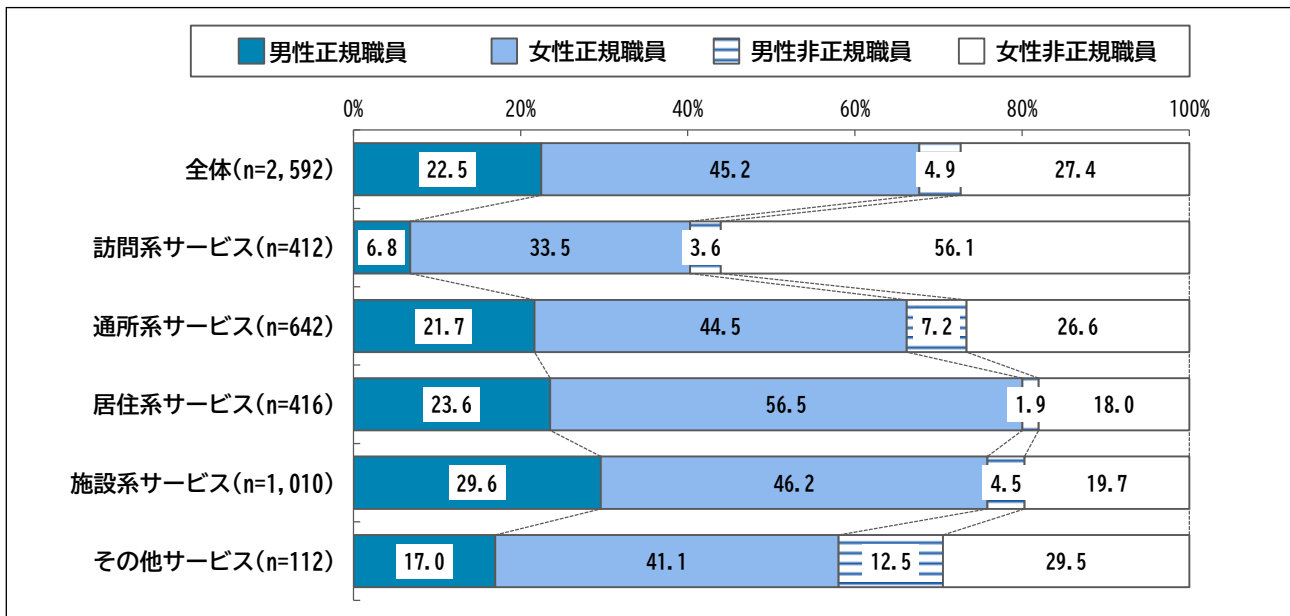
事業所のサービス種別	配布数 (件)	回収数 (件)	回収率 (%)
訪問介護	149	93	62.4
訪問入浴介護	4	2	50.0
訪問看護	67	45	67.2
訪問リハビリテーション	44	31	70.5
通所介護	76	51	67.1
通所リハビリテーション	46	35	76.1
短期入所生活介護	31	18	58.1
短期入所療養介護	4	2	50.0
地域密着型通所介護	31	18	58.1
認知症対応型通所介護	9	6	66.7
小規模多機能型居宅介護	11	9	81.8
看護小規模多機能型居宅介護	2	2	100.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0	0.0
特定施設入居者生活介護	3	0	0.0
認知症対応型共同生活介護	45	31	68.9
介護老人福祉施設	13	10	76.9
介護老人保健施設	15	12	80.0
介護医療院	8	5	62.5
介護療養型医療施設	4	1	25.0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	8	6	75.0
合計	572	377	65.9

### 2 従業員の状況について

#### (1) 介護職員の就業形態

訪問系サービスでは半数以上を「女性非正規職員」が占めているのに対し、居住系、施設系では2割未満となっています。また、施設系サービスでは「男性正規職員」が29.6%と他のサービス類型に比べて高くなっています。

介護職員の就業形態（全体、サービス類型別）

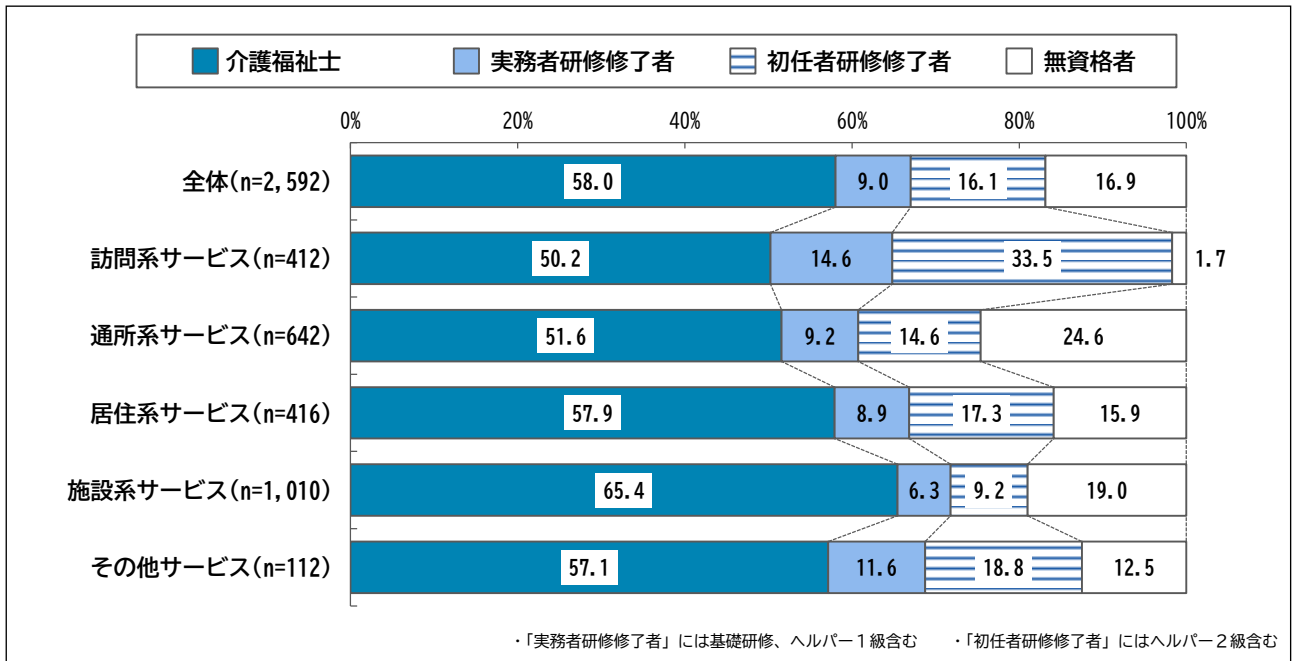


## (2) 介護職員の資格保有状況

介護職員の資格保有状況を見ると、「介護福祉士」が58.0%で最も高く、次いで「無資格者」(16.9%)、「初任者研修修了者」(16.1%)となっています。

サービス類型別にみると、「介護福祉士」は施設系サービスで最も高く、65.4%となっています。

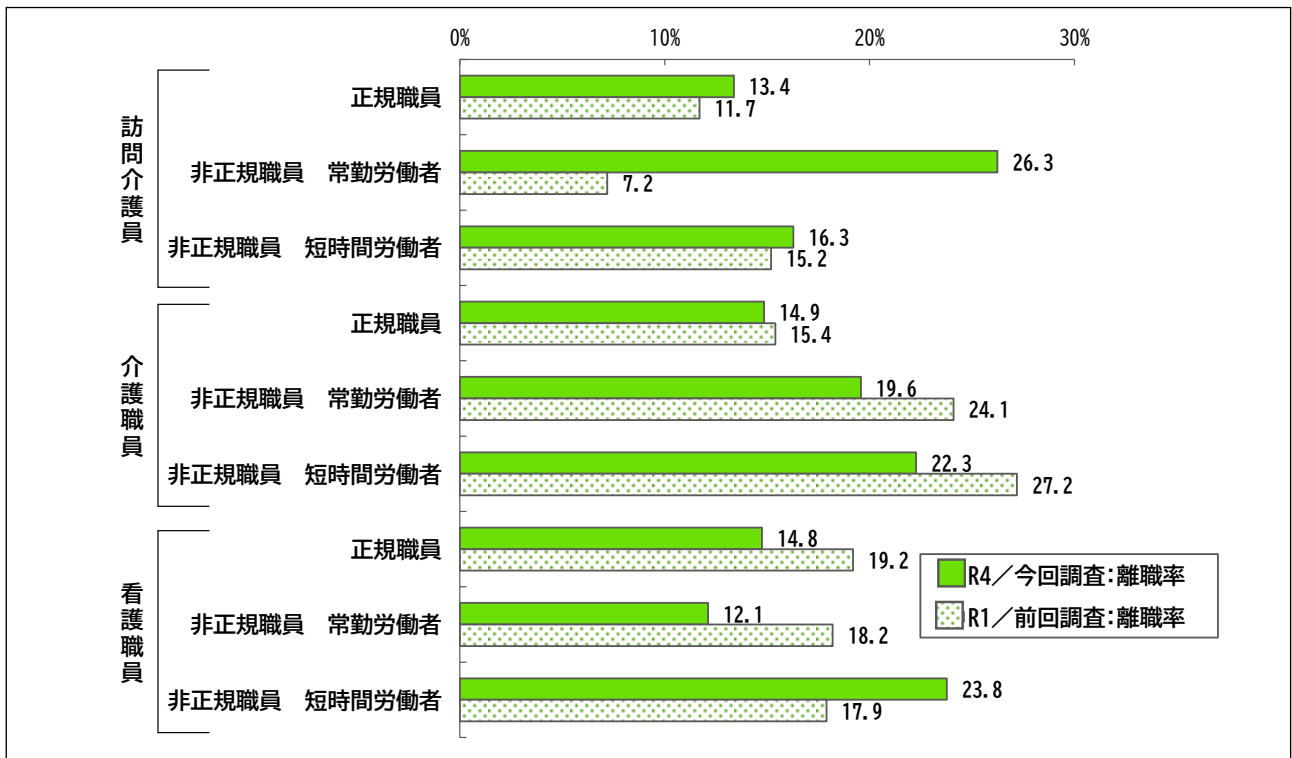
介護職員の資格保有状況（全体、サービス類型別）



## (3) 離職率

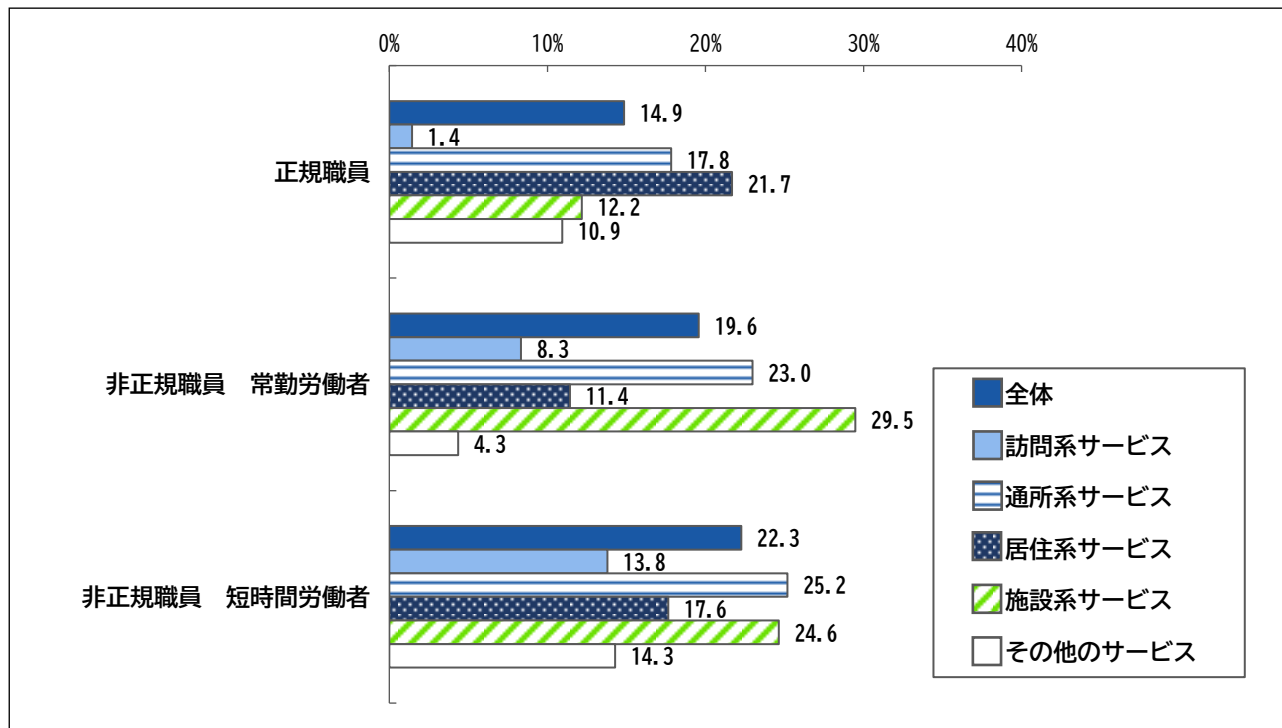
前回調査と比較すると、離職率でも、訪問介護員の非正規職員—常勤労働者の増加が目立っています。

訪問介護員・介護職員・看護職員の離職率（全体、前回比較）



介護職員の離職率をサービス類型別にみると、正規職員では居住系サービスの離職率が21.7%で最も高くなっています。非正規職員の常勤労働者では施設系サービスの離職率が29.5%で最も高くなっています。非正規職員の短時間労働者では通所系サービスの離職率が25.2%で最も高くなっています。

図表 1 介護職員の離職率（全体、サービス類型別）



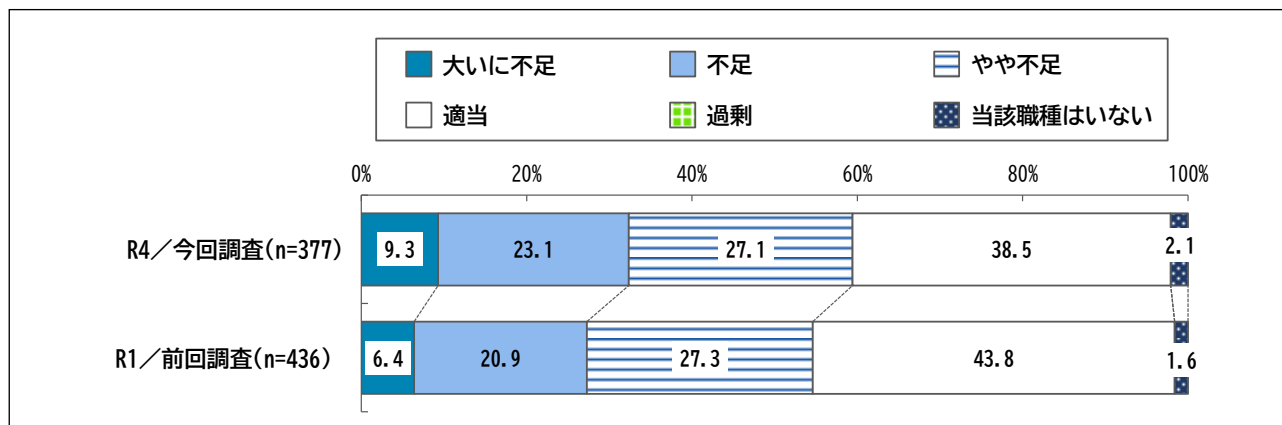
### 3 従業員過不足の状況

#### (1) 従業員の過不足の状況（全体で見た場合）

##### 【全体の傾向】

従業員全体の過不足の状況を見ると、「大いに不足」、「不足」、「やや不足」を合わせた『不足』の割合は59.5%となっており、前回調査と比較すると、『不足』が前回の54.6%から4.9ポイント増加しています。

図表 2 従業員全体の過不足の状況（全体、前回比較）





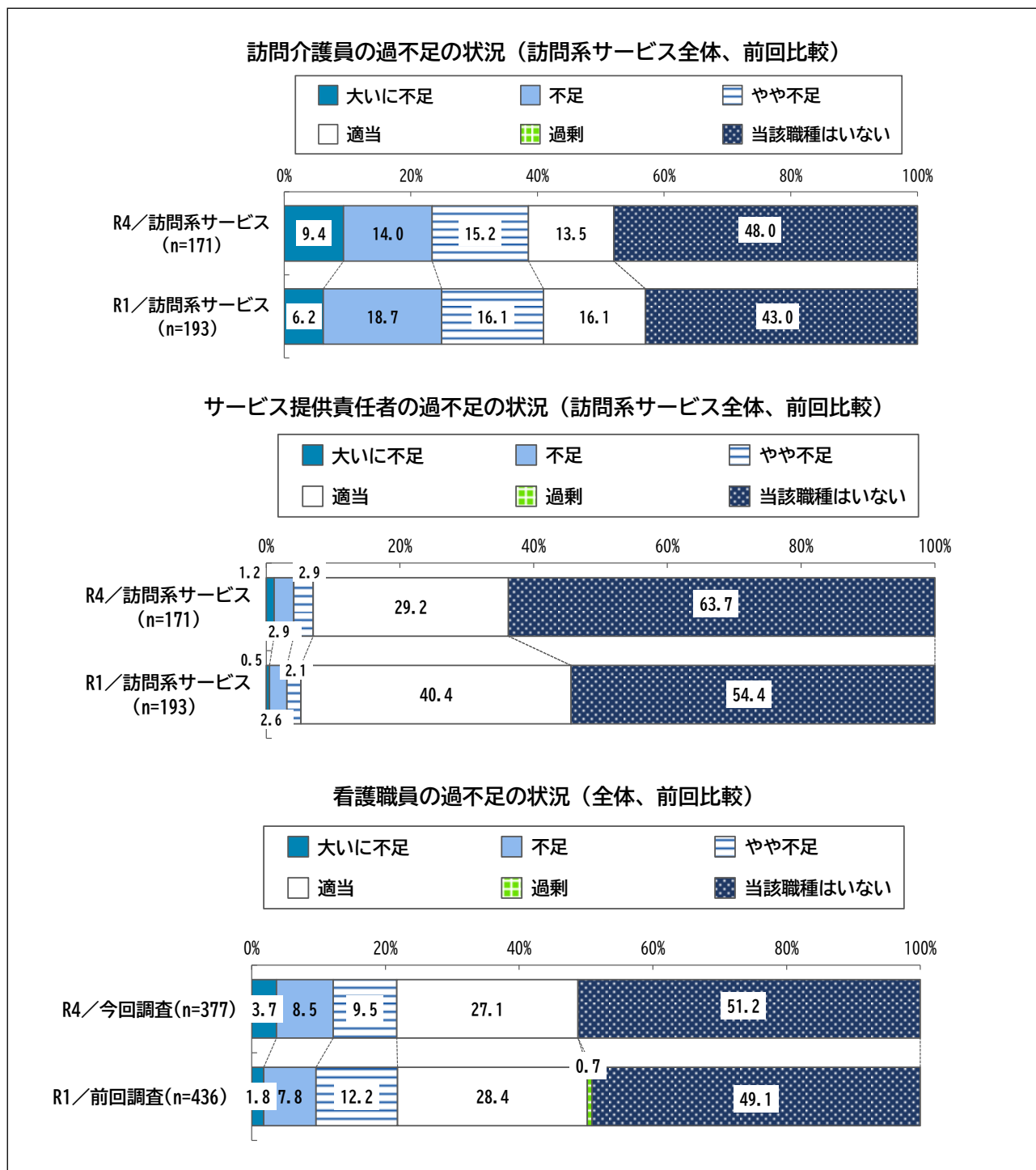
## (2) 従業員の過不足の状況（職種別）

訪問系サービスにおける、訪問介護員の過不足の状況をみると、『不足』は38.6%となっており、前回調査と比較すると、『不足』は2.4ポイント減少しています。

訪問系サービスにおける、サービス提供責任者の過不足の状況をみると、「適当」が29.2%となっており、前回調査と比較すると、「適当」が11.2ポイント減少しています。

看護職員の過不足の状況をみると『不足』の割合は21.7%となっています。

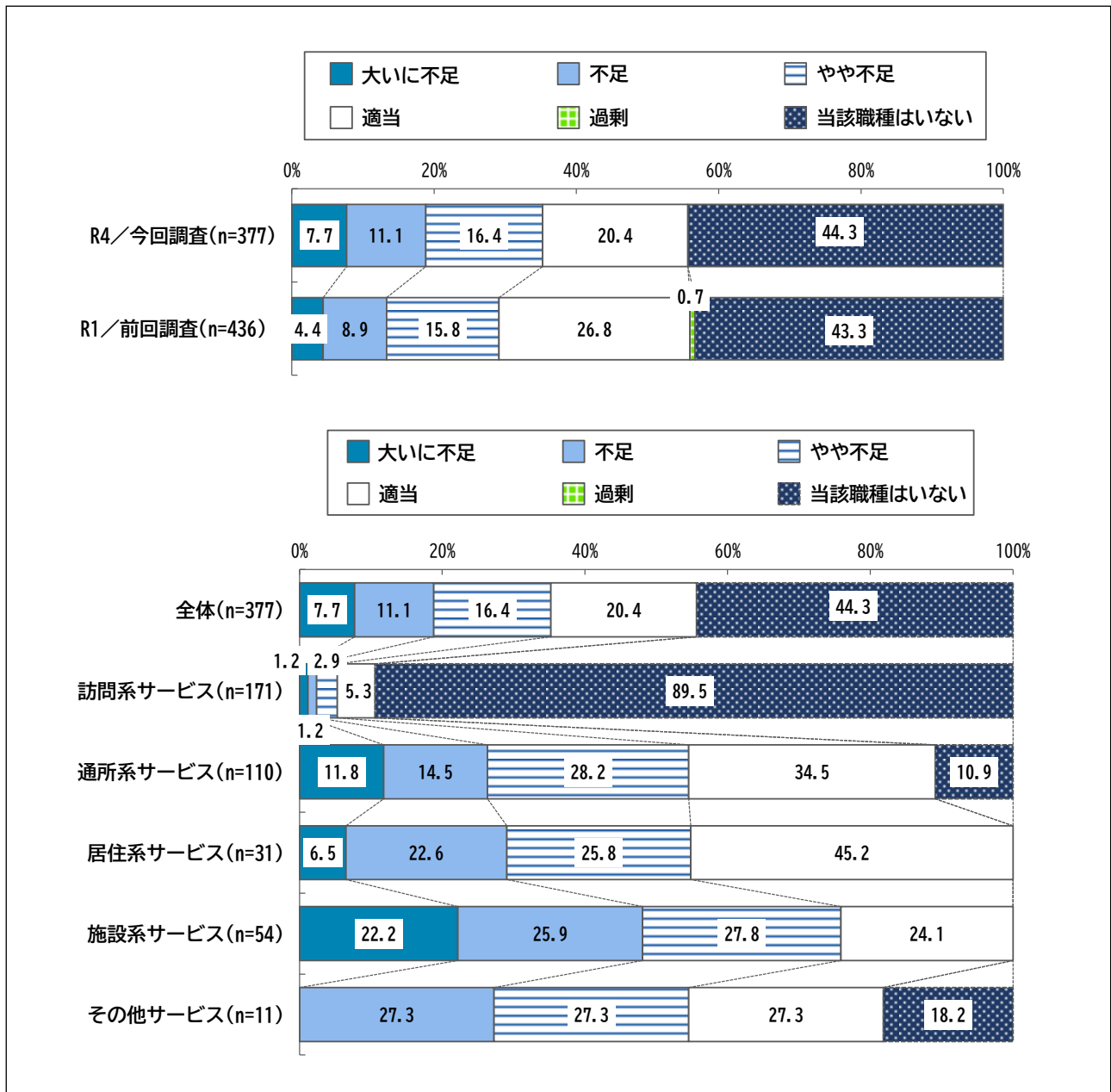
図表 3 従業員の職種別過不足の状況（訪問介護員、サービス提供責任者、看護職員）



介護職員の過不足の状況を見ると、『不足』の割合は35.2%となっており、前回調査と比較すると、『不足』が6.1ポイント増加しています。

サービス類型別にみると、『不足』の割合は訪問系サービス以外では5割を超えており、特に施設系サービスで75.9%と高くなっています。

図表 4 介護職員の過不足の状況（全体、前回比較、サービス類型別）

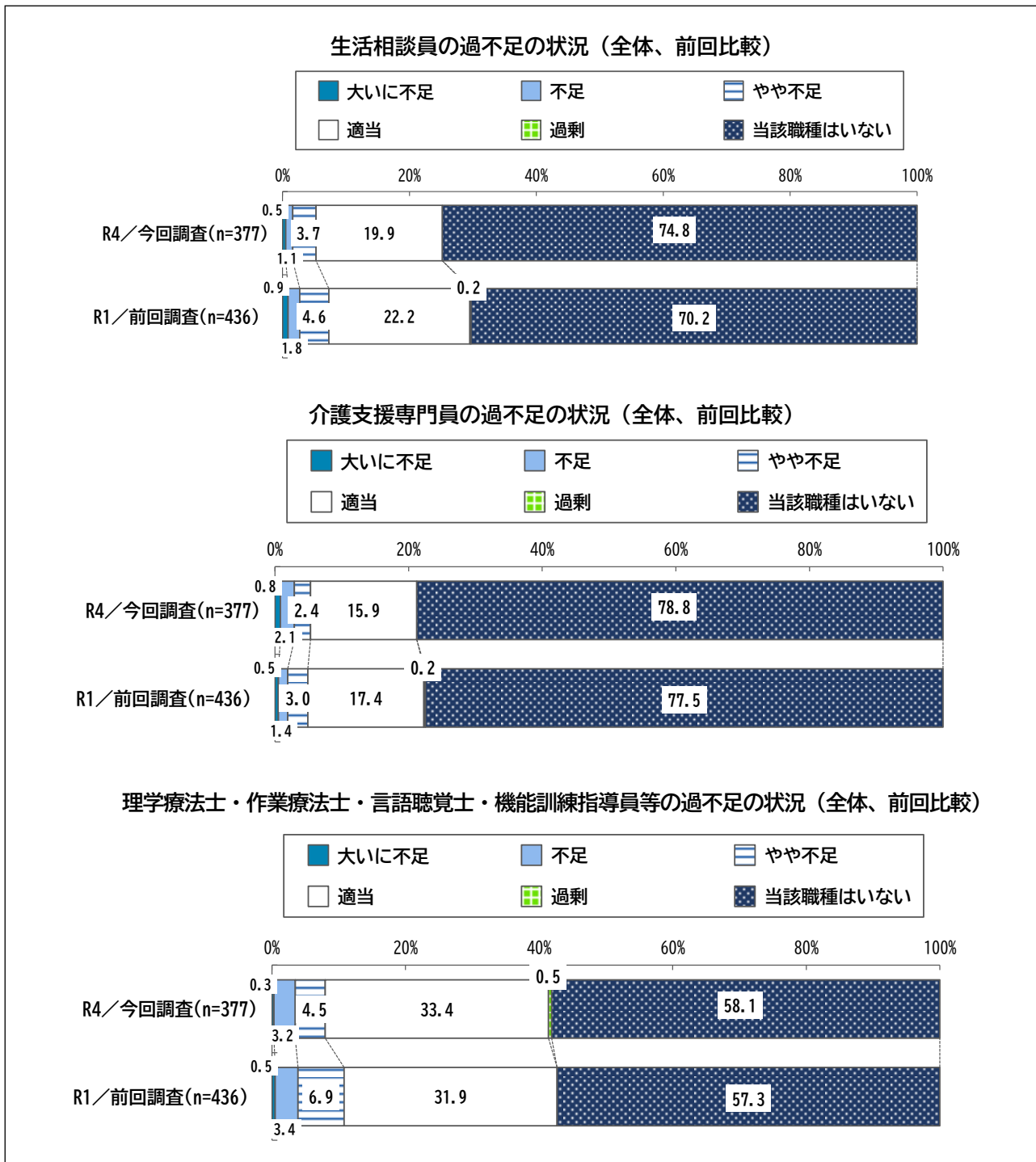


生活相談員の過不足の状況をみると、『不足』の割合は5.3%となっており、前回調査と比較すると、2.0ポイント減少しています。

介護支援専門員の過不足の状況をみると、『不足』の割合は5.3%となっており、前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。

理学療法士等の過不足の状況をみると、『不足』の割合は8.0%となっており、前回調査と比較すると、2.8ポイント減少しています。

図表 5 従業員の職種別過不足の状況  
(生活相談員、介護支援専門員、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・機能訓練指導員等)

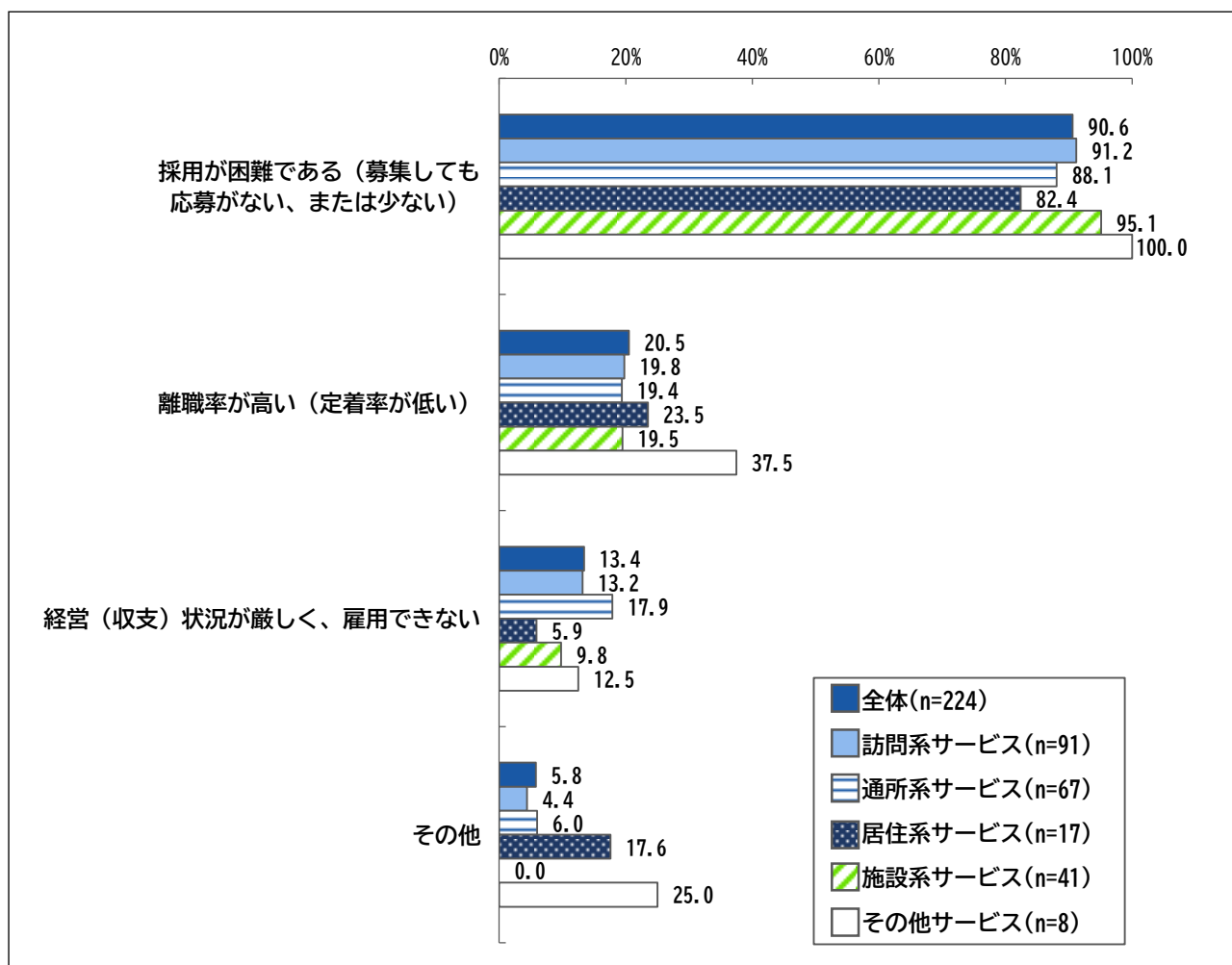


### (3) 従業員が不足している理由

従業員が不足している理由についてみると、「採用が困難である(募集しても応募がない、または少ない)」が90.6%で最も多く、次いで「離職率が高い(定着率が低い)」(20.5%)、「経営(収支)状況が厳しく、雇用できない」(13.4%)となっています。

サービス類型別にみると、いずれのサービスでも「採用が困難である(募集しても応募がない、または少ない)」が最も多く、その割合は突出しています。

図表 6 従業員が不足している理由(全体、サービス類型別/複数回答)



#### (4) 従業員の採用が困難である原因

採用が困難である原因についてみると、「介護を志す若者が減少している」が62.1%で最も多く、次いで「賃金が低い」(47.8%)、「介護業界のマイナスイメージがある」(47.3%)となっています。

サービス類型別にみると、訪問系サービスは全体とほぼ同様の傾向となっています。一方、通所系サービスでは「地域内に介護施設や事業所が増加している」、居住系、施設系サービスでは「仕事がきつい(肉体的、精神的)」がそれぞれ上位に挙がっています。

図表 7 従業員の採用が困難である原因(全体、サービス類型別/複数回答)

<上位3位/単位%>

		第1位	第2位	第3位
全体(n=203)		介護を志す若者が減少している	賃金が低い	介護業界のマイナスイメージがある
		62.1	47.8	47.3
サービス類型別	訪問系サービス(n=83)	介護を志す若者が減少している	賃金が低い/介護業界のマイナスイメージがある	
		53.0	47.0	
	通所系サービス(n=59)	介護を志す若者が減少している	賃金が低い	介護業界のマイナスイメージがある/地域内に介護施設や事業所が増加している
		66.1	49.2	33.9
	居住系サービス(n=14)	賃金が低い/介護を志す若者が減少している		仕事がきつい(肉体的、精神的)
			57.1	50.0
施設系サービス(n=39)	介護を志す若者が減少している	介護業界のマイナスイメージがある	仕事がきつい(肉体的、精神的)	
	82.1	71.8	48.7	
その他サービス(n=8)	介護業界のマイナスイメージがある	賃金が低い	介護を志す若者が減少している	
	62.5	50.0	37.5	

(5) 従業員が充足しない場合や新規人材の確保のための方策

従業員不足の場合や新規人材の確保のための方策についてみると、「ハローワークとの連携を図っている」が68.4%で最も多く、次いで「採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている」(52.5%)、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」(46.4%)となっています。

サービス類型別にみると、訪問系サービスでは「採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている」、通所系、居住系、施設系サービスでは「無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている」がそれぞれ上位に挙がっています。

また、その他サービスでは「法人内の他の事業所から配置転換している」が第1位となっています。

図表 8 従業員が充足しない場合や新規人材の確保のための方策

(全体、サービス類型別/複数回答)

<上位5位/単位%>

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体(n=377)		ハローワークとの連携を図っている	採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている	育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	法人内の他の事業所から配置転換している	人材派遣会社との連携を図っている
		68.4	52.5	46.4	39.0	32.6
サービス類型別	訪問系サービス(n=171)	ハローワークとの連携を図っている	採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている	育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	法人内の他の事業所から配置転換している	採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている
		57.3	50.9	32.7	28.7	26.9
	通所系サービス(n=110)	ハローワークとの連携を図っている	育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている	法人内の他の事業所から配置転換している/無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている	
		71.8	52.7	46.4		40.9
	居住系サービス(n=31)	ハローワークとの連携を図っている	採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている/育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている		法人内の他の事業所から配置転換している	無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている
		74.2		58.1	38.7	35.5
施設系サービス(n=54)	ハローワークとの連携を図っている	育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている	無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている	法人内の他の事業所から配置転換している	
	94.4	75.9	68.5	61.1	59.3	
その他サービス(n=11)	法人内の他の事業所から配置転換している	定期的に求人誌への掲載などを行っている/ハローワークとの連携を図っている/無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている			人材派遣会社との連携を図っている	
	81.8			63.6	54.5	

# V 調査結果 居所変更実態調査

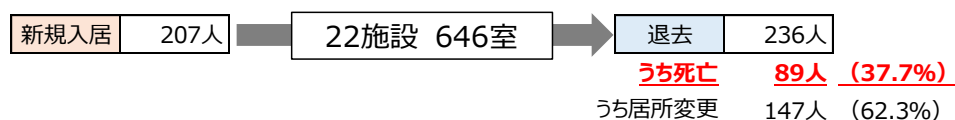
## 1 回収状況

事業所種別	配布数	有効回収数	有効回収率
住宅型有料老人ホーム	31件	22件	71.0%
軽費老人ホーム	11件	9件	81.8%
サービス付き高齢者向け住宅	35件	23件	65.7%
グループホーム（認知症対応型共同生活介護）	45件	33件	73.3%
特定施設入居者生活介護	3件	1件	33.3%
介護老人保健施設	15件	11件	73.3%
介護療養型医療施設	2件	1件	50.0%
介護医療院	8件	5件	62.5%
介護老人福祉施設	11件	10件	90.9%
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	8件	6件	75.0%
合計	169件	121件	71.6%

## 2 過去1年間の居所変更の状況

(1) 過去1年間の施設等の入居・入所及び退去・退所の流れ

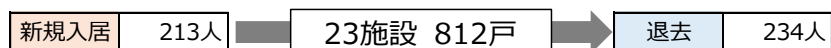
【住宅型有料老人ホーム】



入居前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	56人 27.1%	7人 3.4%	63人 30.4%
住宅型有料	6人 2.9%	5人 2.4%	11人 5.3%
軽費	2人 1.0%	1人 0.5%	3人 1.4%
サ高住	1人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.5%
GH	2人 1.0%	1人 0.5%	3人 1.4%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	30人 14.5%	4人 1.9%	34人 16.4%
介護療養型 医療施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	1人 0.5%	2人 1.0%	3人 1.4%
その他の 医療機関	73人 35.3%	14人 6.8%	87人 42.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	2人 1.0%	0人 0.0%	2人 1.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	173人 83.6%	34人 16.4%	207人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	8人 5.4%	2人 1.4%	10人 6.8%
住宅型有料	8人 5.4%	2人 1.4%	10人 6.8%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	5人 3.4%	1人 0.7%	6人 4.1%
GH	7人 4.8%	0人 0.0%	7人 4.8%
特定	2人 1.4%	0人 0.0%	2人 1.4%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	24人 16.3%	4人 2.7%	28人 19.0%
介護療養型 医療施設	1人 0.7%	0人 0.0%	1人 0.7%
介護医療院	1人 0.7%	0人 0.0%	1人 0.7%
その他の 医療機関	42人 28.6%	2人 1.4%	44人 29.9%
特養	2人 1.4%	2人 1.4%	4人 2.7%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	3人 2.0%	0人 0.0%	3人 2.0%
把握していない			31人 21.1%
合計	103人 70.1%	13人 8.8%	147人 100.0%

【サービス付き高齢者向け住宅】



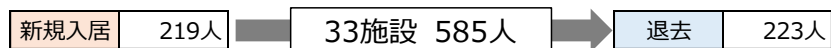
うち死亡 84人 (35.9%)

うち居所変更 150人 (64.1%)

入居前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	66人 31.0%	14人 6.6%	80人 37.6%
住宅型有料	6人 2.8%	3人 1.4%	9人 4.2%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	2人 0.9%	1人 0.5%	3人 1.4%
GH	2人 0.9%	0人 0.0%	2人 0.9%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	2人 0.9%	0人 0.0%	2人 0.9%
老健	6人 2.8%	0人 0.0%	6人 2.8%
介護療養型 医療施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他の 医療機関	74人 34.7%	15人 7.0%	89人 41.8%
特養	0人 0.0%	1人 0.5%	1人 0.5%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	7人 3.3%	2人 0.9%	9人 4.2%
把握していない			12人 5.6%
合計	165人 77.5%	36人 16.9%	213人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	17人 11.3%	4人 2.7%	21人 14.0%
住宅型有料	8人 5.3%	0人 0.0%	8人 5.3%
軽費	2人 1.3%	0人 0.0%	2人 1.3%
サ高住	9人 6.0%	7人 4.7%	16人 10.7%
GH	7人 4.7%	2人 1.3%	9人 6.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	2人 1.3%	0人 0.0%	2人 1.3%
老健	2人 1.3%	2人 1.3%	4人 2.7%
介護療養型 医療施設	2人 1.3%	0人 0.0%	2人 1.3%
介護医療院	2人 1.3%	2人 1.3%	4人 2.7%
その他の 医療機関	57人 38.0%	5人 3.3%	62人 41.3%
特養	5人 3.3%	2人 1.3%	7人 4.7%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	5人 3.3%	0人 0.0%	5人 3.3%
把握していない			8人 5.3%
合計	118人 78.7%	24人 16.0%	150人 100.0%

【グループホーム（認知症対応型共同生活介護）】



うち死亡 37人 (16.6%)

うち居所変更 186人 (83.4%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	71人 32.4%	1人 0.5%	72人 32.9%
住宅型有料	8人 3.7%	0人 0.0%	8人 3.7%
軽費	4人 1.8%	0人 0.0%	4人 1.8%
サ高住	7人 3.2%	0人 0.0%	7人 3.2%
GH	1人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.5%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	54人 24.7%	0人 0.0%	54人 24.7%
介護療養型 医療施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	2人 0.9%	0人 0.0%	2人 0.9%
その他の 医療機関	59人 26.9%	0人 0.0%	59人 26.9%
特養	2人 0.9%	0人 0.0%	2人 0.9%
地密特養	1人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.5%
その他	9人 4.1%	0人 0.0%	9人 4.1%
把握していない			0人 0.0%
合計	218人 99.5%	1人 0.5%	219人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	6人 3.2%	1人 0.5%	7人 3.8%
住宅型有料	3人 1.6%	0人 0.0%	3人 1.6%
軽費	3人 1.6%	0人 0.0%	3人 1.6%
サ高住	2人 1.1%	0人 0.0%	2人 1.1%
GH	6人 3.2%	1人 0.5%	7人 3.8%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	37人 19.9%	0人 0.0%	37人 19.9%
介護療養型 医療施設	1人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.5%
介護医療院	7人 3.8%	0人 0.0%	7人 3.8%
その他の 医療機関	85人 45.7%	7人 3.8%	92人 49.5%
特養	10人 5.4%	0人 0.0%	10人 5.4%
地密特養	7人 3.8%	0人 0.0%	7人 3.8%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			10人 5.4%
合計	167人 89.8%	9人 4.8%	186人 100.0%



## 【介護老人福祉施設】

新規入居 202人 → 10施設 535人 → 退去 234人

うち死亡 71人 (30.3%)

うち居所変更 163人 (69.7%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	20人 9.9%	2人 1.0%	22人 10.9%
住宅型有料	1人 0.5%	2人 1.0%	3人 1.5%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	1人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.5%
GH	6人 3.0%	0人 0.0%	6人 3.0%
特定	1人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.5%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	6人 3.0%	2人 1.0%	8人 4.0%
介護療養型 医療施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他の 医療機関	99人 49.0%	9人 4.5%	108人 53.5%
特養	8人 4.0%	2人 1.0%	10人 5.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	33人 16.3%	10人 5.0%	43人 21.3%
把握していない			0人 0.0%
合計	175人 86.6%	27人 13.4%	202人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	1人 0.6%	0人 0.0%	1人 0.6%
住宅型有料	1人 0.6%	0人 0.0%	1人 0.6%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	1人 0.6%	0人 0.0%	1人 0.6%
GH	1人 0.6%	0人 0.0%	1人 0.6%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	8人 4.9%	0人 0.0%	8人 4.9%
介護療養型 医療施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他の 医療機関	117人 71.8%	5人 3.1%	122人 74.8%
特養	1人 0.6%	2人 1.2%	3人 1.8%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			26人 16.0%
合計	130人 79.8%	7人 4.3%	163人 100.0%

## 【地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護】

新規入居 51人 → 6施設 174人 → 退去 52人

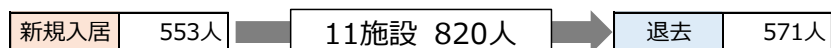
うち死亡 25人 (48.1%)

うち居所変更 27人 (51.9%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	18人 35.3%	0人 0.0%	18人 35.3%
住宅型有料	2人 3.9%	0人 0.0%	2人 3.9%
軽費	1人 2.0%	0人 0.0%	1人 2.0%
サ高住	5人 9.8%	0人 0.0%	5人 9.8%
GH	5人 9.8%	0人 0.0%	5人 9.8%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	3人 5.9%	0人 0.0%	3人 5.9%
介護療養型 医療施設	1人 2.0%	0人 0.0%	1人 2.0%
介護医療院	1人 2.0%	0人 0.0%	1人 2.0%
その他の 医療機関	11人 21.6%	0人 0.0%	11人 21.6%
特養	1人 2.0%	0人 0.0%	1人 2.0%
地密特養	1人 2.0%	0人 0.0%	1人 2.0%
その他	2人 3.9%	0人 0.0%	2人 3.9%
把握していない			0人 0.0%
合計	51人 100.0%	0人 0.0%	51人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	2人 7.4%	0人 0.0%	2人 7.4%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	1人 3.7%	0人 0.0%	1人 3.7%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護療養型 医療施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	1人 3.7%	0人 0.0%	1人 3.7%
その他の 医療機関	18人 66.7%	0人 0.0%	18人 66.7%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	1人 3.7%	0人 0.0%	1人 3.7%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			4人 14.8%
合計	23人 85.2%	0人 0.0%	27人 100.0%

【介護老人保健施設】



うち死亡 82人 (14.4%)

うち居所変更 489人 (85.6%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	108人 19.5%	16人 2.9%	124人 22.4%
住宅型有料	23人 4.2%	1人 0.2%	24人 4.3%
軽費	1人 0.2%	1人 0.2%	2人 0.4%
サ高住	9人 1.6%	2人 0.4%	11人 2.0%
GH	34人 6.1%	0人 0.0%	34人 6.1%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	2人 0.4%	0人 0.0%	2人 0.4%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護療養型 医療施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	14人 2.5%	5人 0.9%	19人 3.4%
その他の 医療機関	242人 43.8%	53人 9.6%	295人 53.3%
特養	0人 0.0%	1人 0.2%	1人 0.2%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	37人 6.7%	4人 0.7%	41人 7.4%
把握していない			0人 0.0%
合計	470人 85.0%	83人 15.0%	553人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	104人 21.3%	25人 5.1%	129人 26.4%
住宅型有料	28人 5.7%	1人 0.2%	29人 5.9%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	28人 5.7%	5人 1.0%	33人 6.7%
GH	50人 10.2%	1人 0.2%	51人 10.4%
特定	1人 0.2%	0人 0.0%	1人 0.2%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	2人 0.4%	4人 0.8%	6人 1.2%
介護療養型 医療施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他の 医療機関	176人 36.0%	44人 9.0%	220人 45.0%
特養	2人 0.4%	1人 0.2%	3人 0.6%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	7人 1.4%	0人 0.0%	7人 1.4%
把握していない			10人 2.0%
合計	398人 81.4%	81人 16.6%	489人 100.0%

(2) 居所別の居所を変更した要介護度の構成

退去者の介護度は「要介護4」が最も高く、次いで「要介護3」となっています。

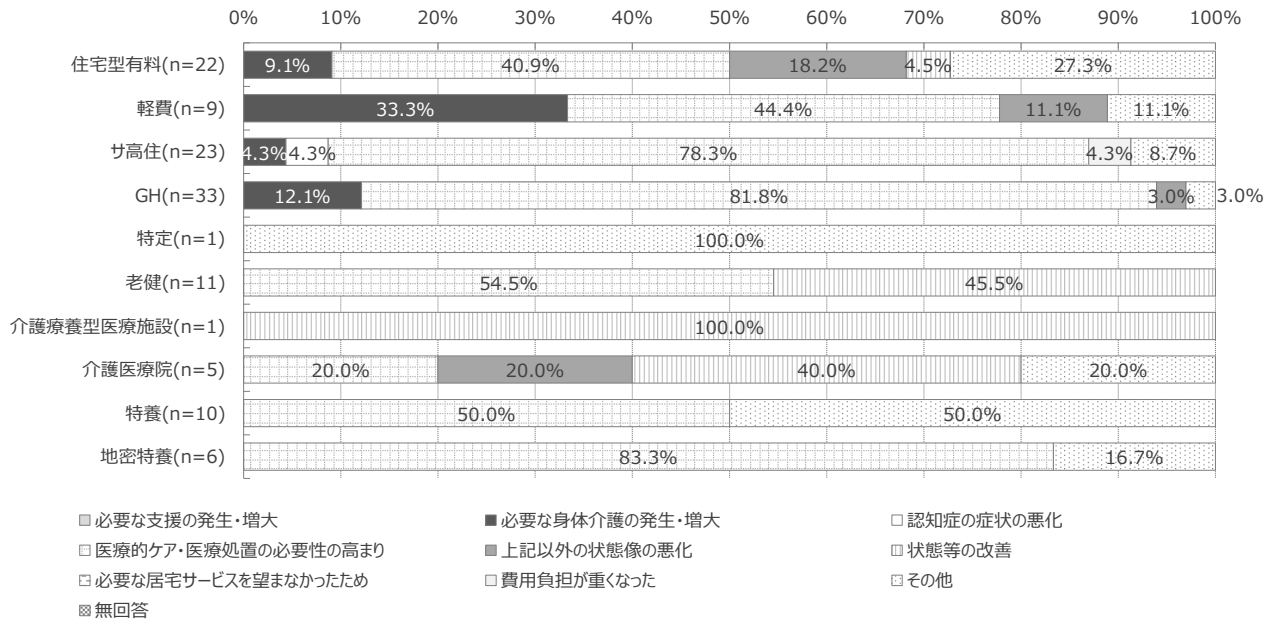
退去者の要介護度

サービス種別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	申請中	合計
住宅型有料 (n=22)	0人 0.0%	3人 2.0%	2人 1.4%	22人 15.0%	30人 20.4%	29人 19.7%	35人 23.8%	26人 17.7%	0人 0.0%	147人 100.0%
軽費 (n=9)	7人 8.5%	13人 15.9%	8人 9.8%	27人 32.9%	9人 11.0%	8人 9.8%	7人 8.5%	3人 3.7%	0人 0.0%	82人 100.0%
サ高住 (n=23)	1人 0.7%	5人 3.3%	2人 1.3%	28人 18.7%	25人 16.7%	38人 25.3%	35人 23.3%	15人 10.0%	1人 0.7%	150人 100.0%
GH (n=33)	0人 0.0%	1人 0.5%	1人 0.5%	29人 15.6%	44人 23.7%	52人 28.0%	34人 18.3%	25人 13.4%	0人 0.0%	186人 100.0%
特定 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	3人 15.0%	2人 10.0%	2人 10.0%	6人 30.0%	7人 35.0%	0人 0.0%	20人 100.0%
老健 (n=11)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	62人 12.7%	84人 17.2%	128人 26.2%	142人 29.0%	73人 14.9%	0人 0.0%	489人 100.0%
介護療養型医療施設 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 100.0%	0人 0.0%	2人 100.0%
介護医療院 (n=5)	0人 0.0%	1人 1.0%	0人 0.0%	5人 5.1%	10人 10.2%	18人 18.4%	37人 37.8%	27人 27.6%	0人 0.0%	98人 100.0%
特養 (n=10)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	41人 25.2%	76人 46.6%	46人 28.2%	0人 0.0%	163人 100.0%
地密特養 (n=6)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 3.7%	12人 44.4%	10人 37.0%	4人 14.8%	0人 0.0%	27人 100.0%
合計 (n=121)	8人 0.6%	23人 1.7%	13人 1.0%	176人 12.9%	205人 15.0%	328人 24.0%	382人 28.0%	228人 16.7%	1人 0.1%	1364人 100.0%

### (3) 居所を変更した理由

居所変更の理由の第1位をみると、住宅型有料、軽費、サ高住、GH、老健、特養、地密特養では「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」の占める割合が、それぞれ最も高くなっています。

居所変更した理由（第1位）



### (4) 居所別の医療処置を受けている人数

医療処置別の入所・入居者数をみると、全体では「経管栄養」が最も高く、次いで「喀痰吸引」、「カテーテル」となっています。事業所別にみると、介護医療院で「経管栄養」が特に高くなっています。

受けている医療処置別の入所・入居者数

サービス種別	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	トーマの処置	酸素療法	インビレーター	気管切開の処置	疼痛の看護	経管栄養	モニター測定	褥瘡の処置	介-介	喀痰吸引	バルブ注射
住宅型有料(n=22)	8人	1人	22人	8人	26人	0人	1人	0人	15人	0人	5人	29人	9人	19人
軽費(n=9)	0人	0人	29人	1人	5人	0人	0人	0人	0人	0人	3人	0人	0人	10人
サ高住(n=23)	14人	3人	10人	5人	28人	0人	0人	0人	12人	0人	7人	17人	4人	15人
GH(n=33)	3人	0人	1人	1人	7人	0人	0人	0人	1人	0人	5人	1人	5人	2人
特定(n=1)	0人	0人	1人	1人	2人	0人	0人	0人	3人	0人	2人	1人	4人	0人
老健(n=11)	35人	1人	2人	10人	16人	0人	0人	0人	111人	3人	41人	58人	87人	12人
介護療養型医療施設(n=1)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
介護医療院(n=5)	8人	0人	0人	0人	3人	0人	1人	1人	94人	5人	8人	28人	57人	8人
特養(n=10)	9人	0人	0人	8人	14人	0人	0人	0人	51人	0人	18人	12人	43人	8人
地密特養(n=6)	1人	0人	0人	5人	3人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	6人	11人	2人
合計(n=121)	78人	5人	65人	39人	104人	0人	2人	1人	289人	8人	89人	152人	220人	76人